講義科目名称： 心理学　　授業コード： 5M001

英文科目名称： Psychology　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
竹居田 幸仁			

授業形態	講義（13コマ），演習（2コマ）．講義中，随時10分程度の小演習（個別・グループ）も取り入れる。	担当者
授業計画	第1回　心理学の歴史と方法 本講義のテーマ，講義の展開予定，受講上の注意などについて説明をする。また，心理学の歴史と研究方法について学び，本講義の到達目標について展望する。 key words：哲学における心理学，実験心理学の始まり（ヴント），ヴント批判（ゲシュタルト心理学，行動主義，精神分析）	竹居田 幸仁
	第2回　脳と心理学 脳科学と心理学は密接な関係にある。本講義では，心の働きの基盤となる脳と神経の基礎的な仕組みと働きについて学習する。 key words：人間の脳の構造，脳の働き，高次脳機能障害	竹居田 幸仁
	第3回　心の発達 年齢によって人間の一生を大まかに分け，それぞれの区分における特徴や変化に焦点を当てて，これらの方向性や順序性を明らかにしていく心理学の分野は「発達心理学」とよばれている。本講義では人間の発達の諸側面，子どもの認知発達について学ぶ。 key words：こどもの認知発達（ピアジェ），こどもの社会性の発達，生涯発達心理学，知的能力障害	竹居田 幸仁
	第4回　発達障害 平成19年度から全国で特別支援教育が開始され，ここ数年の間に発達障害に関する知識が急速に広まっている。本講義では代表的な発達障害であるAD/HD，SLD，自閉スペクトラム症の特徴について学び，支援の方法について理解を深める。 key words：発達障害，AD/HD，SLD，自閉スペクトラム症，太田ステージ理論，特別支援教育	竹居田 幸仁
	第5回　感覚と知覚 人間が外界に適応した行動をとるためには，外界を理解する必要がある。本講義では，我々が外界の情報を受容し，それを利用する手段である感覚と知覚について学ぶ。 key words：感覚，知覚的な体制化，奥行き知覚と知覚の恒常性，錯覚，運動の知覚	竹居田 幸仁
	第6回　学習 一般に学習というと，学校における教科学習を想像するが，心理学において学習とは「経験によって生ずる行動の変容」と定義される。本講義では，行動主義が提唱した学習原理と，社会的学習理論を概観する。 key words：古典的（レスポンデント）条件づけ（パブロフ），オペラント条件づけ（スキナー），社会的学習理論（バンデューラ）	竹居田 幸仁
	第7回　記憶と思考 感覚・知覚によって入力されてきた情報は，私たちが環境に適応するために使用される。そのためには，情報を効率的に貯蔵し，この使用の方法についての戦略が必要になる。心理学では前者の課程を「記憶」と呼び，後者の課程を「思考」とよぶ。本講義では，人間の記憶と思考の仕組みについて学習する。 key words：記憶のしくみ，記憶の二重貯蔵モデル，問題解決と意思決定，推論	竹居田 幸仁
	第8回　動機づけと情動 人の行動は多様であるが，それぞれの行動には，その行動と結びついた特定の原因があると考えられる。例えば，Aさんが勉強を中断して夜食を食べたのは「空腹だったから」であろうし，また，恋人と別れてBさんが泣いたのは「悲しかったから」であろう。行動の原因と考えられるもののうち，前者のグループは「動機づけ」とよばれ，後者のグループは「情動」とよばれる。本講義では，人間の動機づけと情動について理解を深める。 key words：動機づけと欲求，マズローの欲求階層モデル，感情・情動，表出行動とコミュニケーション，動機づけと情動の病理	竹居田 幸仁

	第9回	性格 私たちはそれぞれ，他の人とは違うその人らしい考え方，感じ方，そして行動の仕方（行動様式）を持っている。このような考え方や行動の仕方は，状況の変化にも関わらず，時や場所を越えて，比較的一貫し，安定している。このことから，私たちには，このような個人の独自性と統一性をもたらすものが存在すると考えられ，それは「性格」とよばれる。本講義では性格の代表的な理論である「類型論」と「特性論」や性格の5因子モデルについて学ぶ。講義の後半では，臨床の現場で用いられる性格検査を体験する。 key words：類型論，特性論，性格の5因子モデル，性格検査の信頼性と妥当性	竹居田 幸仁
	第10回	対人関係と集団 人は生きていく中で，様々な他者と出会い，交流しながら関係を築いていく。人間は本質的に一人では生きていくことのできない存在だからである。しかし，他者とともにあることは，人生を豊かにする半面，様々な苦悩の源泉ともなる。本講義では，私たちが他者をどのようにとらえ，関わっているか，他者からどのような影響を受けているかを学習する。 key words：対人認知，対人感情，関係の維持	竹居田 幸仁
	第11回	臨床心理学（１）　「精神分析」 精神分析とは，オーストリアの神経学者フロイトによって創始された人間の心を研究する方法であり，理論であり，精神疾患や不適応の治療法である。本講義では，心理療法としての精神分析を中心に，その基本概念について学習する。 key words：意識，前意識，無意識，エス（イド），自我，超自我，エディプス・コンプレックス	竹居田 幸仁
	第12回	臨床心理学（２）　「分析心理学」 分析心理学はスイスの精神医学者カール・グスタフ・ユングによって創始された心理学・心理療法であり，一般にユング心理学として知られている。ユングは当初フロイトから強い影響を受けたが，その理論の違いからフロイトと決別することになる。本講義では，フロイトの理論との比較を通してユングの理論について理解を深める。 key words：個人的無意識，普遍的無意識，元型，症状の持つ意味，夢分析	竹居田 幸仁
	第13回	臨床心理学（３）　「クライエント中心療法」 カール・ロジャースは20世紀アメリカを代表する心理学者の1人である。ロジャースは人間の本質を善ととらえる人間観に基づき，人間の成長力，主体性を重視し，心理療法を「クライエント中心」に進めていくという大きな変革をもたらした。本講義ではロジャースの生涯をたどり，その理論の変遷について理解する。 key words：クライエント中心療法，パーソン・センタード，静かなる革命，受容，共感，自己一致，建設的なパーソナリティ変化が生じるための必要かつ十分な条件	竹居田 幸仁
	第14回	心理療法（１）　「コラージュ療法」演習 心理療法とは，「心の問題」に対する心理学の知見を用いた援助である。本講義では，心理療法の中でも「芸術療法」と呼ばれるものの1つである「コラージュ療法」を体験する。 key words：心理療法，芸術療法，コラージュ療法	竹居田 幸仁
	第15回	心理療法（２）　「箱庭療法」 箱庭療法はローエンフェルトによって考案され，その後，カルフがユングの考えを導入して発展させ，河合隼雄によって我が国へ導入され，さらに世界中に広がった技法である。本講義では，箱庭療法の分析方法を紹介し，それを応用し，自らが作成したコラージュについて検討を行う。 key words：コラージュ療法，箱庭療法，空間象徴	竹居田 幸仁

科目の目的	心理学を学ぶことにより，社会を見つめる感性や現代を生きる人間としての生き方について考える力を養う。自己および他者への理解を深め，社会の中で適応的に生活するために必要な心理学の知識を身に付けることを目的とする。 ディプロマポリシー：【人間性・思考・判断力】
到達目標	１．心理学理論による人間理解を深めるとともに自分について振り返る。 ２．心理学的援助の概要と方法について理解し，自らの専門分野に活かす。
関連科目	【教養・共通基盤科目群】教育学，教育心理学，生命倫理，哲学，人間と宗教，社会学，生活文化と医療，大学の学び入門，大学の学び－専門への誘い－，多職種理解と連携 【専門基礎科目群】生理学Ⅰ，生理学Ⅱ，医学概論，公衆衛生学，臨床医学特殊講義，老年医学，カウンセリング，臨床心理学，医療統計学，社会福祉・地域サービス論
成績評価方法・基準	定期試験（レポート形式・50%）に毎回の講義後に作成する小レポート等の評価（50%）を加味して評価する。小レポートの内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習の内容については前回の講義時に指示をする。各単元について，１時間程度の予習・復習を行うことを目安とする。 講義資料は，概ね講義の１週間前までにActive Academyにて配布するので，各自ダウンロードしておくこと。
教科書・参考書	【教科書】 山祐嗣・山口素子・小林知博編著（2009）「基礎から学ぶ心理学・臨床心理学」　北大路書房
オフィス・アワー	講義後の教室において，もしくは事前にe-mailで予約のうえ，随時対応します。

国家試験出題基準	なし
履修条件・履修上の注意	講義中の私語，スマートフォン・携帯電話の使用，講義と関係のない作業（他の科目の学習等）は禁止します。注意しても止めない場合や，それらの行為が頻回に見られる場合は退室を命じ，その回の講義の出席を認めない場合もあります。
アクティブ・ラーニングの実施	体験学習（90分のものを2回，10分程度のものを13回）を行う予定である。

講義科目名称： 教育学　　授業コード： 5M002

英文科目名称： Education　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
安藤 哲也			

授業形態	講義（グループディスカッション、グループワーク等を含みます） 15回		担当者
授業計画	第1回	なぜ「教育学」を学ぶのか？ 本講義の目的、展開予定、受講上の注意に関する説明と本講義の到達目標の展望。自分にとって教育学を学ぶことの意味について考える。	安藤哲也
	第2回	教育とは？ 先人(大村はま、斎藤喜博、東井義雄)の教育観や教育実践を知り、自身が経験してきた教育を振り返ることを通して、教育の在り方について考える。	安藤哲也
	第3回	戦後日本の学校教育 学習指導要領の変遷を基に、改訂当時の社会状況などを知ることを通して、それぞれの時期に目指した学校教育の有り様の背景について考える。	安藤哲也
	第4回	現在の学校教育が目指すもの 近年の中教審答申や学習指導要領を基に、自身が経験した教育内容を振り返ることを通して、現在の学校教育が目指す教育の有り様ついて考える。	安藤哲也
	第5回	世界の教育思想Ⅰ　※提出課題あり 代表的な先人(コメニウス、ロック、ルソー)の教育思想について調べ、交流することを通して、社会の有り様と教育との関連や現代の教育との関連について考える。提出された課題は、学習資料として全体で共有し、学びを広げる。	安藤哲也
	第6回	世界の教育思想Ⅱ　※提出課題あり 代表的な先人(ペスタロッチ、ヘルバルト、デューイ)の教育思想について調べ、交流することを通して、社会の有り様と教育との関連や現代の教育との関連について考える。提出された課題は、学習資料として全体で共有し、学びを広げる。	安藤哲也
	第7回	潜在的なカリキュラムとは？ 複数の事例を基に潜在的なカリキュラムが及ぼす影響について考えることを通して、教育行為の基盤となるものにまで視野を広げる。	安藤哲也
	第8回	子どもの思いに基づく教育 子どもの自発性や主体性を大切にする幼児教育に焦点を当て、その基本を理解することを通して、自身の専門領域における指導の在り方を考える。	安藤哲也
	第9回	子どもの思いを理解する ビデオ映像を基に、一連の保育場面における子どもの思いを読み取ることを通して、子ども理解の方法とその重要性について具体的に考える。	安藤哲也
	第10回	子どもの思いを指導に活かす ビデオ映像を基に、子どもの思いを環境構成や保育者の関わり方に重ね合わせることを通して、子どもへの指導の在り方を具体的に考える。	安藤哲也
	第11回	活動を通して学ぶということ 自身の学校経験を振り返るとともに、特別活動を具体的に体験することにより、活動を通して学ぶことの意義を見出す。	安藤哲也
	第12回	集団で活動することの意義 小集団での活動を具体的に体験することにより、特別活動を指導する上で重要視する３つの視点から､子どもにとっての困難さや意義について考える。	安藤哲也
	第13回	特別活動で何を育てるのか？ 特別活動を具体的に体験し、活動を通しての学びを実感することにより、教師の視点から特別活動の意義や指導の在り方を考える。	安藤哲也
	第14回	チームの重要性 前回までの活動に基づくカンファレンスを通して、教職員同士の協働性や同僚性、学び合いの大切さについて考える。	安藤哲也
	第15回	「教育学」をどう活かすか？　※課題レポートあり 「教育学」で得た学びの活かし方に関する考えを交流することを通して、自身のキャリア形成について幅広い視野から考えを深める。	安藤哲也

科目の目的	学校教育を中心とした自身の教育経験を対象化し、教育内容や教育方法、教師の資質などについて、幅広い視点から振り返り、具体的に考察することを通して、対人援助職に共通して必要となる知識を見出すことを目的とします。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】
到達目標	本授業で得た教育に関する学びを自身の専門領域に引き寄せ、何を、どのように活かせるかについて考えを深め、自分の言葉で述べることができる。
関連科目	教育心理学
成績評価方法・基準	①毎回の授業で使用するワークシートの内容（課題解決過程や振り返りの内容）と②課題レポートの内容を総合して評価します。配点は、①が70%、②が30%です。 ①は、毎回のめあてに近付く思考がなされているか、鍵概念を理解できているかという観点で評価します。そして、評価に基づいたコメントを付し、次回に返却することを通して、個々の学びを深めていきます。 ②は、本授業のまとめとして作成し、本授業での学びを自分の将来像(生き方)に意味付けているかという観点で評価します。第15回に他者と交流することを通して、幅広い視点から自分の学びを見つめ直します。その上で、評価の観点に基づいたコメントを付し、個々に返却します。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	事前に配布する講義資料を基に予習をするとともに、返却されたワークシートを基に復習をしましょう。予習・復習に必要な時間の目安はそれぞれ90分程度です。
教科書・参考書	教科書は使用しません。必要な資料は適宜配布します。
オフィス・アワー	授業の前後(場所:非常勤講師室)でお願いします。
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	講義で使用する資料は、原則として前回授業の翌日にActive Academyにより事前配布します。各自、事前に取得しておいて下さい。
アクティブ・ラーニングの実施	グループディスカッション、グループワーク等

講義科目名称： 教育心理学　　授業コード： 5M003

英文科目名称： Educational Psychology　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
竹居田 幸仁			

授業形態	講義を中心とし，必要に応じて随時小演習（個別およびグループ）を取り入れる。		担当者
授業計画	第1回	教育心理学とは 教育心理学は「発達」「学習」「人格と適応」「教育評価」などの幅広い分野を含む，教育のための心理学である。本講義では，教育心理学の歴史と概要を学ぶ。	竹居田 幸仁
	第2回	子どもの認知発達 ピアジェの理論を参照しながら人の認知発達について学び，認知発達の過程を通して幼児期，児童期，青年期に対する教育的関わり方の違いや，学校教育について考える。 key words：感覚運動期，前操作期，具体的操作期，形式的操作期，心の理論	竹居田 幸仁
	第3回	神経発達症／神経発達障害（１） 平成19年に全国で特別支援教育が開始され，ここ数年で発達障害に対する理解が急速に広まりつつある。本講義では3つの代表的な発達障害の中からAD/HD・SLDの2つと，発達障害とは区別される知的能力障害（知的発達症／知的発達障害）の特徴と支援について学び，理解を深める。 key words：発達障害，AD/HD，SLD，知的能力障害（知的発達症／知的発達障害），特別支援教育	竹居田 幸仁
	第4回	神経発達症／神経発達障害（２） 前回に続き，発達障害について学習する。本講義では3つの代表的な発達障害の最後の1つである自閉スペクトラム症の歴史と特徴について学び，DSM-IV－TRとDSM-5の診断の基準の違いについて理解を深める。 key words：自閉スペクトラム症，DSM-IV-TR，DSM-5，特別支援教育	竹居田 幸仁
	第5回	子どもの認知発達と太田ステージ（１） 太田ステージとは，ピアジェの発達理論を参考に，子どもの発達段階をとらえやすくするために，いくつかの発達の節目をとらえてステージ分けしたものである。本講義では生まれて間もなくから１歳半くらいまでの乳幼児期に相当するStage Ⅰの特徴と療育について学習する。 key words：太田ステージ，Stage Ⅰ，模倣，指さし，おもちゃ遊び	竹居田 幸仁
	第6回	子どもの認知発達と太田ステージ（２） 一般的な子どもの発達で見ると，１歳半から２歳くらいに相当するStageⅡ，物には名前があることがはっきりとわかるようになった段階だが，関係の中で物事をとらえることができず，思考の柔軟性がないStageⅢ-1の特徴と療育について学習する。 key words：シンボル機能の芽生え，名称による物の指示，用途による物の指示，経験に沿ったパターン	竹居田 幸仁
	第7回	子どもの認知発達と太田ステージ（３） 一般的な子どもの発達で見ると，３歳から４歳くらいに相当するStageⅢ-2，5歳から7歳くらいに相当するStageⅣの特徴と療育について学習する。 key words：概念形成の芽生え，大小比較，上下の空間関係，因果関係の理解	竹居田 幸仁
	第8回	学ぶことと考えること 「学ぶ」ということは，新しい概念がそれまで持っていた知識のネットワークの中に組み込まれ，知識がより構造化していくことである。本講義では知識を活用し，問題を解決していく方略について学習する。 key words：宣言的知識，手続き的知識，アルゴリズム，ヒューリスティック，メタ認知	竹居田 幸仁
	第9回	「やる気」を考える 何か一つのことを頑張って，最後までやり遂げるということは人にとって嬉しいことである。では，人はどんな時に最も頑張るのであろうか？逆に，どのような時に一生懸命やろうという気持ちがなくなってしまうのだろうか？本講義では，「達成動機づけ」と呼ばれる問題に関して，いくつかの考え方を学習する。 key words：期待－価値モデル，学習性無力感，原因帰属，内発的動機づけ，外発的動機づけ，アンダーマイニング効果	竹居田 幸仁
	第10回	学級という社会 人が最初に経験する「学校」という組織の特殊性とそこで起こる心理的事象について学ぶ。 key words：ピグマリオン効果，P-M理論，ソシオメトリックテスト，ゲス-フーテスト	竹居田 幸仁

	第11回	どのように教えるか 学習指導の形態は一斉学習，グループ学習，個別学習に大別され，いくつかの形態が組み合わされて実施されることが多い。また，教授法には発見学習と受容学習という対照的な2つの方法がある。本講義ではこれらの教授法の他，いくつかの特徴的な指導形態についても学習する。 key words：機械的学習，有意味学習，ジグソー学習，プログラム学習，適正処遇交互作用	竹居田 幸仁
	第12回	児童・生徒をどう評価するか 教育評価は，児童・生徒の理解度や意欲の程度を知るのに役立つだけでなく，授業で取り扱った内容の適切さや教師の授業方法の適切さを判断することにも役立つ。本講義では，教育評価の目的や機能，方法について学習し，教育評価に関する理解を深める。 key words：絶対評価，相対評価，偏差値，診断的評価，総括的評価，形成的評価	竹居田 幸仁
	第13回	知能とその測定 知能とは，目的的に行動し，合理的に行動し，環境を能率的に処理する総合的な能力である。知能に関する理論とその測定方法について学習する。 key words：CHC理論，田中ビネーⅤ，WISC-IV，WAIS-Ⅳ	竹居田 幸仁
	第14回	教育相談 子どもたちの健全な成長・発達の支援を目的とする，乳幼児期から青年期までを対象とした，教育の一環としての相談援助活動である教育相談について，事例を通して学習する。 key words：教育相談，カウンセリング	竹居田 幸仁
	第15回	教育心理学の意義 これまでの講義を概観して教育心理学的な関わりや考え方について理解を深める．教育や他者との関わりについて考えていく。	竹居田 幸仁
科目の目的	教育心理学は「発達」「学習」「人格と適応」「教育評価」などの幅広い分野を含む，教育のための心理学である。本講義では幼児，児童および生徒を教師が効果的に支援するために必要な心身の発達および学習の過程に関する基本事項を心理学的な観点から理解することを目的とし，教育心理学の基礎的な知識を学ぶ。 ディプロマポリシー：【人間性・思考・判断力】		
到達目標	１．教育心理学の基本的な知識を習得する。 ２．幼児，児童および生徒の心身の発達および学習の過程に関する基本事項を心理学的な観点から理解する。 ３．教育実践についての見解を深め，自分の意見を論じることができる。		
関連科目	【教養・共通基盤科目群】心理学，教育学，生命倫理，哲学，人間と宗教，社会学，生活文化と医療，大学の学び入門，大学の学びー専門への誘いー，多職種理解と連携 【専門基礎科目群】生理学Ⅰ・Ⅱ，医学概論，公衆衛生学，臨床医学特殊講義，老年医学，カウンセリング，臨床心理学，医療統計学，社会福祉・地域サービス論 【専門科目群】全科目		
成績評価方法・基準	定期試験（レポート形式・50%）に毎回の講義後に作成する小レポートの評価（50%）を加味して評価する．小レポートの内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1年次選択科目「心理学」受講者は，教科書第3章「こころの発達」，第5章「学習」の内容をよく理解しておくこと。 その他，準備学習の内容については前回の講義時に指示をする。各単元について，１時間程度の予習・復習を行うことを目安とする。 講義資料は，概ね講義の１週間前までにActive Academyにて配布するので，各自ダウンロードしておくこと。		
教科書・参考書	【教科書】 鎌原雅彦・竹綱誠一郎　(2015)　「やさしい教育心理学　第５版」　有斐閣アルマ 【参考書】 永井洋子・太田昌孝編　(2011)　「太田ステージによる自閉症療育の宝石箱」　日本文化科学社 山祐嗣・山口素子・小林知博編著　(2009)　「基礎から学ぶ心理学・臨床心理学」　北大路書房		
オフィス・アワー	講義後の教室において，もしくは事前にe-mailで予約のうえ，随時対応します。		
国家試験出題基準	なし		
履修条件・履修上の注意	講義中の私語，スマートフォン・携帯電話の使用，講義と関係のない作業（他の科目の学習等）は禁止します。注意しても止めない場合や，それらの行為が頻回に見られる場合は退室を命じ，その回の講義の出席を認めない場合もあります。		
アクティブ・ラーニングの実施	毎回，10分程度の体験学習を行う予定である。		

講義科目名称： 健康スポーツ理論　　授業コード： 5M004

英文科目名称： Sports Science　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
岩城 翔平			

授業形態	講義（12回）・演習（3回）		担当者
授業計画	第1回	オリエンテーション・目標の設定と達成 受講のルール説明、全15回の流れを解説。自身の大学生活についてのアファメーションを行い、準備学習の課題を設定する。	岩城 翔平
	第2回	健康とスポーツの関わり 健康とは、スポーツとは何かを改めて考える。身近なスポーツ環境について学ぶ。	岩城 翔平
	第3回	運動・スポーツを通じたコミュニケーション アリーナでミニ運動会を行う。心と身体の健康と運動・スポーツのつながりについて体感し、考察する。	岩城 翔平
	第4回	生涯を通じた運動・スポーツの実践 人生100年時代に自身の健康とどのように向き合っていくのか検討し、仲間たちと協議する。今後の自身の健康と運動・スポーツの関係について考える。	岩城 翔平
	第5回	トレーニングの基本理論① 筋収縮の様式やトレーニングの代表的手法について学ぶ。	岩城 翔平
	第6回	トレーニングの基本理論② 代表的なトレーニングのバリエーションを学び、体験する。例えば誰しも一度はしたことのある腕立伏せや腹筋にも様々な狙いや意義があることを知る。	岩城 翔平
	第7回	トレーニングと栄養 トレーニング効果を十分に得るために摂取すべき栄養素や摂取方法について学ぶ。	岩城 翔平
	第8回	ウェイトトレーニングの効果と方法論 バーベルやダンベルを用いた代表的なトレーニングの効果と方法を学ぶ。	岩城 翔平
	第9回	トレーニング計画の策定 班活動を行う。それぞれ設定された対象に対して、どのような運動処方をすべきかについて班で協議し、トレーニングプログラムを作成する。	岩城 翔平
	第10回	トレーニングプログラムのプレゼンテーション① 第９回で作成したトレーニングプログラムを用いて、設定した対象に向けた運動処方の班別プレゼンテーションを行う。	岩城 翔平
	第11回	コーチングの基本理論 コーチングの基本的な理論を学ぶ。前回の発表内容を互いに評価し合い、プレゼンテーションの内容を見直す。	岩城 翔平
	第12回	トレーニングプログラムのプレゼンテーション② 第11回で見直し、改善したトレーニングプログラムの班別プレゼンテーションを実施する。班別プレゼンテーションは演習の成績評価に該当する。	岩城 翔平
	第13回	心の健康・試験説明 心の健康と社会生活におけるコミュニケーション能力の関係について考え、実践する。 試験の内容等について説明する。	岩城 翔平
	第14回	講義内容の振り返り・授業内試験実施 これまでの講義を振り返り、要点を解説する。 授業内試験は試験の成績評価に該当する。	岩城 翔平
	第15回	試験結果のフィードバック、まとめ 試験の結果についてフィードバックする。本講義で得られた成果を今後どのように生活へ役立てるのかを改めて考え、自身の健康とスポーツのかかわりについて具体的にイメージする。	岩城 翔平
科目の目的	高等学校保健体育において、「生涯にわたり豊かなスポーツライフを継続し、スポーツとの多様な関わり方を状況に応じて選択し、卒業後も継続して実践することができる」素養を身に付けているものとしたときに、高等教育においてはそれを指導したり、自ら組み立てたりするなど健康・スポーツに関する活動を提供する側に回ることができる教養を身に付けるべきである。医療従事者を志す学生として、自身の心身の健康を保持増進することはもとより、家族や仲間、患者、地域社会にも配慮し、健康で豊かな生活を送るサポートができるよう、より実践的な理論を中心に仲間とコミュニケーションをとりながら学んでゆく。本講義内で健康とスポーツに関連する取り組みをとおして、保健医療分野の諸課題を見出し、科学的洞察による的確な判断ができる能力を養う。 【コミュニケーション・協調】		

到達目標	【心身の健康と様々なスポーツの関わりについて考える】 ・授業内で接する仲間と上手にコミュニケーションが取れるようになる。 ・生涯にわたる健康は自発的な活動により得られることを理解し、さらに自らが発信者となることで周囲の人々へ健康に関する最新の知見を与えられるようになる。 ・身体運動の基本的な理論を理解し、様々なトレーニングが身体に及ぼす影響について考察できるようになる。 ・受ける側から与える側への転換期であることを理解し、様々な学習に対し自律して取り組む必要性を学ぶ。
関連科目	健康スポーツ実技
成績評価方法・基準	演習（35%）：トレーニングの基礎基本について理解があるか、また、発信者として適切な表現方法でプレゼンできているかどうかを、班別プレゼンテーション内で評価する。 試験（65%）：これまでの講義内容について理解できているかを測る授業内試験を行う。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1日の中で5分間程度、授業中に作成した目標シートを何度も読み返す。 また、学習したトレーニングについて1週間に計40分程度実践し、運動への理解を深める。
教科書・参考書	教科書使用せず。 ［参考書］ 「生涯スポーツ実践論：第4版」川西正志・野川春夫 編著　市村出版 「NSCAパーソナルトレーナーのための基礎知識」日本語版総監修 森谷敏夫、監修 岡田純一 ※非常に高価、購入必要無。
オフィス・アワー	講義室または体育棟管理室にて、講義の前後。
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	数回、運動することがある。 その際は運動するのに適したスタイルで参加すること。
アクティブ・ラーニングの実施	体験学習、グループ・ディスカッション、グループ・ワーク

講義科目名称： 健康スポーツ実技　　授業コード： 5M005

英文科目名称： Practice in Sports Science　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
岩城 翔平			

授業形態	実技		担当者
授業計画	第1回	オリエンテーション・からだづくり運動 受講のルール説明、学生自己紹介カードの作成、全15回の流れについて解説。軽強度のHIITトレーニングを行い、今後の授業に向けて身体を慣れさせる。班と班長の決定。	岩城 翔平
	第2回	班編成・安全なスクワットの習得・球技（バレーボール①） HIITトレーニング、アイスブレーキング、バレーボール、球技補助	岩城 翔平
	第3回	第1回「新体力テスト+」実施 新体力テストの種目を若干改変したものを実施する。種目：20m走、立ち幅跳び、反復横跳び、ボール投げ（男子：バスケットボール、女子：ハンドボール）、上体起こし、プッシュアップ、握力、背筋力、長座位体前屈	岩城 翔平
	第4回	班別ミーティング、球技（バレーボール②） アイスブレーキング、班別ミーティング、バレーボール、球技補助	岩城 翔平
	第5回	班別トレーニング①、球技（バレーボール③） アイスブレーキング、班別トレーニング、バレーボール、球技補助	岩城 翔平
	第6回	班別トレーニング②、球技（バドミントン①） アイスブレーキング、班別トレーニング、バドミントン（ダブルス）、球技補助	岩城 翔平
	第7回	班別トレーニング③、球技（バドミントン②） アイスブレーキング、班別トレーニング、バドミントン（ダブルス）、球技補助	岩城 翔平
	第8回	班別トレーニング④、球技（バドミントン③） アイスブレーキング、班別トレーニング、バドミントン（ダブルス）、球技補助	岩城 翔平
	第9回	班別トレーニング⑤、球技（タグラグビー導入） 班別トレーニング、タグを使ったアイスブレーキング、タグに慣れる、ボールに慣れる、ボールハンドリング、効果的なアタックの方法、ディフェンスの方法、ルールの確認	岩城 翔平
	第10回	班別トレーニング⑥、球技（タグラグビー①） タグを使ったアイスブレーキング、班別トレーニング、タグラグビー	岩城 翔平
	第11回	班別トレーニング⑦、球技（タグラグビー②） タグを使ったアイスブレーキング、班別トレーニング、タグラグビー	岩城 翔平
	第12回	班別トレーニング⑧、球技（アルティメット①） フライングディスクを使ったアイスブレーキング、班別トレーニング、アルティメット	岩城 翔平
	第13回	班別トレーニング⑨、球技（アルティメット②） フライングディスクを使ったアイスブレーキング、班別トレーニング、アルティメット	岩城 翔平
	第14回	第2回「新体力テスト+」実施 新体力テストの種目を若干改変したものを実施する。種目：20m走、立ち幅跳び、反復横跳び、ボール投げ（男子：バスケットボール、女子：ハンドボール）、上体起こし、プッシュアップ、握力、背筋力、長座体前屈 【班制作物提出】	岩城 翔平
	第15回	「新体力テスト＋」結果フィードバック、球技 体力テスト結果をフィードバックする。 全体のまとめ、リクエスト球技を実施する。	岩城 翔平
科目の目的	心身の健康の保持増進や回復とスポーツとの関連性を鑑み、自重で行う基本的なトレーニングや、スポーツ活動の企画実践を試みる。本講義では特に社会生活で必要不可欠である心の健康を司る人材となるべく、スポーツ活動における他者への気配りやコミュニケーション能力の向上を重要なテーマの一つとする。 [スポーツを通じた協調性の獲得] 例えば運動能力レベルが異なる集団であっても、寛容さがあれば誰しもが積極的にスポーツを楽しめる和を作ることができる。より相手に根差した協調性を意識することで、大学生活だけでなく社会生活においても大切な立ち振る舞い方を醸成する。 [体力向上方法の理解と実践] 自身の体力課題を見極め、班で協力し課題に応じたトレーニングを継続して実施することにより、運動経験がない者でも体力を向上させる達成感を味わうことができるようにする。運動経験がある者においては他者へのアドバイスを通じて、自己の考えを他者へ正確に伝える表現方法を学ぶ。 【コミュニケーション・協調】		

到達目標	【運動、スポーツを通じて心身の健康について考える】 ・他者を観察し、その心情を察し思いやることを心掛ける（心のトレーニング）。 ・スポーツ参加者全員が楽しめる場や空気の作り方を考え、学ぶ（心のトレーニング）。 ・自身の体力的課題に対して計画的にアプローチし、克服することで、運動習慣が身体機能にもたらす効果を実感する（身体のトレーニング）。
関連科目	健康スポーツ理論
成績評価方法・基準	班活動および制作物の提出（60%）：積極的にコミュニケーションを取り活動に取り組んでいるかどうか。 第2回体力テスト結果（30%）：課題として設定した項目のスコアが伸びているかどうか。 準備学習の実施状況（10%）：設定した課題に取り組んだかどうか。 球技の実力の多寡で成績評価はしない。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	第3回の授業で実施する体力テストの結果を参考に、改善したい体力項目に適したトレーニングやストレッチなどを自宅で実施する。1週間に45分程度。
教科書・参考書	教科書無し。 ［参考書］ 「NSCAパーソナルトレーナーのための基礎知識 第2版」日本語版総監修 森谷敏夫、監修 岡田純一 NSCAジャパン ※非常に高価、購入必要無。
オフィス・アワー	授業の前後
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	スポーツウェア・内履き・タオルが必要。それぞれ高校で使用していたもので可。 明らかに運動に適していない服装、外履きでの参加は認めない。 蓋付きの飲み物のみ持ち込み可。 怪我予防のためピアス・ネックレス等装飾品は外して臨む。
アクティブ・ラーニングの実施	問題解決学習、体験学習、グループ・ディスカッション、グループ・ワーク

講義科目名称： 生命倫理　　授業コード： 5M006

英文科目名称： Bioethics　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
峯村 優一			

授業形態	講義（ディスカッションを含む）	担当者
授業計画	第1回　イントロダクション　総論 授業全体の予定や授業の進め方などの説明、生命倫理の概要	峯村優一
	第2回　生命倫理の基礎（1） 生命倫理の社会的・歴史的変遷、四原則	峯村優一
	第3回　生命倫理の基礎（2） 生命倫理の理論	峯村優一
	第4回　生命倫理の基礎（3） 臨床倫理の四分割表	峯村優一
	第5回　中絶（1） 中絶を守る立場と問題	峯村優一
	第6回　中絶（2） 中絶を守る立場と問題	峯村優一
	第7回　生命倫理の基礎と中絶のまとめ 生命倫理の基礎と中絶に関する重要な問題のまとめ	峯村優一
	第8回　生命倫理の基礎と中絶のまとめと中間テスト 生命倫理の基礎と中絶に関する重要な問題の確認	峯村優一
	第9回　中絶（3） 中絶を批判する立場と問題	峯村優一
	第10回　中絶（4） 中絶を批判する立場と問題	峯村優一
	第11回　インフォームド・コンセント（1） インフォームド・コンセントの基本的な考え方、擁護する立場と問題	峯村優一
	第12回　インフォームド・コンセント（2） インフォームド・コンセントを批判する立場と問題	峯村優一
	第13回　難病（1） 難病療養者が抱える問題	峯村優一
	第14回　難病（2） 難病療養者と生命倫理	峯村優一
	第15回　中絶、インフォームド・コンセント、難病のまとめ 中絶、インフォームド・コンセント、難病に関する重要な問題のまとめ、期末試験相談	峯村優一
科目の目的	生命倫理・医療倫理の概要・諸問題を、講義形式だけではなく、ディスカッションを通して、自分で考える力を身につけることを目的としています。時事問題や学生の関心によって講義内容を変更する場合もあります。【倫理】	
到達目標	医療者は時に「医療者視点」が絶対的であるという思い込みに陥りがちになります。医療の主役はあくまで患者さんやその家族です。この授業を通して「医療は誰のものか」ということを改めて考えることができるようになること、また生命倫理の各トピックに関する倫理的問題を考察して、医療者として適切な判断ができるようになることを目指します。	
関連科目	哲学、公衆衛生学、生活文化と医療、社会学、生物学、心理学	
成績評価方法・基準	中間テスト（50%）、期末テスト（50%）による総合評価。講義前に教科書、資料を読み、講義中の講師からの質問に対して良い返答を続ける学生を高く評価する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	教科書を読むようにしてください。また授業に関する資料を配布しますので、資料に目を通してください。1コマあたりの学習時間の目安2時間。	
教科書・参考書	（教科書） 鎌田依里・峯村優一著　2023　『難病療養者のこころ－心理臨床と生命倫理の視点から－』　創元社 （参考書） 霜田求編　2018　『テキストブック生命倫理』　法律文化社	
オフィス・アワー	個別の相談は事前の連絡によって随時対応します。	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	授業開始時および授業中の私語禁止、授業中のスマートフォンおよび携帯電話の使用も禁止します。注意しても改善がみられない場合は退室を命じる場合があります。	

アクティブ・ラーニングの実施	講義中の講師からの問いかけに答える、またディスカッションに参加するアクティブラーニングを実施。

講義科目名称： 哲学　　授業コード： 5M007

英文科目名称： Philosophy　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
赤羽　悠			

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	イントロダクション 哲学とは何か 宗教と哲学 哲学と社会学・人類学	赤羽 悠
	第2回	古代哲学（1） 「対話」とは何か／「真理」について 【ソクラテス／プラトン／アリストテレス】	赤羽 悠
	第3回	古代哲学（2） 「生きる技術」についての問い 【ストア派／エピクロス】	赤羽 悠
	第4回	中世哲学 意志と恩恵 【アウグスティヌス】	赤羽 悠
	第5回	近世・近代哲学（1） 大陸合理論／「理性」について 【デカルト／スピノザ】	赤羽 悠
	第6回	近世・近代哲学（2） 社会契約論／「国家／社会」とは何か 【ホッブズ／ロック／ルソー】	赤羽 悠
	第7回	近世・近代哲学（3） イギリス経験論の系譜／「私」はどのようにつくられるのか 【ロック／バークリー／ヒューム】	赤羽 悠
	第8回	近世・近代哲学（5） ドイツ観念論の出発点としてのカント／「理性」批判 【カント】	赤羽 悠
	第9回	近世・近代哲学（5） ドイツ観念論の展開 【フィヒテ／ヘーゲル】	赤羽 悠
	第10回	近代哲学の問い直し（1） 「真理」と「道徳」を問う 【ニーチェ】	赤羽 悠
	第11回	近代哲学の問い直し（2） 「意識」と「主観」を問う 【フロイト、マルクス】	赤羽 悠
	第12回	現代哲学（1） 「現象」を考える 【フッサール、メルロ＝ポンティ】	赤羽 悠
	第13回	現代哲学（2） 「実存」をめぐって 【ハイデガー、サルトル】	赤羽 悠
	第14回	現代哲学（3） 「全体主義」の経験から考える 【アーレント】	赤羽 悠
	第15回	講義の総括 現代哲学のその後 改めて、哲学とは何か	赤羽 悠
科目の目的	哲学をするとは、日常からかけ離れた抽象的なことをあれこれ考えることではなく、身近にあるが、しかし容易には答えの出ない問題を、普段よりもう一段掘り下げて考えてみることである。歴		

	史上の偉大な哲学者が行ってきたことも、実はそうしたことにほかならない。この講義では、そのような哲学者たちの思考の営みをみながら、受講者自身が生きていくなかで問題に直面する際、役立つような哲学的思考を身に着けてもらうことを目指す。 講義は「授業計画」に従って進めるが、受講者の理解度等をふまえて若干進度を変更する場合がある。また、現代の問題にも適宜触れながら進めていきたい。 ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）における位置づけ：本科目は【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】に該当する。
到達目標	１．歴史上の哲学者がどのような問いを立て、その問いにどのように取り組んできたのかを理解する。 ２．１を通じ、哲学的に問いを立てるということがどういうことかを学ぶ。 ３．以上を通じ、生きていくなかで直面する様々な問題に対処するにあたり必要とされる、哲学的な思考を身に着ける。
関連科目	●　「人間と宗教」、「社会学」、「心理学」、「生命倫理」等の科目と関連を有する。
成績評価方法・基準	●　期末筆記試験（論述）の成績による（100 ％）。 ●　詳細については初回講義時に説明する。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	●　予習については特に求めない。講義の場で話を聞き、またそれについてその場で考えることに集中してもらいたい。 ●　他方、授業後に内容を振り返り、扱われたテーマについて自分なりに考えをまとめる復習の作業はおこなってほしい。そのために必要な学習時間については、概ね１時間程度を目安とする。
教科書・参考書	●　教科書は用いない。講義は講義資料（レジュメ）を配布し、それに基づいて行う。 ●　初学者にもわかりやすい哲学史の教科書としては、竹田青嗣・西研編『はじめての哲学史』（有斐閣アルマ）などがあるが、講義をそれに沿って行うわけではない。 ●　哲学とは何かについて考えるうえでは鷲田清一著『哲学の使い方』（岩波新書）などが役立つが、こちらもあくまで参考として挙げておきたい。 ●　その他の参考文献については、講義の中で紹介したい。
オフィス・アワー	●　講義の前後（場所：教室もしくは非常勤講師控室）
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし

講義科目名称： 現代文学　　授業コード： 5M008

英文科目名称： Modern Literature　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
徳本 善彦			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　ガイダンス：「文学」とは何か 日本の近代化と「文学」について歴史的観点から学ぶ。	徳本善彦
	第2回　文学テクストを〈読む〉 文学作品をテクストとして読む方法について、実践例を通して学ぶ。	徳本善彦
	第3回　寺田寅彦「団栗」を読む 「写実」的な作品を通して、小説世界の時間・空間を整理し小説を立体的に読む。	徳本善彦
	第4回　志賀直哉「焚火」を読む テクストをじっくり読むことで、ストーリーに頼らない小説の読み方を学ぶ。	徳本善彦
	第5回　芥川龍之介「トロッコ」を読む 小説の物語的要素を捉え、小説世界の構造を理解する。	徳本善彦
	第6回　群馬県の作家：萩原朔太郎の詩を読む 日本の近代詩に多大な影響を与えた萩原朔太郎の詩を鑑賞する。	徳本善彦
	第7回　川端康成「葬式の名人」を読む 小説に書かれた、言葉の身体／身体の言葉について考える。	徳本善彦
	第8回　野上弥生子「茶料理」を読む ストーリーに抗って読むことで、小説の表現形式の特徴を理解する。	徳本善彦
	第9回　小レポート：矢田津世子「茶粥の記」 矢田津世子「茶粥の記」を事前に読んだ上で、授業内小レポートに取り組む。	徳本善彦
	第10回　解説：矢田津世子「茶粥の記」を読む 小レポートの講評と、課題小説の読解の一例を解説する。	徳本善彦
	第11回　坂口安吾「真珠」を読む 戦争と文学について、歴史的事実が物語として受容される過程を読み解く。	徳本善彦
	第12回　戦後詩を読む 『荒地』や『櫂』といった戦後の現代詩誌を中心に現代詩について学ぶ。	徳本善彦
	第13回　石牟礼道子「死民たちの春」を読む 経済成長と公害、東京と地方など戦後社会の問題を文学を通して考える。	徳本善彦
	第14回　古井由吉「祈りのように」を読む 小説の中でハッキリと語られないものについて、語りの形式に注目して読解する。	徳本善彦
	第15回　村上春樹「アイロンのある風景」を読む とらえようのないものを比喩を通して語ること、災害と文学について考える。	徳本善彦
科目の目的	1. 文学作品を読み、不明な事柄を調べることで当時の時代状況や社会問題などを理解する。 2. テクストの中に問題を読み取り、深く考えることで筋道の通った読解を見出す。 3. 小レポートの作成を通して、自分の考察を論理的に表現する力を身につける。 【倫理】【人間性・思考・判断力】【知識・理解・実践能力】【関心・意欲】	
到達目標	1. 文学作品の書かれた当時の時代状況からの視点を体験することで、読む視点の複数性を理解する。 2. テクストの中に問題を見出すことを通して、情報を批判的に評価する読解力を養う。 3. 小レポート・期末レポートの作成に取り組むことで、自分の意見を客観的・論理的に表現する技術を身につける。	
関連科目	芸術・哲学・社会学	
成績評価方法・基準	授業内小レポート（50%）、期末レポート（50%）。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	・授業前＝講義で使用するテクストを読み問題を整理する。（1.0時間） ・授業後＝授業内容の復習。（0.5時間）	
教科書・参考書	教科書：使用しない（講義資料は1週間前を目処にActive Academyを通して配布します。各自で印刷して授業に持参して下さい）。	
オフィス・アワー	授業の前後（非常勤講師室）。	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし	

講義科目名称： 人間と宗教　　授業コード： 5M009

英文科目名称： Human Beings and Religion　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
竹村 一男			

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	宗教を学ぶにあたって 宗教を学ための必要な基礎的事項について説明する。講義の前半は宗教の類型、宗教の研究分野、さらに、３大宗教について、その概要と現状に言及する。後半は芸術作品や世界遺産の中から宗教に関する画像を中心に紹介する。	竹村 一男
	第2回	宗教本質論　宗教とは何か 過去から現在に至る哲学、神学、心理学などの代表的な思想や、昨今の脳科学は、宗教をどのように解釈してきたかを解説する。更に、最も難解なテーマである「宗教とは何か」について考えてみたい。	竹村 一男
	第3回	キリスト教概説 世界最多の宗教人口をもつキリスト教の教義と歴史、現状について講述する。また、その文化・歴史などを画像を交え解説する。特に新約聖書、福音書の解説については、ジョットの絵画による概要説明を行う。	竹村 一男
	第4回	イスラム教概説 イスラム教の教義と歴史、現状について講述する。その文化・歴史など画像を交え説明する。コーランの記述内容、スンニ派とシーア派の相違点、更に昨今の国際情勢におけるイスラームなどその現状にも言及する。	竹村 一男
	第5回	仏教概説 仏教の教義と歴史、現状について講述し、その文化・歴史や伝播の経緯など画像を交え説明する。インドにおける仏教の成立と展開を中心に、中国仏教、南伝仏教、チベット仏教にも言及する。	竹村 一男
	第6回	日本の仏教 日本の仏教の教義と歴史、現状について講述する。日本への仏教の伝来とその展開、各宗派による仏教思想の比較などを中心に解説し、更に寺院建築や仏像、曼荼羅など仏教文化遺産についても画像を交え解説する。	竹村 一男
	第7回	日本の民俗宗教 日本の宗教の基層をなす民俗宗教について、祖霊信仰や民俗神道、神社神道などを中心に、その文化と歴史について講述する。日本の民俗宗教には様々な儀礼や祭祀が含まれるが、仏教との神仏習合も多々みられる。それらの特徴的な事例についても、画像を交え紹介する。	竹村 一男
	第8回	世界の民族宗教 特定民族に受け継がれる民族宗教ユダヤ教とヒンドゥー教について、その文化・歴史などを講述する。ユダヤ教はキリスト教・イスラム教の、ヒンドゥー教は仏教の起源となった宗教であるが、現在においても多数の信徒をもつ。その経緯と、なぜ民族の枠内に留まったかについて解説し、旧約聖書の記述については、地球環境史との関係もふまえて、画像を交え解説する。	竹村 一男
	第9回	中国の民族宗教 中国の民族宗教である儒教と道教について、その文化・歴史など画像を交え講述する。特に儒教については礼教（道徳）面が強調されることが多いが、その宗教面についても解説する。さらに、両宗教が日本に与えた影響などにも言及する。	竹村 一男
	第10回	新宗教 1830年代以降に成立した新宗教について、天理教、創価学会、モルモン教会を例に、その概要と歴史、教義について講述する。現在はこれらの新宗教も多くの信徒を持つに至り、家庭の宗教として信仰される例も多い。上記以外の幾つかの宗教団体、海外の新宗教などについても画像を交え解説する。	竹村 一男
	第11回	宗教と科学　宗教研究の事例 宗教を対象とする研究には、神学などの信仰者の視点によるものと、比較宗教学のように中立的な視点からのものがある。本講座は後者に属するが、ここでは比較宗教学、宗教社会学、宗教心理学などの中立的な社会科学の視点からなされてきた研究学説について解説する。さらに、反社会的教団の特徴や、講師の研究事例なども交えて講述する。	竹村 一男

	第12回	宗教と文化・芸術 宗教文化と芸術について講述する。古来より、宗教は芸術にも様々な影響を及ぼしてきた。その中で、特に美術と音楽、舞踊について、画像や映像を参考に解説する。また、宗教史跡、宗教建造物などの文化遺産にも言及する。	竹村 一男
	第13回	グローバル化と宗教 グローバル化が進む現在における宗教の諸問題について解説する。現状の宗教動向に加え、反社会的教団による事件、IS問題、民族紛争などの事例について講述する。	竹村 一男
	第14回	宗教と医療 宗教と医療に関する歴史や現状の諸問題について講述する。宗教団体と医療組織、特定教団の教義と輸血問題、終末医療などの医療現場における宗教の事例についても紹介する。	竹村 一男
	第15回	神話・文学における宗教、及びまとめ 前半は、内村鑑三の宗教について講師の事例研究も交え講述する。後半は、聖典などに見られる印象的な言説や、文学作品における記述の紹介と、全講義のまとめを行う。	竹村 一男

科目の目的	宗教は私達の身近に存在する。多くの家庭には仏壇や神棚が置かれ、年中行事や冠婚葬祭も宗教により執り行われる。旅行などで各地に足を運ぶと、おおよそ神社仏閣、宗教施設が存在しない地域はない。その一方で、宗教戦争の様相を呈した民族紛争がニュースに登場することも多い。本講義においては、このように多くの諸相において人間に関わりをもつ「宗教」とは何かについて考え、さらに様々な宗教を取上げ、その教義、歴史、さらに文化社会的側面について講述する。宗教理解は私達人間の理解、さらに文化・社会の理解にも繋がる。 なお、本講義は特定の宗教の視点によるものではなく、中立的な観点から広範に宗教を扱う。受講生各自の宗教観は人それぞれであろうが、医療現場における患者（被治療者）の宗教観も様々であるため、医療者には中立的かつ広範な視点での宗教理解が必要となってくる。医療に携わろうとする者はそのことを理解したうえで、私達人間に与えられた生命をまもること、与えられた生命をよりよく生きることが大切かと考える。【倫理】
到達目標	●　それぞれの宗教を比較し、その歴史や教義、死生観などを分析、説明することが出来る。 ●　宗教にかかわる文化や時事問題などを理解し、適切に説明することが出来る。 ●　将来の医療現場において、患者や関係者の宗教観を理解し、適切かつ発展的な行動がとれる。
関連科目	哲学　心理学　社会学　芸術
成績評価方法・基準	定期試験（100%）
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1時間程度（計15回15時間）、講義内容の再確認と復習を行う。より深く学びたい受講生には、興味のある教典・聖典や、宗教に関連した文学作品などの読書に加えて、比較宗教学による文献の読解もお勧めする。最初は簡単な概説書でもよいが、以下に推薦文献をあげる。文献例：『イスラーム文化』井筒俊彦（岩波文庫）、『ヒンドゥー教』森本達雄（中公新書）、『儒教とは何か』加地伸行（中公新書）、『神道とは何か』伊藤　聡（中公新書）、『日本の民俗宗教』宮家　準（講談社学術文庫）、『世界の宗教』岸本英夫編（大明堂 絶版）、『森林の思考・砂漠の思考』鈴木秀夫（NHKブックス）、『現代医学と宗教』日野原重明（岩波書店）など。また、信仰者以外の人にとっては「聖書」や「コーラン」は難渋な書物であろうが、聴講によって基礎知識を得た後に読むと、理解が変わってくる。
教科書・参考書	教科書　使用しない。毎回、講義用のプリントを配付する。 参考書1 『共同訳聖書』（日本聖書協会） 参考書2 『ブッダの言葉』中村　元訳（岩波文庫） 参考書3 『コーラン』井筒俊彦訳（岩波文庫）
オフィス・アワー	講義終了後の教室。または講師出校時の非常勤講師室。
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	毎回、講義用のプリントを配付しますが、同じものを事前にActive Academyにアップロードしておきます。
アクティブ・ラーニングの実施	授業形態としての実施はなし。出席票での質問、口頭での質問は、毎回受け付ける。

講義科目名称： 芸術　　授業コード： 5M010

英文科目名称： Art　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
東　晴美			

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	ガイダンス：オペラ、歌舞伎から現代演劇まで。舞台芸術の幅広さと、他の芸術ジャンルとの交流 舞台芸術は、言語、音楽、身体、美術などの要素を備えた総合芸術であることを紹介します。また、舞台芸術が様々なジャンルの芸術と深い関係があることを理解し、その上で舞台芸術を学ぶ意義について考えます。	東　晴美
	第2回	ドラマ（物語）：創作された物語から、証言まで ギリシャ悲劇やシェイクスピアの作品において、ドラマはどのような構造を持っているかを考えます。またそのようなドラマを突き崩そうとしたベケットの作品や、ストーリーテリングや証言などポストドラマとしての現代演劇の取り組みを紹介します。	東　晴美
	第3回	劇場：社会と劇場、劇場と舞台芸術の関係 ギリシャ劇場から額縁舞台を経て、現代に至る劇場の変遷が、西洋の舞台芸術の歴史と呼応していることを学びます。また、舞台芸術における劇場の役割を考察します。	東　晴美
	第4回	観客：もう一人の作り手として 舞台芸術の観客は、他の芸術と異なり物語をともにつくりあげる存在でもあります。舞台芸術と観客の関係性について、ギリシャ時代から現代までの変遷を考えます。	東　晴美
	第5回	身体：身体の文化とことばの関係 俳優によって登場人物が表現されるリアリティについて、近代に絶大な影響を与えた俳優訓練法・スタニスラフスキーシステムを例に考察します。また、物語をつむぎだす言葉と身体の関係性を再考する実践も紹介します。	東　晴美
	第6回	ジェンダー：演じる性と演じられる性　（小レポート） 演じる性として女優について考察します。また、舞台芸術では女性をどのように表現してきたか、演じられる性についても紹介します。翌週にレポートについてコメントをします。	東　晴美
	第7回	能：物語のビジュアルイメージ化 能楽の基礎について学びます。また物語がビジュアルにイメージ化され定着していくことを平家物語を題材にした作品を例に考えます。また、600年前に生まれた芸能が、今もなお息づいている理由に迫ります。	東　晴美
	第8回	狂言：笑いの表現 笑いは文化を象徴するキーワードです。笑いの芸能である狂言の基礎について学びます。またシェイクスピアの作品をもとにした新作狂言など、狂言師の新しい挑戦を紹介します。	東　晴美
	第9回	歌舞伎：現代に生きる古典芸能 歌舞伎の基礎について学びます。歌舞伎は冷凍保存された古典ではなく、常に同時代のエンターテインメントであろうとしています。能の物語を継承しながら、江戸時代としての現代劇として再生した「京鹿子娘道成寺」を例に考えます。	東　晴美
	第10回	文楽：人形の表現と語る表現（小レポート） 文楽の基礎について学びます。北野武の映画「ドールズ」を紹介しながら、今日における文楽の可能性を考えます。翌週にレポートについてコメントをします。	東　晴美
	第11回	ゲームと物語：日本の物語の再生 日本の歴史上の人物の伝記がゲームのコンテンツとなり、さらにその物語が、アニメ、漫画、舞台へと展開しています。このような流れを例に取りながら、日本の物語の新たな再生について考察します。	東　晴美
	第12回	アニメ・マンガ：絵画と文学、舞台メディアの交流史 欧米と異なり、大人も愛する日本のマンガ文化について、江戸時代における絵画、文学、演劇のメディアミックス文化を源流として考察します。また、能や、歌舞伎など日本の伝統的なコンテンツがどのようにアニメやマンガに取り入れられているかを探求します。	東　晴美

	第13回	「ライオンキング」と文楽 文楽の人形の技術は、世界的にも大きなインパクトを与え続けています。「ライオンキング」や「キングコング」など、文楽にインスパイアされた表現を紹介します。	東　晴美
	第14回	2.5次元ミュージカル 現代日本では、舞台芸術、アニメ、ゲームなどが、メディアの垣根を越え縦横に入り交じりつつあります。代表例として漫画「テニスの王子様」のアニメ、ゲーム、ミュージカル化を紹介します。また、二次創作と日本の著作権意識の源流について考察します。	東　晴美
	第15回	まとめ:ひろがる芸術の世界 ボーカロイド初音ミクによる近松門左衛門作「曽根崎心中」の道行きのパフォーマンスを例にとりながら、新しいメディアと既存の文化との関係について考察します。これまでの授業について振り返り、ポイントを整理します。その上で、講義全体を振り返ったレポートを書いてもらいます。	東　晴美

科目の目的	この授業では、オペラ、歌舞伎から現代演劇までを含む舞台芸術を例にとって、芸術について学びます。 まず、他の芸術と異なる舞台芸術ならではの特色について、西洋舞台芸術の歴史を通して考えます。 次に、西洋とは異なる独自の発展をとげた日本の舞台芸術を概観します。また、難解だと思われがちな古典芸能の鑑賞のポイントも紹介します。 最後に、漫画、アニメ、ゲーム、ミュージカルなどの現代の表象文化を、芸術の視点から考察します。 これまでに舞台芸術が扱ってきたテーマを通して、人と社会に深い関心を持って、社会人としての教養を身につけます。【倫理】
到達目標	・舞台芸術を例に、芸術学の基本を学ぶ。 ・日本の芸能の特色を学ぶ。また、伝統芸能は、江戸時代以前の文化でありながら、近代以降も同時代の文化の影響も受けていることを理解する。 ・現代のメディアに、伝統的なコンテンツがどのように取り入れられているかを学ぶ。 ・舞台芸術が扱っているテーマを通して、人と社会に深い関心を持つ力を身につける。
関連科目	社会学
成績評価方法・基準	授業中の小テスト（2回）各20%、期末教場レポート20%、授業中リアクションペーパー40%
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	新聞、雑誌、テレビなどで紹介される舞台芸術や芸能に関する情報に関心を持つことがのぞまいしい。授業中のアンケートや授業後のレポートを提出に備えて1時間程度の学習をすることが望ましい。
教科書・参考書	webポータルシステムにて講義資料をデータで配布(授業日前にデータを掲載、授業終了後１週間はダウンロード可)
オフィス・アワー	木曜日　12:30～13:00
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	各テーマと、自分が現在関心をもっていることと関連づけながら学ぶことを求めます。
アクティブ・ラーニングの実施	発見学習（教員が示した芸術の事例をもとに、自分が親しんでる芸術ジャンルの特色を発見し考察する）

講義科目名称： 法学(日本国憲法含む)　　授業コード： 5M011

英文科目名称： Law(the Constitution of Japan)　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
道下 洋夫			

			担当者
授業形態	講義形式にて行なう		
授業計画	第1回	法とは何か なぜ法を学ぶのか、法とは何かについて様々な角度から考える	道下 洋夫
	第2回	法と社会・法の種類 法と社会との関わりあい方、法と医療の関わり合い方について理解する	道下 洋夫
	第3回	日本の法システム 日本の法令にはどのようなものがあるか、どのような性質を持つかについて理解する	道下 洋夫
	第4回	日本の司法制度 法的責任、訴訟事件にはどのようなものがあるかについて理解する	道下 洋夫
	第5回	憲法1 憲法の基本理念及び構造について理解する	道下 洋夫
	第6回	憲法2 基本的人権（平等権、受益権、平和的生存権）について理解する	道下 洋夫
	第7回	憲法3 基本的人権（自由権、社会権、包括的基本権）について理解する	道下 洋夫
	第8回	憲法4 統治機構（三権分立、地方自治）について理解する	道下 洋夫
	第9回	民法1 私法とは何か、債権債務とは何か、契約とは何かについて理解する	道下 洋夫
	第10回	民法2 不法行為など契約外の債権について、及び債権の一般的な規則について理解する	道下 洋夫
	第11回	民法3 物権とは何か、担保とは何かについて理解する	道下 洋夫
	第12回	民法4 行為能力、時効など民法の一般的な規則について理解する	道下 洋夫
	第13回	刑法1 刑法の基本原理について理解する	道下 洋夫
	第14回	刑法2 個々の犯罪、および特別法について理解する	道下 洋夫
	第15回	刑法3 構成要件、違法性、責任とは何かについて理解する	道下 洋夫
科目の目的	日本は、法治国家である。法治国家においては、法令が社会の仕組みを規定しており、その実施こそが社会を動かしているといって過言ではない。したがって、諸君がこれから社会人として羽ばたいていくということは、いかに細かい法令であろうと「知りませんでした」では済まされない世界に飛び込んでいくということでもある。法学を学ぶ意義はここにこそある。【人間性・思考・判断力】		
到達目標	・憲法を中心とした日本の法システムの概要について理解する。 ・憲法、民法、刑法を通じて実際の法規定を概観する。 ・社会人として生きていくのに必要な法知識を習得するだけでなく、2年生以降の専門領域における各種医療関係法規・医療倫理の学習へつなげる。		
関連科目	社会福祉・地域サービス論、関係法規、生命倫理		
成績評価方法・基準	定期試験(100%)		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	前回講義で扱った内容について目を通しておくこと(90分程度)。		
教科書・参考書	教科書：特にないが適宜、資料・法令を配布するので、各自事前に印刷して用意すること。		
オフィス・アワー	質問等があれば、講義中あるいは講義後に受け付ける。		
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意	2年生以降の各種医療関係法規や社会保障制度の学習の前提となる。 ただし、習得すべき知識量が極めて多いことに留意すること。		
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし		

講義科目名称： 社会学　　授業コード： 5M012

英文科目名称： Sociology　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
坂本 祐子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　社会学とは 社会の成り立ち　個人と集団と社会	坂本 祐子
	第2回　個人の生活の理解 多面的な日常生活のとらえ方	坂本 祐子
	第3回　保健・医療とQOL QOL概念の変遷とその時代背景　現代医療におけるQOL概念の意義	坂本 祐子
	第4回　社会的な健康 健康とは　ソーシャル・キャピタルと健康	坂本 祐子
	第5回　家族（１） 家族とは　家族の個人化と多様化	坂本 祐子
	第6回　家族（２） ライフコースの変化と家族	坂本 祐子
	第7回　家族（３） 家族のケア機能　ケアとジェンダー	坂本 祐子
	第8回　家族（４） 児童虐待　ドメスティック・バイオレンス　高齢者虐待	坂本 祐子
	第9回　社会階層 連鎖する貧困　社会的排除	坂本 祐子
	第10回　地域社会（１） 地域社会とは　地域社会の変動とコミュニティ	坂本 祐子
	第11回　地域社会（２） 人々の地域社会との関わり	坂本 祐子
	第12回　地域社会（３） 社会的ネットワークとその意義	坂本 祐子
	第13回　地域社会（４） コミュニティ形成とその諸課題	坂本 祐子
	第14回　集団・組織 フォーマルな組織とインフォーマルな組織	坂本 祐子
	第15回　ふりかえり 社会的存在としての人間　医療と社会情勢の変化	坂本 祐子
科目の目的	現在、日本は人口減少、経済格差や健康格差等多くの課題を抱えており、健康や生活を専門とする医療職は、医療や保健だけでなく、福祉、労働、地域等のあらゆる分野での活躍が期待されている。この科目は、適切な看護技術を提供するだけでなく、社会情勢の変化に注目し、身近な看護に関連する社会の有り様について考えるとともに、人々の生活や家族との関係、地域社会の動向を踏まえた適切な保健医療サービスの提供を可能にする知識の形成を目的とする。【関心・意欲】	
到達目標	１．社会情勢の変化をとらえ、その社会で生きる個人の生活を考える際には、様々な切り口（家族・ライフスタイル・健康・地域社会とのつながり等）があることが理解できる。 ２．人間にとって社会とは何か、私たちが生きている現代社会のあり方を社会科学的な視点で考察することができる。 ３．専門援助者として、家族の変化や虐待・ＤＶ等の暴力にどのように対応すべきか考えることができる。	
関連科目	法学（日本国憲法含む）　経済学　生活文化と医療　地域ボランティア活動論　環境学　大学の学び入門　社会福祉・地域サービス論	
成績評価方法・基準	講義時間内に、何度か小レポートを実施(次回講義以降に返却)。定期試験70％・小レポート30％	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	Active Academyにより資料を配布するので、資料内の不明な用語等を調べてくること。また、前回講義の重要事項を見直しておくこと。日頃から新聞に目を通すことを習慣にし、1週間で4時間半以上を自己学習に必要な時間の目安とする。	
教科書・参考書	使用しない	
オフィス・アワー	授業の前後（場所：非常勤講師室）	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	Active Academyにより資料を配布するので（前回講義翌日から当該日まで）、各自講義中に使用できるように準備しておくこと。	
アクティブ・ラー	実施なし	

ニングの実施	

講義科目名称： 生活文化と医療　　授業コード： 5M013

英文科目名称： Culture and Medicine in Life　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
鈴木 英恵			

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	オリエンテーション 本講義の目的と到達目標、授業の進め方（第１回から第１５回までの講義内容の簡単な説明）についてお話をします。	鈴木 英恵
	第2回	患者にとってのお守り 病院内と病院外（訪問看護・在宅看護）を対象に、医療従事者である臨床看護師、在宅看護師が経験あるいは見聞した患者とお守りのエピソードを紹介します。患者にとってのお守りとはどのようなものか、その特徴について考えてみます。	鈴木 英恵
	第3回	死生観について 人は皆、それぞれ死生観を持っています。ここでは死生観とは何か、を考える時間を設けます。授業の後半部でGWのレポート課題「死生観」の説明をします。あわせてレポートの書き方、文章の組み立て等のお話をします。	鈴木 英恵
	第4回	名づけとキラキラネーム 現代社会では、読み方が困難な子どもが増えてきています。これをキラキラネームと呼びます。医療現場や実生活において、読むのが難しいキラキラネームは問題になっているようです。ここでは伝承的な名づけの方法と、現代におけるキラキラネームの命名方法の特徴を考えます。	鈴木 英恵
	第5回	道祖神と民間信仰 路傍に佇む地蔵、道祖神などの石仏は、人びとの信仰対象（主に病気治癒や旅の神等）として古くから造立されてきました。ここでは近世後期に盛んに造られた道祖神を取り上げ、その信仰内容を説明します。あわせて、現代社会における道祖神の役割も考えてみます。	鈴木 英恵
	第6回	医療民俗学とは？！ 医療民俗学が対象とするのは、世間の人びとが日々の生活の中で経験し、知識として実践してきた医療習俗です。ここでは、医療民俗学の創設と医療習俗の対象となるもののお話します。	鈴木 英恵
	第7回	医療民俗学にみる年中行事の役割 日本では、それぞれ季節の節目に病魔や災厄を払う年中行事が存在します。ここでは年中行事の意味を考えながら、病い除ける行事や祭りをみていきます。	鈴木 英恵
	第8回	映像鑑賞　盲目の旅芸人瞽女 かつて、越後や北陸地方の村々をめぐる盲目の女性、瞽女さんがいました。幼いころに目を患うと自立した生活を送るために、幼少時から師匠に付いて三味線と唄の技術を身につけました。ここでは、瞽女さんの生活様式をみていきましょう。	鈴木 英恵
	第9回	いのち観と人生儀礼 授業の前半部では、テキストを中心にいのちの捉え方を『徒然草』、熊野観心十界曼荼羅図から人の一生のあり方を考えます。授業の後半部では、人の「いのち」についてじっくり考える時間を持ちます。テキストの内容をもとに、赤子の出生における誕生儀礼を中心にお話をします。	鈴木 英恵
	第10回	課題レポートの説明 本講義では、「生活文化と医療」をテーマにしたレポート課題があります。ここでは、ていねいにレポートの書き方の説明をします。近い将来、皆さんは医療従事者として患者やその家族と接する機会があると考えます。レポートでは、皆さん自身の生活に目を向けてもらい、医療に関連する事柄をまとめてもらいます。	鈴木 英恵
	第11回	病気をめぐる民俗 テキストを中心にお見舞いの品やカレンダーの暦と病気の関係など、病気をめぐる治癒祈願の方法を理解します。あわせて、看取りと臨終についても取り上げます。	鈴木 英恵
	第12回	一日の時間にみる民俗 テキストを中心に、夜の民俗の意味について考えます。また一日の時間、朝・昼・晩の時間の使い方を皆さん自身にも考えてもらいます。また、高齢女性の暮らしを例に、一日の時間の使い方についてみていきます。	鈴木 英恵

	第13回　ものに宿る霊魂 普段私たちが何気なく使うもの、たとえば食事で使う箸にはその人自身の霊魂が宿るといわれています。テキストの内容を中心に、ものに宿る霊魂観とは何かを考えてみます。 第14回　長寿祝いと老人観 テキストから全国各地の長寿祝いの方法を学びます。高齢化社会を象徴する儀礼の特徴をみていきます。老いと福祉に関する回想法についても理解します。 第15回　まとめ（看取りと先祖供養） 死の儀礼と伝統的な葬送習俗について、テキストを中心に考えます。ここでは供養とは何かを考え、故人を偲ぶ方法と供養をみていきます。	鈴木 英恵 鈴木 英恵 鈴木 英恵
科目の目的	本講義では、現代医療以前の伝統的な医療習俗を取り上げます。具体的にいうと、伝統的な医療習俗とは民間に伝承する病気の捉え方、治癒の方法など、いわゆる民間療法が対象となります。民間療法は、医師や医療従事者より古くから存在し、私たちの生活に根付いてきました。民間療法の一つに伝統的医療体系があります。医療技術は日々進歩し病院では科学的な医療が施されますが、その一方で、人は重い病気や完治の困難な病気を抱えると、お守り、お札（護符）など神仏の力に頼り、それらを心の拠り所にしようとします。このように、よりよい健康状態を求めようとする人びとの心意も、伝統的な医療習俗に属します。地域医療の対象となる人びとが病いをどのように考え、日々どのように過ごしているのかを考えていきます。本講義をとおし、現代を生きる人びとの生活から医療との接点を実感し、患者やその家族の精神的な面を考慮できる保健医療従事者になることを目的とします。 【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】	
到達目標	現代医療に通じる伝統的な医療習俗を学ぶことは、いまの生活の質を向上させる可能性を持っています。今後、医療従事者を目指す皆さんは赤子から高齢者まで、さまざまな世代の患者やその家族と接するときがきます。伝統的な医療習俗や地域医療の対象となる人びとの生活文化を、知識として有していれば、患者らとの円滑なコミュニケーションを取ることが期待できます。本講義では、「死生観」と「生活文化と医療」に関するレポート課題がありますが、履修者の課題に対する取り組みへの姿勢とその内容を鑑み、成績に反映させます。レポート課題を達成した後、履修者が獲得できる能力は①患者の視点に立って物事をみる力を養うこと、②患者やその家族らの心の動きが理解できることの2点と考えます。医療技術のみならず、患者らの気持ちに寄り添えるような保健医療従事者となる能力の獲得を目標とします。	
関連科目	生命倫理、家族社会学	
成績評価方法・基準	死生観に関するレポート課題（４０％）、生活文化と医療に関するレポート課題（４０％）、講義内容について理解できているのかを測るミニテスト（２０％）を実施します。 ２つレポート課題（死生観に課するレポート及び、生活文化医療に関するレポート）の提出は必須です。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	自分の日常生活から、医療や看護、病気などに関連すること（衣食住の面から病気にならないために気を付けていること、病気を治すための治癒祈願、病気にならないように日々心掛けていること、健康維持の方法など）に興味を持ってください。そして日常生活の中から、本講義の名称「生活文化と医療」に関するキーワードを自分で探し出してみてください。講義内で皆さんが考えるキーワードについても、触れていきたいと考えます。人は生きている限り、常に病いと向き合って生きていきます。皆さんは、自分の身体の体調が悪いとき、あるいは病気や怪我をしたとき、どのような行動をして健康な身体を取り戻すでしょうか。自分自身を含み、身近な人たち（父母、祖父母、友人、知人など）は如何にして病いと向き合い、正常な身体を取り戻しているのかを考えてみましょう。私たちの日常生活を注意深く観察することで、医療との接点を発見しそれに結びつく課題の獲得ができます。それら課題（疑問点）の意味をひとつずつていねいに考えることで、「なぜ」という疑問を解決することができます。授業前までに、９０分ほど時間をかけてテキストをじっくり読み、授業内容と合わせて自分なりの考えをまとめてみてください。	
教科書・参考書	教科書：『叢書・いのちの民俗学３　生死 看取りと臨終の民俗 ゆらぐ伝統的生命観』　板橋春夫（2019　社会評論社） 参考書１：『図解案内 日本の民俗』　福田アジオ・内山大介・小林光一郎・鈴木英恵・萩谷良太・吉村風編　（2019　吉川弘文館） 参考書２：『医療民俗学論』根岸謙之助　（1991　雄山閣） 必要に応じて、講義に関する資料を配布します。	
オフィス・アワー	授業の前後（場所：非常勤講師室）	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	講義では、履修者の能動的な学修への参加を取り入れたアクティブ・ラーニングを行います。そのため自主的な授業参加をもとめ、think, Pair, Shareを重視します。講義内で生活文化と医療に関連する質問を投げかけますので、それに対する自分の意見を考え（Think）を持ってください。そのあとに、隣・前後の履修者と２～３名（Pair）とその内容について話し合ってください。そして、数名の履修者に質問に対する自分の考えを発表してもらい、全体で共有（Share）します。	

講義科目名称： 経済学　　授業コード： 5M014

英文科目名称： Economics　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
飯島 正義			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　経済学で何を学ぶのか 経済学を学ぶことの意義、授業内容と進め方、成績評価等について説明します。	飯島 正義
	第2回　経済学の歩み アダム・スミスからケインズまでの流れを取り上げます。	飯島 正義
	第3回　国民経済の仕組み 経済の３主体（家計・企業・政府）とその関係について説明します。	飯島 正義
	第4回　市場メカニズム 市場メカニズムとは何か、市場メカニズムのメリット・デメリットについて説明します。	飯島 正義
	第5回　政府の役割 市場の失敗の是正について説明します。	飯島 正義
	第6回　景気循環 景気循環とは何か、日本の「景気指標」を読んでいきます。	飯島 正義
	第7回　物価 物価とは何か、物価指数、インフレ・デフレと私たちの生活について説明します。	飯島 正義
	第8回　金融政策と経済の安定化 金利政策、公開市場操作、預金準備率操作、ゼロ金利政策、金融の量的緩和等について説明します。	飯島 正義
	第9回　財政政策と経済の安定化 税制、財政支出、日本の財政状況について説明します。	飯島 正義
	第10回　国内総生産（GDP）（１） 国内総生産とは何か、三面等価の原則について説明します。	飯島 正義
	第11回　国内総生産（GDP）（２） 「国民経済計算」（内閣府）のデータを読んで日本のGDPの状況を確認します。	飯島 正義
	第12回　経済成長 経済成長とは何か、成長の要因、日本の経済成長の推移を確認します。	飯島 正義
	第13回　貿易・国際収支 貿易に関する理論、国際収支とは何か、日本の貿易・国際収支の現状を「国際収支表」で確認します。	飯島 正義
	第14回　為替レート 為替レートとは何か、為替レートの変動と日本経済への影響について説明します。	飯島 正義
	第15回　少子高齢化と日本経済 少子高齢化とは何か、少子高齢化が今後の日本経済にどのような影響を及ぼすのかについて説明します。	飯島 正義
科目の目的	経済学は、私たちの経済生活の中に存在する本質を明らかにすることを目的とした学問です。したがって、経済学を学ぶということは、私たちの経済生活そのものを知ることにつながります。【人間性・思考・判断力】	
到達目標	１．経済学の基礎知識を身につけることができます。 ２．経済学の基礎知識を使って、現実の経済ニュース等を理解できるようになります。	
関連科目	特にありません。	
成績評価方法・基準	授業内における復習プリント４０％（３～４回、授業資料参照可）、授業内試験６０％で総合的に評価します。 なお、復習プリントのプリントは授業時に回収し、次週返却します。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業資料で前回の授業内容を復習するとともに、次回の授業内容をシラバス、Web上の資料で大筋をつかんでおいて下さい。その際、授業で紹介する参考文献等を利用して2時間復習・予習にあてて下さい。	
教科書・参考書	教科書は使用しません。授業ではWebに添付する授業資料を使います。また、参考書については必要に応じて紹介します。	
オフィス・アワー	授業の前後の時間に講師室で対応します。	
国家試験出題基準	該当しません。	

履修条件・履修上の注意	授業資料をWeb上に添付しますので、各自印刷して持参して下さい。なお、資料の添付期間は前回授業翌日から2週間とします。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし。

講義科目名称： 地域ボランティア活動論　　授業コード： 5M015

英文科目名称： Volunteer Activities in a Community　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
一柳 大輔			

授業形態	講義6回、実習(ボランティア体験活動)2回	担当者
授業計画	第1回　ガイダンス、ボランティアの現状、ボランティアの歴史について 本講義の目的、授業の流れ等ガイダンスの説明。日本におけるボランティアの現状、ボランティアの定義、日本・欧米におけるボランティアの歴史ついて説明する。 また「民生委員・児童委員」「NPO」といった多様なボランティアの歴史を説明する。	一柳
	第2回　ボランティアに関する情報収集、ボランティアセンターの役割について ボランティア活動をスタートするにあたり、必要となる情報収集の方法について説明する。ボランティアセンターの組織や活動内容について説明し、各市区町村に設置されているボランティアセンターの活用方法を理解する。また、申請までのロールプレイングを行い、ボランティア参加までの流れを理解する。	一柳
	第3回　寄付と還元について 共同募金(赤い羽根共同募金)を例に寄付文化とその還元について説明する。寄付がどのようなかたちで使われているか、実際の事業を紹介し理解を深める。	一柳
	第4回　性的マイノリティとボランティア活動について 性的マイノリティに関連する団体の事業を紹介する。また、居場所事業・相談支援事業・啓発活動に関する紹介を通してボランティアとしてどう関われるかを考察する。また、「アライ(支援者)」として性的マイノリティの方との交流を支援的側面に特化して説明する。	一柳
	第5回　生活課題を抱えた方への支援とボランティア活動について 高齢者や障害者で孤独や生活課題を抱えている方などを対象とした居場所事業やコーディネート実践の紹介を通してボランティアとしてどう関われるかを考察する。	一柳
	第6回　ボランティア体験活動~障害者スポーツ体験～ 障害者スポーツ体験を実施する。障害者を支援する側される側、双方の立場を体験しながらボランティアとしての関わり方を体験する。※体育棟で土曜日に実施。第7回と兼ねる。	一柳
	第7回　ボランティア体験活動~障害者スポーツ体験～ 障害者スポーツ体験を実施する。障害者を支援する側される側、双方の立場を体験しながらボランティアとしての関わり方を体験する。※体育棟で土曜日に実施。第6回と兼ねる。	一柳
	第8回　ボランティア体験の実践発表、ボランティアに関する企業の取り組みの紹介 講義をとおした学びとボランティア体験に関する発表を行う。様々な背景を持つ学生同士で知見を共有、考察する。また、民間企業の社会貢献活動の取り組みを紹介し、卒後の専門職キャリアを歩むうえでのボランティア活動の捉え方を考察する。	一柳
科目の目的	1.ボランティア活動の多様なあり方を理解する 2.ボランティアに関連するステークホルダーを知り、他者を尊重し、自身のかかわり方を考察する 3.専門職として地域社会に主体的かつ創造的に貢献できる人材の育成 【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】	
到達目標	1.ボランティア活動の基本概念、歴史、現在の多様なニーズを理解し、ボランティアの意義を説明できる状態 2.実践、体験を通して、地域社会のニーズやボランティア活動について説明できる状態 3.ボランティア・市民活動の実践を振り返り、専門職としての職業観の確立の基礎作りに寄与できている状態	
関連科目	なし	
成績評価方法・基準	ボランティア体験レポート(50%)・授業内レポート(50%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	個人、専門職としてどのようにボランティアと関わるかを自身なりに整理し、言語化できるようにしておくこと。テーマに沿って自身の気になるトピックスを学習おくこと。準備学習に必要な時間の目安：1コマあたり2時間	
教科書・参考書	使用しない	

オフィス・アワー	授業の前後（教室もしくは非常勤講師室）
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	体験学習、教室内での演習、ディベート

講義科目名称： 環境学　　授業コード： 5M016

英文科目名称： Environmental Studies　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
西薗 大実			

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	環境とは 環境問題の範囲と背景、SDGs	西薗 大実
	第2回	地球の環境の構造 地球の自然の成り立ち	西薗 大実
	第3回	生活を支える資源と持続可能社会 再生可能資源と再生不能資源、持続可能性とは	西薗 大実
	第4回	環境問題の変遷 公害問題から地球環境問題へ	西薗 大実
	第5回	典型七公害 大気・水・土壌の汚染、足尾鉱毒、四大公害病	西薗 大実
	第6回	有害物質による環境汚染 イタイイタイ病を事例として	西薗 大実
	第7回	水質汚濁（Ⅰ） 水質汚濁の原因、生活排水、BOD	西薗 大実
	第8回	水質汚濁（Ⅱ） 水質汚濁の対策、下水道と浄化槽、多自然川づくり	西薗 大実
	第9回	気候変動（Ⅰ） 気候変動の具体的な影響、豪雨・熱中症・感染症等の増加	西薗 大実
	第10回	気候変動（Ⅱ） 温室効果ガス、気候変動の状況と将来予測	西薗 大実
	第11回	気候変動（Ⅲ） 予防原則、先進国・途上国の責任、パリ協定	西薗 大実
	第12回	エネルギー問題と低炭素社会への流れ 1次エネルギー、再生可能エネルギー	西薗 大実
	第13回	廃棄物問題と循環型社会への流れ 一般廃棄物・産業廃棄物・感染性廃棄物と３R	西薗 大実
	第14回	低炭素社会と循環型社会の融合 再生可能エネルギー・再生可能資源を中心とした社会づくり	西薗 大実
	第15回	持続可能社会の構築をめざして 低炭素社会と循環型社会を具体化した未来社会の在り方を考える	西薗 大実
科目の目的	環境問題への認識は、現代社会を生きていくために不可欠の要素である。また、疾病の発症するバックグラウンドとして、その時代の環境が色濃く反映している。環境理解を深めることによって、社会人としてよりよく生き、適切な保健医療サービスを提供できるようになることを目指す。 【人間性・思考・判断力】		
到達目標	1. 環境問題の背景と発生原因を理解する 2. 公害問題、地球環境問題とその対策の考え方を理解する 3. 資源・エネルギーの適切な利用と低炭素社会・循環型社会・持続可能社会構築への認識を持つ		
関連科目	特になし		
成績評価方法・基準	定期試験（100%）		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義資料をもとに授業該当箇所の予習・復習（自筆ノートの整備）を行う。 準備学習に必要な学習時間の目安は１コマ当たり４時間。		
教科書・参考書	使用しない（プリント配布）		
オフィス・アワー	授業の前後・非常勤講師室		
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意	特になし		
アクティブ・ラーニングの実施	教室内でのグループ・ディスカッション		

講義科目名称： 基礎生物学　　授業コード： 5M017

英文科目名称： Basic Biology　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
嶋田 淳子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　ヒトへの進化　生命を支える物質（１） ①生命の誕生と進化、ヒトへの進化について概説 ②生命現象の普遍的な特質、一様性、多様性、連続性について ③生命活動に主要な役割を持つ構成成分(1) ・水の重要性 ・タンパク質	嶋田 淳子
	第2回　生命を支える物質（２） 生命活動に主要な役割を持つ構成成分(2) ・炭水化物（糖質） ・脂質 ・核酸 ・無機質（無機塩類）	嶋田 淳子
	第3回～4回　生命の単位 ①ウイルス、原核細胞（細菌類を含む）、真核細胞 ②真核細胞の構造と機能 ・細胞膜の構造と機能　・細胞質基質の役割　・核の構造と機能 ・粗面小胞体の構造と機能　・滑面小胞体の構造と機能 ・ゴルジ体の構造と機能　・リソソーム ・ペルオキシソーム　・ミトコンドリア　・色素体　・細胞骨格の種類とその役割	嶋田 淳子
	第5回　ＤＮＡ ①ＤＮＡ複製のしくみ ②ＤＮＡの変異と修復 ③遺伝情報発現のしくみ	嶋田 淳子
	第6～7回　受精、発生、分化 ①無性生殖と有性生殖、減数分裂 ②受精 ③発生と分化のしくみ　卵割と胞胚形成 ④胚葉形成（中期胞胚変（遷）移と母性胚性変（遷）移） ⑤器官形成 ⑥形態形成とアポトーシス	嶋田 淳子
	第8回　ヒトの染色体と遺伝子、メンデルの法則と形質の遺伝 ①ヒトの染色体と遺伝子 ②メンデルの法則と形質の遺伝 ③ＡＢＯ血液型の遺伝 ④家系図の書き方 ⑤遺伝病の原因―――遺伝子変異	嶋田 淳子
科目の目的	高等学校「生物基礎」履修済みを前提に、医療系専門職の専門課程の学習を理解するために必要な生命現象の基礎知識を深めることを目的とする。特に基礎生物学では生体を構成する基本単位である細胞について、その構造と機能、細胞の増殖と生殖細胞の形成などを学び、さらに生命の連続性を担保する受精、発生、形質の遺伝について知識を深めることを目的とする。【人間性・思考・判断力】	
到達目標	ヒトの生命活動の全体像を理解するために次の事項を理解し、説明できる力を身につける。 ①生命の起源からヒトへの進化、生命現象の特質について理解する。 ②細胞構成成分である水の重要性を理解し、タンパク質、糖、脂質、核酸、無機質について説明できる ③細胞の構造、 細胞構成成分、細胞内小器官の働きや仕組みを理解する ④体細胞分裂と減数分裂を図示して詳細に説明できる。 ⑤生殖、発生、分化のしくみ、形態形成とアポトーシスについて理解する。 ⑥ヒトの染色体と遺伝子、メンデルの法則とヒト正常形質の遺伝について説明できる。	
関連科目	化学、解剖学Ｉ、生理学Ｉ、生化学	
成績評価方法・基準	定期試験の成績（80%）及び講義終了時に提出するリアクションペーパー（20%）により評価する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回ともシラバスの講義内容に一致する高等学校生物の教科書または補助教材を１時間程度復習しておくこと。特に、授業範囲の専門用語についてわからないときには生物学事典（岩波書店、東京化学同人社など）で調べ、理解しておくこと。	

教科書・参考書	教科書：「人の生命科学」　佐々木史江、堀口　毅、岸　邦和、西川純雄　（医歯薬出版株式会社） 参考書：１．「Essential細胞生物学原書第4版」中村桂子、松原謙一　監訳（南工堂） ２．アメリカ版　大学生物学の教科書１巻～３巻」　D.サダヴァ他著　ブルー-バックス（講談社） ３．「基礎から学ぶ生物学・細胞生物学」　和田　勝　（羊土社）
オフィス・アワー	授業終了後に教室で、または随時e-mailで質問を受ける。
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	基礎生物学分野の研究が医療に生かされている現状、ヒトの遺伝などを理解するために、教科書、講義資料等で予習後、履修することが望ましい。
アクティブ・ラーニングの実施	授業の中でグループワークを行う。

講義科目名称： 生物学　　授業コード： 5M018

英文科目名称： Biology　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
嶋田 淳子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回・2回　遺伝－ヒトを中心に－その１ ①遺伝子の転写 ②遺伝子の翻訳 ③原核生物と真核生物における遺伝情報発現コントロール ④エピジェネティックス	嶋田 淳子
	第3回・4回　遺伝－ヒトを中心に－その２ ①遺伝子の複製 ②単一形質（メンデル形質）で発現する遺伝病 ・常染色体性顕性遺伝病、潜性遺伝病と伴性遺伝病 ・保因者、患者の出現頻度－ハーディーワインベルグの法則の有用性－ ③染色体異常 ④ミトコンドリア病 ⑤体細胞遺伝病	嶋田 淳子
	第5回・6回　ヒトの受精と初期発生 ①ヒトの配偶子形成：減数分裂と遺伝子の組み換え、精子と卵子の形成 ②受精：精子の先体反応、受精と多精拒否の機構 ③胚盤胞の形成と着床 ・始原生殖細胞の形成 ・内細胞塊の分化と胚葉の形成 ④胚葉の分化 ⑤前胚子期と胚子期 ⑥発生をつかさどる遺伝子 ⑦先天異常発生の要因	嶋田 淳子
	第7回・8回　細胞科学の先端研究と医療への応用 ①オミックス解析の現状と課題 ②細胞内タンパク質の再利用 ・ユビキチン－プロテアソーム系 ・オートファジー ③iPS細胞 基礎研究と応用研究の進捗状況 ④細胞周期調節のしくみとがん化 ⑤細胞分裂の限界と老化	嶋田 淳子
科目の目的	高等学校「生物基礎」履修済みを前提に、保健医療の専門職として、先進・高度化しつつある専門領域の学習を理解するために必要な生命科学の基礎知識を深めることを目的とする。本講義では、基礎生物学で学んだ知識をベースに、生命活動を支えるエネルギー獲得、真核細胞のDNA複製や遺伝子の情報発現、情報発現の調節などを詳しく学ぶ。また、ヒトの遺伝病、先天異常及びヒトの初期発生について学ぶ。さらに医療分野に直接関連する基礎生物学分野の研究進捗状況について理解する。【人間性・思考・判断力】	
到達目標	生物学Aの学習内容を基礎として次の事項を理解し、説明できる力を身につける。 ①光合成によるエネルギー獲得の詳細と呼吸による生命活動のエネルギー産生について詳細に説明できる。 ②真核細胞におけるDNAの複製、遺伝情報発現、情報発現コントロール、DNAの変異などについて知識を深める。 ③ヒトのメンデル様式による遺伝病およびそれ以外の要因による遺伝病について学び、説明できる。 ④ヒトの受精、発生初期における細胞分裂の詳細と形態形成及び先天異常発生の要因について学び、説明できる。 ⑤細胞科学の先端基礎研究と医療分野との関連について理解し、説明できる力を身につける。	
関連科目	基礎生物学、基礎化学、解剖学Ⅰ、生理学Ⅰ、生化学	
成績評価方法・基準	定期試験の成績（80%）及び講義終了時に提出するリアクションペーパー（20%）により評価する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回ともシラバスの講義内容に一致する高等学校生物の教科書または補助教材を１時間程度復習しておくこと。特に、授業範囲の専門用語についてわからないときには生物学事典（岩波書店、東京化学同人社など）で調べ、理解しておくこと。	
教科書・参考書	教科書：「人の生命科学」　佐々木史江、堀口　毅、岸　邦和、西川純雄　（医歯薬出版株式会社） 参考書：１．「Essential細胞生物学原書第4版」中村桂子、松原謙一　監訳（南工堂） ２．アメリカ版　大学生物学の教科書１巻～３巻」　D.サダヴァ他著　ブルー-バックス（講談社）	

	３．「基礎から学ぶ生物学・細胞生物学」　和田　勝　（羊土社）
オフィス・アワー	授業終了後に教室で、または随時e-mailで質問を受ける
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	基礎生物学を履修していることが望ましい。
アクティブ・ラーニングの実施	授業の中でグループワークを行う。

講義科目名称： 基礎数学　　授業コード： 5M019

英文科目名称： Basic Mathematics　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
井上 浩一			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　数と式 多項式の四則演算を復習する。日常で数や式を操作するセンスを伸ばすことを促す。	井上 浩一
	第2回　方程式と不等式 １次不等式、２次方程式の復習をする。日常や医療の場でもそのセンスを役立てることを促す。	井上 浩一
	第3回　２次関数 関数とグラフの概念を復習する。 関数の最大・最小の求め方を整理する。 ２次関数のグラフと２次方程式・２次不等式の関係。 生活の中で数量的なセンスを発揮することを促す。	井上 浩一
	第4回　図形と計量 三角比、正弦定理と余弦定理、図形の計量に関して復習する。 生活の中でそのセンスを磨くことを考える。	井上 浩一
	第5回　個数の処理 集合とその要素の個数、場合の数、順列、組み合わせ・二項定理の復習。生活の中でそのセンスを役立てることを促す。	井上 浩一
	第6回　確率 事象と確率、確率の性質、反復試行の確率、期待値の復習。生活の中でそのセンスを役立てることを考える。	井上 浩一
	第7回　論理と命題 命題と条件、必要条件、十分条件、逆、裏、対偶の復習。生活や医療の場で論理的にものごとをとらえるセンスを磨くことを促す。	井上 浩一
	第8回　基礎統計学 資料の整理を復習し，データの特徴的な値を求める。	井上 浩一
科目の目的	高校数学の基礎を復習し、数学の各分野の概念を再確認し、それを医療を含む生活での現象に結びつけて応用するセンスと技能を伸ばし、将来、医療従事者として数理現象を見出し、定量的に表現し、その上で分析、評価するための基礎的な能力を磨く。具体的には、数と式、方程式と不等式、二次関数、図形と軽量、場合の数と確率、論理と命題、基礎統計学について学ぶ。【人間性・思考・判断力】	
到達目標	1. 基礎的な数学の概念の復習をする。 2. 数学の概念や道具を自力で扱えるようにする。 3. 定量的にものごとを評価するセンスを磨く。	
関連科目	数学，基礎物理学，物理学，基礎化学，化学	
成績評価方法・基準	筆記試験(90%) + 小テスト(10%) なお，社会情勢に応じて，筆記試験の代わりにレポート試験をすることもありうる。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	・高校数学の教科書の相当部分を読んでおく。(30分程度) ・プリントや問題集の問題を解く。(90分程度)	
教科書・参考書	教科書・参考書：特になし。 毎回、講義内容のプリントをActive Academyで配布する。 配布期間：前回授業翌日から当該日まで 持参方法：各自印刷して授業に持参すること	
オフィス・アワー	授業前後の休憩時間	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	○履修条件 講義「数学」も履修することが望ましい。	
アクティブ・ラーニングの実施	実施しない	

講義科目名称： 数学　　授業コード： 5M020

英文科目名称： Mathematics　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
井上 浩一			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　三角関数 一般角と弧度法，三角関数の加法定理，三角関数の合成，和と積の変換	井上 浩一
	第2回　複素数 複素数の導入と計算方法，複素共役，剰余の定理，因数定理	井上 浩一
	第3回　指数関数と対数関数 指数法則，実数のべき，対数の導入，対数法則，底の変換公式	井上 浩一
	第4回　ベクトルと行列 ベクトル・行列の導入，基本的な性質	井上 浩一
	第5回　微分の導入 微分の定義，整式の微分，極大値・極小値	井上 浩一
	第6回　微分の基本性質 積・商の微分，合成関数の微分，三角関数・指数関数・対数関数の微分	井上 浩一
	第7回　積分の導入 積分の定義，整式の積分，図形の面積	井上 浩一
	第8回　積分の応用 置換積分，部分積分，三角関数・指数関数・対数関数の積分，微分方程式	井上 浩一
科目の目的	医療従事者には、個々の患者の生理的状態や疾病状態、患者集団の動向などを種々のデータによって定量的にとらえ、分析・評価する能力が求められる。また患者への治療・検査刺激の量的な理解と評価も重要である。本科目はそれらのための基礎的数学知識の確認に加えて、発展的な知識を身につけ、専門科目の円滑な理解につなぐことを目指す。具体的には、三角関数、複素数、指数関数、対数関数、ベクトルと行列、微分・積分、微分方程式、部分積分などについて学ぶ。 【人間性・思考・判断力】	
到達目標	１.医療や科学を学ぶためのやや進んだ数学的な知識と技能を学ぶ。 ２.数理現象を理解したり、評価したり、扱かったりする数学的なセンスを養う。	
関連科目	基礎数学，基礎物理学，物理学，基礎化学，化学	
成績評価方法・基準	レポート試験(90%) + 小テスト(10%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	・高校数学の教科書の該当する部分を読んでおく。(30分程度) ・プリントや問題集の問題を解く。(90分程度)	
教科書・参考書	教科書・参考書：特になし。 毎回，講義プリントをActive Academyで配布する。 配布期間：前回授業翌日から当該日まで 配布方法：各自印刷して授業に持参すること	
オフィス・アワー	授業前後の休憩時間	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	○履修条件 講義「基礎数学」も履修することが望ましい。	
アクティブ・ラーニングの実施	実施しない	

講義科目名称： 基礎化学　　授業コード： 5M021

英文科目名称： Basic Chemistry　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
日置 英彰			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　化学の立場から医療を考える 歴史的に重要な化学物質を取り上げて，化学物質がどのように医療に貢献してきたか考える．	日置 英彰
	第2回　物質の成り立ち 物質を構成している分子と原子の構造，原子軌道，分子軌道について解説する．	日置 英彰
	第3回　元素と周期表 自然にはどのような元素があるのか，元素の分類と周期表の読み方について解説する．	日置 英彰
	第4回　イオン イオンとイオン結合の原理，生体内でのイオンの役割について解説する．	日置 英彰
	第5回　共有結合化合物と有機分子 生体を構成している物質のほとんどは有機分子である．有機分子の結合様式，特有な形，一般的な性質について解説する．	日置 英彰
	第6回　水の性質と物質の状態変化 ヒトの体の半分以上を占める水の性質と物質の三態（気体，液体，固体）について解説する．	日置 英彰
	第7回　物質の変化における速度論と平衡論 物質の変化は，速度論と平衡論の両面から考察する必要がある．これらについて概説する．	日置 英彰
	第8回　放射線と放射能 放射性崩壊と半減期，医療における放射性同位体の利用について解説する．	日置 英彰
科目の目的	地球上に生きるすべての生命を持つものを物質から見れば，巨視的に見えるものから究極を突き詰めれば見えないものは原子や分子の世界まで行きつくことになる．本科目では，物質の科学であると言われる化学について，物質についての基本的な事項を高校化学の基礎にさかのぼり学び，専門課程の理解ための基礎的知識を身につけることを目的とする．【人間性・思考・判断力】	
到達目標	専門課程で学習する内容を理解するために，化学分野の基礎的知識を習得する．	
関連科目	生化学	
成績評価方法・基準	試験（８０％），毎講義ごとのリアクションペーパー（Active Academyのアンケート機能を利用）の提出（２０％）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習は必要ないが，毎回の講義の理解度を確認するために，各講義ごとに出題されるチェックテストを活用して復習してください．準備学習時間の目安：１時間	
教科書・参考書	教科書：看護系で役立つ化学の基本　有本淳一・西沢いづみ著　化学同人 参考書：特に指定なし	
オフィス・アワー	講義前後の時間	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	特にありません．	
アクティブ・ラーニングの実施	受講内容に関連することで興味を持ったことを積極的に調べるなど，能動的な学習を行ってください．各回ごとに提出するリアクションペーパーにはその内容を記述してください．	

講義科目名称： 化学　　授業コード： 5M022

英文科目名称： Chemistry　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
日置 英彰			

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	病気と闘う化学物質 くすりは体の中でどのように作用するのか概説しながら，医療と化学がどのように関わっているのか考える．	日置 英彰
	第2回	生体内ではたらく有機化合物 ホルモンや神経伝達物質をはじめ多くの有機化合物が生命活動を維持する上で重要な役割を果たしている．これら有機化合物の性質を官能基別に解説する．	日置 英彰
	第3回	酸と塩基 酸，塩基，緩衝液について解説する．	日置 英彰
	第4回	酸化と還元 物質の酸化と還元，生体内での酸化還元反応について解説する．	日置 英彰
	第5回	生体高分子 糖，タンパク質，核酸の化学構造とその性質について解説する．	日置 英彰
	第6回	触媒と酵素 生体内の化学反応は酵素が触媒している．化学反応における触媒の役割，酵素の構造と触媒作用について解説する．	日置 英彰
	第7回	合成高分子 医療材料には多くの高分子素材が使われている．各種高分子の性質と医療材料への応用について解説する	日置 英彰
	第8回	拡散と浸透現象 細胞への物質の出入りや人工透析などを考える上で重要な拡散と浸透現象原理について解説する．	日置 英彰

科目の目的	医療と化学の関係は深い．生命活動自身が秩序だった化学反応であり，医薬品，医用材料，臨床検査薬等を扱うには化学的な見方・考え方は重要である．本講義ではその基本的知識を習得する． 【人間性・思考・判断力】
到達目標	生体関連物質，医薬品，医用材料など医療に密接に関係している化学物質の性質や反応を理解する．
関連科目	生化学
成績評価方法・基準	試験（８０％），毎講義ごとのリアクションペーパー（Active Academyのアンケート機能を利用）の提出（２０％）
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習は必要ないが，毎回の講義の理解度を確認するために，各講義ごとに出題されるチェックテストを活用して復習してください．準備学習時間の目安：１時間
教科書・参考書	教科書：看護系で役立つ化学の基本　有本淳一・西沢いづみ著　化学同人 参考書：特になし
オフィス・アワー	講義前後の時間
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	特にありません．
アクティブ・ラーニングの実施	受講内容に関連することで興味を持ったことを積極的に調べるなど，能動的な学習を行ってください．各回ごとに提出するリアクションペーパーにはその内容を記述してください．

講義科目名称： 基礎物理学　　授業コード： 5M023

英文科目名称： Basic Physics　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
山﨑　真			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　物理量の次元と単位 補助単位、組立単位、同次元の単位の変換。	山﨑真
	第2回　静止系 力の釣り合い、モーメントの釣り合い、バネの力。	山﨑真
	第3回　運動 瞬間の速度、加速度。等速直線運動、等加速度運動。	山﨑真
	第4回　運動方程式 1 力学の問題の標準的な手続き。	山﨑真
	第5回　運動方程式 2 坂道、バネなどの典型問題。	山﨑真
	第6回　仕事とエネルギー 位置エネルギー、運動エネルギー、弾性エネルギー。エネルギー保存則。	山﨑真
	第7回　円運動 等速円運動。	山﨑真
	第8回　バネと単振動 単振動。	山﨑真
科目の目的	高等学校で物理を履修していない学生を想定し、物理の基礎を身につける。 高校物理を履修済みの学生にとっても新たな発見があるよう、別の視点の紹介も行う。 【人間性・思考・判断力】	
到達目標	物理学の基礎的な概念を知り、標準的なアプローチを身につけ、物理現象を定量的・定性的に取り扱えるようになる。 分野は概ね初等力学。	
関連科目	物理学	
成績評価方法・基準	定期試験（90%），講義内レポート（10%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	高校物理教科書や参考書を読んでから講義に臨めばより効果的だが、受講生には予習よりも講義の復習を期待する。前回分の演習問題を解いておくこと。 30分～1時間程度(定期試験前の復習は別)	
教科書・参考書	参考書：講義中に指示する。	
オフィス・アワー	随時	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	特になし	
アクティブ・ラーニングの実施	問題解決学修	

講義科目名称： 物理学　　授業コード： 5M024

英文科目名称： Physics　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
山﨑　真			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　熱現象 1 熱と温度、比熱	山﨑真
	第2回　熱現象 2 気体の状態方程式、仕事と熱	山﨑真
	第3回　熱現象 3 気体分子運動論	山﨑真
	第4回　波動 1 回折、屈折、波の式	山﨑真
	第5回　波動 2 干渉、ドップラー効果	山﨑真
	第6回　電気基礎 1 抵抗回路の基礎、電位の概念	山﨑真
	第7回　電気基礎 2 キルヒホッフの法則、電力	山﨑真
	第8回　電磁波・放射線 電磁波と各種核崩壊	山﨑真
科目の目的	高等学校で物理を履修していない学生を想定し、物理の基礎を身につける。 基礎物理学に続き熱と波動、電気の基礎を学ぶ。【人間性・思考・判断力】	
到達目標	物理学の基礎的な概念を知り、標準的なアプローチを身につけ、物理現象を定量的・定性的に取り扱えるようになる。	
関連科目	基礎物理学	
成績評価方法・基準	定期試験（90%），講義内内レポート（10%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	高校物理教科書や参考書を読んでから講義に臨めばより効果的だが、受講生には予習よりも講義の復習を期待する。前回分の演習問題を解いておくこと。 30分～1時間程度(定期試験前の復習は別)	
教科書・参考書	参考書：講義中に指示する。	
オフィス・アワー	随時	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	基礎物理学も履修しておくことを強く勧める。	
アクティブ・ラーニングの実施	問題解決学修	

講義科目名称： 英語リーディング　　授業コード： 5M025

英文科目名称： General English Reading　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
徳永 慎也			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　Introduction、Self Introduction 授業の説明、自己紹介　（課題）英語で自己紹介をしてみる。	徳永慎也
	第2回　Lesson 1　Communication communicationの持つ力についての英文読解。課題のフィードバック。	徳永慎也
	第3回　Lesson1　Communication communicationの持つ力についての英文読解。Grammar for ommunicationのLet's Try (Lesson 1)	徳永慎也
	第4回　Lesson 3　Health 病気を引き起こす微生物発見の歴史についての英文読解。	徳永慎也
	第5回　Lesson 3　Health 病気を引き起こす微生物発見の歴史についての英文読解。Grammar for CommunicationのLet's Try (Lesson 3)	徳永慎也
	第6回　Lesson 4　Environment 絶滅種、絶滅危惧種についての英文読解。	徳永慎也
	第7回　Lesson 4　Environment 絶滅種、絶滅危惧種についての英文読解。Grammar for CommunicationのLet's Try (Lesson 4) （課題）私の好きな事、もの	徳永慎也
	第８回　Lesson 5　Fashion 日本の着物の歴史についての英文読解。課題のフィードバック	徳永慎也
	第9回　Lesson 5　Fashion 日本の着物の歴史についての英文読解。Grammar for CommunicationのLet's　Try (Lesson 5)	徳永慎也
	第10回　Lesson　10　Steve Jobs Steve Jobsの生涯に関する英文読解。Jobsのメッセージを読み取る。	徳永慎也
	第11回　Lesson　10　Steve Jobs Steve Jobsの生涯に関する英文読解。Grammar for CommunicationのLet's　Try (Lesson 10)	徳永慎也
	第12回　Lesson　11　Volunteer Work ボランティア活動の意義に関する英文読解。	徳永慎也
	第13回　Lesson　11　Volunteer Work ボランティア活動の意義に関する英文読解。Grammar for Communication のLet's Try (Lesson 11) （課題）スマートフォンの利点・欠点	徳永慎也
	第14回　Lesson　14　Culture カルチャーショックに関する英文読解。　課題のフィードバック	徳永慎也
	第15回　Lesson　15　An International World 留学を通して得られたものについての会話練習、英文読解。	徳永慎也
科目の目的	専門分野の英語に取り組むための基礎力、特にリーディング力、リスニング力を養成する。英語を学ぶことを通して、将来の医療人として人間や社会に対する興味・関心の幅を広げ、関心・興味を持った事柄に関して調べ、自分の考え・意見を持ち、それらを表現する。【人間性・思考・判断力】	
到達目標	・テキストや各自の力と興味に合わせた本を読むことを通じて、多くの英文に接し、構文を正しく理解し、英文の内容を理解することができる。 ・テキストのトピックについて調べ、自分の考え・意見を持ち、グループやペアでの話し合いを通じて、他者の考え・意見も聞き、最終的に自分の考え・意見をまとめ、表現することができる。 ・テキスト教材の音声を聞いて、単語や文章を聴き取り、発音することができる。 ・extensive readingの目標は10,000words。易しい英文を楽しみながら読むことができ、口語表現、日常生活での英語表現が理解できる。	
関連科目	医療英語会話、医療英語リーディング、英語会話、英語アカデミックリーディング・ライティング	
成績評価方法・基準	定期試験（60%）課題(30%) extensive reading(10%)	

準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習：次回に学習する範囲の英文を読んで、わからない単語は辞書で調べ、英文の大まかな内容をつかむ。どこがわからないのかを明確にする。exercise等もあらかじめやっておく。 復習：その日に学習したことを整理し、英文を理解する。課題を行う。予習復習合わせて約1時間。 extensive readingについては、目標達成に向けて、各自のペースで計画的に進める。
教科書・参考書	教科書：Journeys: Communication for the Future　阿野幸一ほか4名　(朝日出版社)
オフィス・アワー	講義日の昼休み（4号館8階研究室）
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	高校までの基本的英文法は理解しておいてください。辞書を授業に持ってくること。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし

講義科目名称： 医療英語会話　　授業コード： 5M026

英文科目名称： Medical English Conversation　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
David Andrews			

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	Introduction/Icebreaking イントロダクション、本授業について（シラバスや成績評価方法等）。 初対面で使う表現および授業中よく使われる表現の紹介、練習。	David Andrews
	第2回	Unit 1: Meeting patients	David Andrews
	第3回	Body Partsの小テスト（１） + Unit 2: Taking a medical history	David Andrews
	第4回	Unit 2の小テスト + Unit 3: Assessing symptoms	David Andrews
	第5回	Unit 3の小テスト + Unit 4: Taking vital signs および第1回目のプレゼンテーション準備	David Andrews
	第6回	第1回目のプレゼンテーション + Unit 4: Taking vital signs	David Andrews
	第7回	Unit 4の小テスト + Unit 5: Taking a specimen	David Andrews
	第8回	Unit 5の小テスト + Unit 6: Conducting a medical examination	David Andrews
	第9回	Body Partsの小テスト（２） + Unit 7: Assessing pain	David Andrews
	第10回	Unit 7の小テスト + Unit 8: Advising about medication および第2回目のプレゼンテーション準備	David Andrews
	第11回	第2回目のプレゼンテーション + Unit 8: Advising about medication	David Andrews
	第12回	Unit 8の小テスト + Unit 9: Improving Patients’ mobility	David Andrews
	第13回	Unit 9の小テスト + Unit 10: Maintaining a good diet	David Andrews
	第14回	Body Partsの小テスト（３） + Unit 11: Caring for inpatients	David Andrews
	第15回	Unit 12: Coping with emergencies および定期試験（プレゼンテーション）の準備	David Andrews
科目の目的	現在、医療は、間違いなくグローバルな分野であり、「国際語」である英語を通じて様々なアイデアが世界中に共有されている。本授業では、医療分野において必要な医療用語や表現を知識として身に付け、実際の場で使えるように実用的なコミュニケーションスキルを学ぶ。［キーワード：【表現・技能・判断能力】］		
到達目標	医療業界において様々なシチュエーションに対応できるようになる。また、医療業界でよく使われている専門用語や表現等を聞き取り、言えるようになる。		
関連科目	英語会話、医療英語リーディング、英語リーディング、英語アカデミックリーディング・ライティング		
成績評価方法・基準	小テスト（30%）、中間プレゼンテーション（2回；1回目＝15%、2回目＝20%）、定期試験（プレゼンテーション）（35%） 授業中に小テストの結果を毎回確認させ、プレゼンテーションへのフィードバックを口頭で行う。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	復習：前回の授業で学んだことを定着させる。予習：テキストに目を通して、オーディオを聞き、練習問題をする。学習時間は合わせて1.5時間程度。また、中間プレゼンテーションの準備時間は合わせて4～6時間程度。		
教科書・参考書	教科書：Caring For People		
オフィス・アワー	授業日の昼休み（1号館 ANNEX 6階619研究室）		
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意	予習は必ずすること。授業に辞書を持ってくる。		
アクティブ・ラーニングの実施	ペアワーク、グループワーク、プレゼンテーション		

講義科目名称： 医療英語リーディング　　授業コード： 5M027

英文科目名称： Medical English Reading　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
徳永 慎也			

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	Introduction―Pretest　Test Your Reading Skill: Team Medicine 授業の説明、各自のreading abilityのチェック、単語力のチェック。	徳永慎也
	第2回	Unit ２ Coping with Cancer: Five Stages of Grief topicの英文読解、内容の把握。がんと共に生きるための5つのステージ1とは何か。接頭辞と接尾辞 1	徳永慎也
	第3回	Unit ２ Coping with Cancer: Five Stages of Grief topicの英文読解、内容の把握。Reading Comprehension とPractice Conversation 接頭辞と接尾辞 2 単テスト返却	徳永慎也
	第4回	Unit ３ Where Medicine Meets Religion topicの英文読解、内容の把握。医療と宗教の関わり方と解決策を考える。接頭辞と接尾辞 3 単語テスト返却	徳永慎也
	第5回	Unit ３ Where Medicine Meets Religion topicの英文読解、内容の把握。Reading Comprehension とPractice Conversation 接頭辞と接尾辞 4 単語テスト返却	徳永慎也
	第6回	Unit 6 What Comes First When Helping Others topicの英文読解、内容の把握。医療従事者自身の身体的、精神的ケアを考える。接頭辞と接尾辞 5 単語テスト返却	徳永慎也
	第7回	Unit 6 What Comes First When Helping Others topicの英文読解、内容の把握。Reading Comprehension とPractice Conversation 接頭辞と接尾辞 6 単語テスト返却	徳永慎也
	第8回	Unit 8 What Is ″Upstream″ Thinking? topicの英文読解、内容の把握。upstream thinkingとは何かを理解する。接頭辞と接尾辞 7 単語テスト返却	徳永慎也
	第9回	Unit 8 What Is ″Upstream″ Thinking? topicの英文読解、内容の把握。Reading Comprehension とPractice Conversation 接頭辞と接尾辞 8 単語テスト返却	徳永慎也
	第10回	Unit 9 Actions Speak Louder than Words topicの英文読解、内容の把握。非言語コミュニケーションとは何かを理解する。接頭辞と接尾辞 9 単語テスト返却	徳永慎也
	第11回	Unit 9 Actions Speak Louder than Words topicの英文読解、内容の把握。Reading Comprehension とPractice Conversation 接頭辞と接尾辞 10 単語テスト返却	徳永慎也
	第12回	Unit 4 Before Calling It Malpractice topicの英文読解、内容の把握。医療ミスについて理解する。接頭辞と接尾辞 11 単語テスト返却	徳永慎也
	第13回	Unit 4 Before Calling It Malpractice topicの英文読解、内容の把握。Reading Comprehension とPractice Conversation 接頭辞と接尾辞 12 単語テスト返却	徳永慎也
	第14回	Unit 14 Japan's Healthcare System Is the Envy of the World topicの英文読解、内容の把握。日本の国民皆保険制度を考える。接頭辞と接尾辞 13 単語テスト返却	徳永慎也
	第15回	Unit 14 Japan's Healthcare System Is the Envy of the World Reading Skillのチェック topicの英文読解、内容の把握。各自のreading skillの再チェック。単語力の再チェック。単語テスト返却	徳永慎也
科目の目的	専門分野の英語に取り組むためのリーディング力、リスニング力、表現力の養成と強化。 医療系の基本的英語語彙力と英語表現力の強化。【表現・技能・判断能力】		

到達目標	・医療全般に関するトピックを読み、構文を正しくとらえ、内容を理解することができる。 ・トピックの内容をまとめ、関連する事柄について、自分の意見・考えを表現できる。 ・テキストの音声を聞いて単語や文章を正しく聴き取ることができる。 ・医療の基本的英単語、英語表現を覚え、声に出して読んで正しく書くことができる。
関連科目	英語リーディング　医療英語会話　英語会話　英語アカデミックリーディング・ライティング
成績評価方法・基準	定期試験（90%）　医療英単語テスト(10%)
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習：次回に学習する範囲の英文、英単語の音声を聴く。英文を読んで、わからない単語は辞書で調べ、英文の大まかな内容をつかむ。どこがわからないのかを明確にする。 復習：その日に学習したことを整理し、英語構文を理解する。英単語、英語表現は覚え、正しく発音できるように音声教材をよく聴き、また、正しく書けるまで練習する。課題を行う。 予習復習合わせて約1時間。
教科書・参考書	教科書：Medical World Walkabout　大野直子＆ダシルヴァ石田牧子　(成美堂)
オフィス・アワー	講義日の昼休み（4号館8階研究室）
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	高校までの基本的英文法は理解しておいてください。辞書を授業に持ってくること。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし

講義科目名称： 英語会話　　授業コード： 5M028

英文科目名称： General English Conversation　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
David Andrews			

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	Course introduction/Icebreaking Explanation of the syllabus and grading. Introduction of phrases that will commonly be used in the class.	David Andrews
	第2回	Unit 1: Which do you prefer, dogs or cats? Talking about yourself, your hobbies, and your interests.	David Andrews
	第3回	小テストU1 および Unit 2: Where would you like to visit? Talking about countries and places that interest you.	David Andrews
	第4回	小テストU2 および Unit 3: Let's talk about money Expressing money amounts, dealing with currency exchange, and using an ATM.	David Andrews
	第5回	小テストU3 および Unit 4: Let's go to Hawaii! (part 1) および第1回目のプレゼンテーション準備 Making reservations and checking in to a hotel および各Unitより会話の作成。	David Andrews
	第6回	第1回目のプレゼンテーションおよび Unit 4: Let's go to Hawaii! (part 2) 第1回目のプレゼンテーションおよび Making reservations and checking in to a hotel (continued)	David Andrews
	第7回	小テストU4 および Unit 5: Let's do this! Talking about resort activities and making plans.	David Andrews
	第8回	小テストU5 および Unit 6: How do I get to the Koi Pond? Asking and giving directions.	David Andrews
	第9回	小テストU6 および Unit 7: Where are you headed? Asking for a taxi and making small talk.	David Andrews
	第10回	小テストU7 および Unit 8: Let's take a tour! (part 1) および第2回目のプレゼンテーション準備 Talking about various island tours and activities および各Unitより会話の作成。	David Andrews
	第11回	第2回目のプレゼンテーションおよび Unit 8: Let's take a tour! (part 2) 第２回目のプレゼンテーションおよび Talking about various island tours and activities (continued)	David Andrews
	第12回	小テストU8 および Unit 9: How much is this T-shirt? Going shopping and buying things.	David Andrews
	第13回	小テストU9 および Unit 10: Let's go out to eat! Ordering food at a restaurant.	David Andrews
	第14回	小テストU10 および Unit 11: Lost and Found Describing an item you have lost.	David Andrews
	第15回	Unit 12: How was your vacation? および定期試験（プレゼンテーション）の準備 Talking about your experiences および各Unitより会話の作成。	David Andrews
科目の目的	本授業では、英語でコミュニケーションをとる際に役立つ用語や表現、異文化に対する寛容さを身に付け、様々な状況や場面で使えるように実用的なコミュニケーションスキルを学ぶ。［キーワード：【人間性・思考・判断力】］		
到達目標	・自分のことや身の回りのことについて英語で伝えることができる。 ・様々な場面において実用的なコミュニケーションスキル(要求、指示など)を習得する。 ・英語圏の文化や風習を理解する。		
関連科目	医療英語会話、英語リーディング、医療英語リーディング、英語アカデミックリーディング・ライティング		
成績評価方法・基準	小テスト（30%）、中間プレゼンテーション（2回；1回目＝15%、2回目＝20%）、定期試験（プレゼンテーション）（35%） 授業中に小テストの結果を毎回確認させ、プレゼンテーションへのフィードバックを口頭で行う。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	復習：前回の授業で学んだことを定着させる。学習時間は1.5時間程度。また、中間プレゼンテーションの準備時間は合わせて4～6時間程度。		
教科書・参考書	教科書：使用せず 適宜、教材用資料を配布		

オフィス・アワー	授業日の昼休み（1号館 ANNEX 6階619研究室）
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	予習は必ずすること。授業に辞書を持ってくる。
アクティブ・ラーニングの実施	ペアワーク、グループワーク、プレゼンテーション

講義科目名称： 英語アカデミックリーディング・ライティング 授業コード：5M029

英文科目名称： Academic Reading and Writing in English 対象カリキュラム：2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
David Andrews			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 中国語　　授業コード： 5M030

英文科目名称： Chinese　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
深町 悦子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　ガイダンス、中国語とは？ 発音、漢字、声調	深町 悦子
	第2回　中国語の発音のきまり 単母音、複合母音、声調	深町 悦子
	第3回　子音の発音と音節 母音、子音、音節表の読み方	深町 悦子
	第4回　発音のまとめ 自分の名前を中国語で読む練習	深町 悦子
	第5回　第１課の学習 第１課［私は日本人です］ 文法　単語　本文　置換練習	深町 悦子
	第6回　第１課の復習と第２課の学習 第２課[これは中国語の教科書です] 文法　単語　本文　置換練習	深町 悦子
	第7回　第２課の復習と第３課の学習 第３課[マクドナルドに行きましょう] 文法　単語　本文　置換練習	深町 悦子
	第8回　発音の総合復習と第１課から第３課までの復習 中間レポート提出	深町 悦子
	第9回　第３課の復習と第４課の学習 第４課[明日の天気はあまりよくない] 文法　単語　本文　置換練習	深町 悦子
	第10回　第４課の復習と第５課の学習 第５課[私は今年18歳です] 文法　単語　本文　置換練習	深町 悦子
	第11回　第５課の復習と第６課の学習 第６課[食堂は図書館のむかいにあります] 文法　単語　本文　置換練習	深町 悦子
	第12回　第６課の復習と第７課の学習 第７課[私は11時に寝ます] 文法　単語　本文　置換練習	深町 悦子
	第13回　第７課の復習と第８課の学習 第８課[私は中日辞典を１冊買いに行きたい] 文法　単語　本文　置換練習	深町 悦子
	第14回　第８課の復習と第９課の学習 第９課[私は本屋でアルバイトをしています] 文法　単語　本文　置換練習 文法　単語　本文　置換練習	深町 悦子
	第15回　第１課から第９課までの復習 総合復習	深町 悦子
科目の目的	現代のグローバル化の社会の中で、一国際人として、多言語ができる人材を育成する。【人間性・思考・判断力】	
到達目標	日常生活及び仕事の中で、簡単な会話ができること。	
関連科目	特になし	
成績評価方法・基準	期末に筆記試験を行う。基準は筆記試験が80%、授業内にレポート及び感想文の提出が20%。 提出されたレポートについては次回授業内でフィードバックを行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業前の予習と授業後の復習をすること。1時限ごとに30分ぐらい必要である。 発音の練習は必ずしっかりする事、特に四声については、音声ファイルを聞きながら発声して覚えるように。	

教科書・参考書	教科書：グッと入門中国語 改訂版（金星堂） 参考書：なし
オフィス・アワー	講義の前後
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	教科書の購入が必要である
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし

講義科目名称： コリア語　　授業コード： 5M031

英文科目名称： Korean　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
青木　順			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　ハングルの読み方　基本母音 朝鮮半島、ソウル市などを簡単に紹介し、ハングルの由来、構造を簡単に説明。 基本母音10個の読み方、基本母音を含んだ単語、挨拶言葉等を学習する。	青木　順
	第2回　ハングルの読み方　基本子音 基本子音４個の読み方、その基本子音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として伝統料理を紹介する。	青木　順
	第3回　ハングルの読み方　基本子音 基本子音４個の読み方、その基本子音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。	青木　順
	第4回　ハングルの読み方　激音（濃音と比較しながら） 濃音と比較しながら激音5個の読み方、激音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として伝統茶を紹介する。	青木　順
	第5回　ハングルの読み方　濃音（激音と比較しながら） 激音と比較しながら濃音5個の読み方、濃音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。	青木　順
	第6回　ハングルの読み方　合成母音 合成母音11個の読み方、合成母音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。	青木　順
	第7回　ハングルの読み方　パッチム パッチムの読み方、パッチムを含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として食事のマナー、１歳の誕生日を紹介する。	青木　順
	第8回　「私は青木順です」① サンパッチム、連音の説明、練習を行う。	青木　順
	第9回　「私は青木順です」② 「は」「です」「～と申します」という文法の学習、関連会話文の読み、訳を行う。 文化として伝統家屋、伝統舞踊を紹介する。	青木　順
	第10回　「私は青木順です」のまとめと「何人家族ですか？」① 韓国語での自己紹介を一人一人行う。 関連単語、「ます」「ますか」等の文法の学習と練習を行う。 文化として伝統的結婚式、楽器等を紹介する。	青木　順
	第11回　「何人家族ですか」② 「お～になります」「が」「と」などの文法の学習と練習を行う。	青木　順
	第12回　「何人家族ですか」③ 固有数字、関連会話文の読み、訳、会話練習等を行う。 文化として伝統遊びを紹介する。	青木　順
	第13回　「すみません」① 関連単語、「～してください」、意志を含んだ「ます」等の文法の学習と練習を行う。	青木　順
	第14回　「すみません」② 「いる（いない）」「ある（ない）」の説明と練習。 固有数字を使う助数詞、関連会話文の読み、訳を行う。 文化として伝統刺繍を紹介する。	青木　順
	第15回　「すみません」③とまとめ 会話練習、文法のまとめ、試験問題の説明を行う。	青木　順
科目の目的	グローバルな視点を養い、限定的な場面でのコミュニケーション能力を身に付けることができる。	
到達目標	・ハングル文字を正確に読み書きできるようになる。 ・正確な発音をマスターする。 ・挨拶をはじめ、簡単な日常会話を身につける。	
関連科目	特になし。	
成績評価方法・基準	課題への取り組み（40%）・期末テスト（60%）	

準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業で学習した内容はその都度復習しておくこと。 外国語の学習は反復・継続することが何より大切なので、毎日10分でもよいので、積極的に取り組むこと。
教科書・参考書	講師作成教材使用予定(コピー)
オフィス・アワー	コリア語の授業のある日12:30〜12:50非常勤教員室
国家試験出題基準	特になし。
履修条件・履修上の注意	講師作成の教材を使用する。 配布期間：前回の授業翌日から当該日まで。 持参方法：各自印刷して授業に持参すること（課題も含まれているため、印刷必須）。
アクティブ・ラーニングの実施	二人一組で、与えられた課題に取り組む方法をとる。

講義科目名称： ドイツ語　　授業コード： 5M032

英文科目名称： Gernman　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
菅谷　優			

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	動詞の現在人称変化１	菅谷優
	第2回	名詞と冠詞の格変化	菅谷優
	第3回	名詞の複数形・人称代名詞	菅谷優
	第4回	動詞の現在人称変化２・命令法	菅谷優
	第5回	定冠詞類・不定冠詞類	菅谷優
	第6回	前置詞	菅谷優
	第7回	話法の助動詞・未来形・非人称動詞	菅谷優
	第8回	分離動詞と非分離動詞・接続詞	菅谷優
	第9回	動詞の三基本形・過去人称変化	菅谷優
	第10回	現在完了・再帰表現	菅谷優
	第11回	形容詞の格変化	菅谷優
	第12回	形容詞と副詞の比較変化・zu不定詞	菅谷優
	第13回	関係代名詞・指示代名詞	菅谷優
	第14回	受動態	菅谷優
	第15回	接続法	菅谷優
科目の目的	ドイツ語の基礎文法を一巡する。【人間性・思考・判断力】		
到達目標	講師のいない独習においても辞書と教科書を用いてドイツ語の文章が理解できるようにする。		
関連科目	健康スポーツ実技 現代文学 英語リーディング 医療英語会話 中国語 コリア語 ポルトガル語 情報処理		
成績評価方法・基準	期末試験100％		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各文法事項一課につき予習復習込みで二時間		
教科書・参考書	教科書は郁文堂からでているDeutsche Grammatik System und Praxis Leicht ISBN978-4-261-01272-9を使用。辞書は郁文堂：新キャンパス独和辞典978-4-261-07306-5をお買い求めください。 参考書として朝日出版社から出ている単語帳：ドイツ語基礎単語帳をお勧めいたします。		
オフィス・アワー	授業終了後、教室前、あるいは講師室にて		
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意			
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし		

講義科目名称： ポルトガル語　　授業コード： 5M033

英文科目名称： Portuguese　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
Hilda Harumi Handa			

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	Introduction / Apresentacao Explaining how the class will be given, and grades / Explicar como serao as aulas e as notas. Introduction / Apresentacao Explaining how the class will be given, and grades / Explicar como serao as aulas e as notas.	Hilda Harumi Handa
	第2回	Brazil and the other nine countries that speak Portuguese / Brasil e os outros nove paises que falam português. A brief lecture about Brazil and nine other countries whose official language is Portuguese	Hilda Harumi Handa
	第3回	Greetings and Pronouns Greetings / Cumprimentos/Apresentacao Possessive adjectives/pronouns / Pronomes possessivos Saying hello and goodbye / Encontrar-se/despedir-se	Hilda Harumi Handa
	第4回	Alphabet and pronunciation / Alfabeto e pronuncia Syllables / Formacao das silabas Introduction to Portuguese Alphabet	Hilda Harumi Handa
	第5回	Stress / Acentuacao Stress rules Oxitonas/paroxitonas/proparoxitonas Rules for stressing.	Hilda Harumi Handa
	第6回	Nouns / Substantivos Adjectives / Adjetivos We'll talk about kinds of nouns and adjectives.	Hilda Harumi Handa
	第7回	Articles / Artigos definidos/indefinidos Prepositions / Preposicoes Verbs / Verbos Adverbs / Adverbios Nouns / Substantivos Adjectives / Adjetivos Learning about articles, prepositions, verbs, and adverbs.	Hilda Harumi Handa
	第8回	Conjunctions / Conjuncoes Time / Horas Seasons/Weather / Estacoes/climas Class about conjunctions, and how to talk about time and the weather.	Hilda Harumi Handa
	第9回	Cardinal/ordinal numbers / Numeros Cardinais/ordinais Phone / Telefone Email All about numbers.	Hilda Harumi Handa
	第10回	Subject pronoun / Pronomes Pessoais Verb Be I / Verbos ser e estar I More pronouns and the verb Be, that means more than one verb in Portuguese.	Hilda Harumi Handa
	第11回	Verb Be II / Verbos Ser e estar II Continuing with the verb Be.	Hilda Harumi Handa
	第12回	Family / Familia Week/month/year / Semana/meses/ano Colors / Cores Light class about family, dates, and colors.	Hilda Harumi Handa
	第13回	Human Body / Corpo Humano Clothing / Roupas Special class about the human body.	Hilda Harumi Handa
	第14回	Food & Culture / Gastronomia e cultura Let's learn about Brazilian food, and maybe taste some of it.	Hilda Harumi Handa

	第15回　Exam Let’s see how much you learned from the previous classes.	Hilda Harumi Handa
科目の目的	ポルトガル語は主にブラジルで話される言語で、1万人以上のブラジル系住民が生活する群馬県内でも接する機会の多い言語です。群馬県内(特に東毛地区)において地域に関わる仕事(例えば、公務員や教員、医療関係など)を希望している学生にはポルトガル語の習得をお薦めします。 また、ポルトガル語はブラジル以外の国々でも公用語とされているところがあり、国際的に活動したいという際にも役立てることができます。 ポルトガル語は英語に近い構造のヨーロッパ言語で、英文法や語彙の知識が応用できる項目もあり、一方で英語の理解にも役立ちます。 本授業の目標はポルトガル語の入門にとどまりますが、初級、中級へと学習を進めるためのきっかけとなると同時に、「英語以外のヨーロッパ言語」に関心を持っていただくこと、加えて可能な限り、ブラジルを中心としたポルトガル語圏の文化についても授業内で紹介し、ポルトガル語に関わる事柄の知見を広めることも目指します。【人間性・思考・判断力】	
到達目標	本授業では欧州言語共通参照枠(CEFR)のA1レベルを習熟目標とし、ポルトガル語の基本中の基本となる以下の基礎文法と基礎的なコミュニケーション表現を習得することを目指します。 (1)ポルトガル語を読める (2)名詞や形容詞の性数の考え方が理解できる (3)挨拶など基礎的な表現ができる (4)基礎的な語彙を使うことができる (5)動詞の活用ができる これらに加え、とりわけブラジル人との日常的なコミュニケーションに関わる文化の知識（食文化、交通など）を身につけることも目標とします。	
関連科目	特になし	
成績評価方法・基準	50% from final exam, and 40% participation (not attendance) in class, 10% assignments.	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	No special knowledge is required for it’s a class for beginners. However, students should prepare by reviewing the handouts from the previous class and reading the newspapers or magazines mentioned in class. Students are advised to study about 2-3 hours per week in preparation for each 90-minute lesson.	
教科書・参考書	Teacher will provide handouts. Students will be encouraged to read some books, newspapers or magazines, that will be mentioned during class.	
オフィス・アワー	Students can communicate through email that will be provided on the first class.	
国家試験出題基準	特になし	
履修条件・履修上の注意	5回以上の欠席がある場合は期末試験を受けられません。 また、特別な事情がない場合の30分以上の遅刻は欠席と見なします。 就職活動や特別な事情による欠席は考慮いたします。 大学生として相応な英語力と意欲、情熱があることが望ましいです。	
アクティブ・ラーニングの実施	discussion , conversation and pair work	

講義科目名称： 情報処理　　授業コード： 5M034

英文科目名称： Information Processing　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
西谷　泉			

授業形態	演習	担当者
授業計画	第1回　本講義の概要、1章＆2章 本講義の概要とOfficeの基本ついて学ぶ テキスト　(目次)　本書と連携サイトの活用法	西谷　泉
	第2回　3章　Word　文書作成 Wordを使った具体的な文書作成ついて学ぶ テキスト　(第1章)　コンピューターの仕組み	西谷　泉
	第3回　3章　Word　画像や図形を活用した文書作成 Wordを使って画像や図形を活用した文書作成について学ぶ	西谷　泉
	第4回　4章　Excel　表計算のデータ入力 Excelを使って表計算のデータ入力の基本について学ぶ	西谷　泉
	第5回　4章　Excel　関数を使った表計算 Excelを使って重要な関数を活用した表計算を具体例を通して学ぶ	西谷　泉
	第6回　４章　Excel　グラフ作成 Excelを使って表の内容をグラフに表現することを学ぶ	西谷　泉
	第7回　４章　Excel　検索関数の利用 Excelを使って条件を満たすデータを検索することを学ぶI	西谷　泉
	第8回　４章　Excelの便利な機能 Excelの便利な機能を使った分かりやすい表作成を学ぶ	西谷　泉
	第9回　４章　Excel　実習問題 これまで学んだ内容についての実習問題に取り組む テキスト　(第7章)　レポート作成（Word）　▼レポート作成サンプルファイル	西谷　泉
	第10回　万年カレンダーの作成 Excelに関して学んだことを使って、万年カレンダーを作成する	西谷　泉
	第11回　５章　PowerPoint プレゼンテーションの基本について学ぶ PowerPointの使い方とスライド作成の基本について学ぶ テキスト　(第9章)　グラフ作成（Excel）	西谷　泉
	第12回　５章　PowerPoint　アニメーションなどの活用 PowerPointのアニメーションを使った分かりやすいスライド作成について学ぶ テキスト　(第9章　グラフ作成（Excel）　▼集計表、グラフ作成サンプルファイル	西谷　泉
	第13回　5章　PowerPoint　スライドショーと資料作成 PowerPointのスライドショーとプレゼン資料について学ぶ テキスト　(第10章)　プレゼンテーション作成（PowerPoint）	西谷　泉
	第14回　６章　Office　フォトレタッチ機能 Officeソフトを使った画像編集について学ぶ テキスト　(第10章)　プレゼンテーション作成（PowerPoint）▼プレゼンテーション作成サンプルファイル	西谷　泉
	第15回　試験 これまでの学習の理解度を確認する	西谷　泉
科目の目的	膨大な情報が溢れる現代社会に生きている私たちは、適切に情報を収集・処理し、それらを有効に活用する能力を身に付けることが求められている。情報を適切に処理するためにはコンピュータとソフトウェアを活用することが重要である。本授業では、情報処理において世界的に活用されているソフトウェアのMicrosoft Ofiiceを使った情報処理、情報伝達などについて、豊富な具体例を通して実習的に学習する。それによって情報処理の能力に向上を目指す。【知識・理解・実践能力】	
到達目標	パソコンのソフトウェアであるOffice内の、Word,Excel,PowerPointを有効に活用できるようになることと、それによって適切な情報の処理、分析、さらにそれらを他者に伝達する能力を身に付けることを目標とする。	
関連科目	情報リテラシー	
成績評価方法・基準	課題(40%)、テスト(40%)、リアクションペーパー(20%)　合わせて100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な	この授業では、テキストを利用して、授業（60分）、自己学習（30分)を演習を通して実施します。関連する項目を事後学習（４0分）で理解を深め、課題にも取り組むことを想定している。	

学習時間の目安	
教科書・参考書	教科書：「30時間でマスター　Office2019」実教出版
オフィス・アワー	未定
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	MS-Office（MS-Word,MS-Excel,MS-PowerPoint)ウェブブラウザをインストールしたPC（Windows10対応）を持参してください。
アクティブ・ラーニングの実施	実施無し

講義科目名称： 情報リテラシー　　授業コード： 5M035

英文科目名称： Information Literacy　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
西谷　泉			

授業形態	講義と実習		担当者
授業計画	第1回	社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷　泉
	第2回	社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷　泉
	第3回	社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷　泉
	第4回	社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷　泉
	第5回	社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷　泉
	第6回	社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷　泉
	第7回	社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷　泉
	第8回	社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷　泉
	第9回	社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷　泉
	第10回	社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷　泉
	第11回	社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷　泉
	第12回	社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷　泉
	第13回	社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷　泉
	第14回	社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷　泉
	第15回	社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷　泉
科目の目的	高度情報化社会である現在社会において、様々な情報が溢れている。そのような情報を収集・整理・分析し、それを適切に表現・伝達する能力の重要性が増している。本授業では、受講生の主体的な取り組みを重視し、Active Learningを生かした活動を通して、そのような能力の育成を目指		

	す。合わせて、情報社会における守るべき情報倫理やルール、セキュリティなどについても学習する。これらの学習活動は、様々な課題に取り組む将来医療従事者として活動する上で、役立つものであると考える。【倫理】
到達目標	適切な情報収集と表現・伝達を通して、情報活用能力の重要性を理解する。 個別目標： 1.さまざまな情報メディアを通して情報を活用・伝達する能力を身につける。 2.マルチメディアによる情報表現・伝達の手法を理解し、基本的ルールやモラルを身に付ける。 3.情報表現における倫理やルールを理解し、情報セキュリティを実践できる。
関連科目	情報処理
成績評価方法・基準	演習課題（授業毎のプレゼンテーションと課題提出70%、リアクションペーパー30%）100%
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	この授業では、インターネットを使って、様々な社会的課題について情報収集し、それを整理・分析し、さらに表現・伝達する過程を演習の形で学習する。授業の学習効果を高めるためには、常々現代社会や医療分野における様々な状況や課題等について、関心をもつことが大切である。 関連する項目を1時間程度の事前学習で理解し、併せて関連サイトを自己学習することが望まれます。
教科書・参考書	テキストは使用しません。
オフィス・アワー	未定
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	MS-Office（MS-Word,MS-Excel,MS-PowerPoint)ウェブブラウザをインストールしたPC（WindowsPC、Mac等）を持参してください。
アクティブ・ラーニングの実施	プレゼンテーションを実施

講義科目名称： データサイエンス入門　　授業コード： 5M036

英文科目名称： Introduction to Date Science　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
星野 修平			

授業形態	講義と演習		担当者
授業計画	第1回	社会におけるデータ・AI利活用 データサイエンスとは/社会における変化/本講義の概要と授業準備として、パソコンの利用方法、具体的な活用について学ぶ	星野修平
	第2回	社会で活用されているデータ	星野修平
	第3回	データ・AIの活用領域	星野修平
	第4回	データ・AI利活用のための技術	星野修平
	第5回	データ・AI利活用の現場	星野修平
	第6回	データ・AI利活用の最新動向	星野修平
	第7回	時系列データの可視化	星野修平
	第8回	平均、標準偏差の算出とその可視化	星野修平
	第9回	大量のデータを扱う方法	星野修平
	第10回	基本統計量の算出と箱ひげ図	星野修平
	第11回	度数分布表とヒストグラムの作成	星野修平
	第12回	散布図の作成と相関係数の算出	星野修平
	第13回	定性データの扱い方とクロス集計	星野修平
	第14回	データ・AIを扱う上での留意事項	星野修平
	第15回	データを守る上での留意事項	星野修平
科目の目的	現代社会においては、ICTの進歩に伴い、大容量データの収集、蓄積と解析によって、様々な情報・知識を得ることが可能となった。ビックデータやAI、機械学習などを経て、様々な問題解決を行うデータサイエンスの基礎を学び、そのために必要なコンピュータの利用、統計学の知識、データ処理の手法を理解する。 【人間性・思考・判断力】		
到達目標	データサイエンスに関する基礎的概念について理解し、コンピュータによってデータ解析が実践できる。 個別目標： ・データサイエンスについて基礎的概念を説明できる。 ・データサイエンスに必要なコンピュータの基本的操作が行える。		
関連科目	情報処理・情報リテラシー・統計学・医療統計学		
成績評価方法・基準	授業中に実施するミニテスト（５０％）と演習課題（５０％）		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	事前学習（90分）で理解し、授業を通して学んだことの事後学習（４５分）		
教科書・参考書	教科書：基礎学習　AIデータサイエンスリテラシー入門　吉岡剛志,小林領,照屋健作 共著 2022.技術評論社 参考書：データサイエンスの考え方　小澤 誠一・斎藤 政彦　共著、オーム社		
オフィス・アワー	授業の前後、昼休み、4号館7階研究室 事前にE-mail にて予約(s-hoshino@paz.ac.jp)		
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意	MS-ExcelをインストールしたPC（WindowsPC、Mac等）を持参してください。		

アクティブ・ラーニングの実施	演習、事前課題、事後課題なその課題演習にて、学生の招待的な学びを実践的におこなう。

講義科目名称： 大学の学び入門　　授業コード： 5M037

英文科目名称： Introduction to College Learning　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	1学年	1単位	必修	
担当教員	担当者			
星野 修平	星野修平		峯村優一	竹居田幸仁

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	大学の学び入門とは ・科目の目的・目標・進め方 ・高校生までの学習・生活と大学生の学習・生活の違い ・アカデミック・スキル、スチューデント・スキルとは	星野修平
	第2回	学ぶスキル（1） ・ノートの取る ・講義に参加する	星野修平
	第3回	学ぶスキル（2） ・本を読む ・文献を探索する ・図書館を活用する	星野修平
	第4回	学ぶスキル（3） ・オンラインコミュニケーション ・メールの活用、SNSの活用と課題 ・クラウドサービスの利用	星野修平
	第5回	学ぶスキル（4） ・大学の理念、教育の理念 ・群馬パース大学の教育の理念を聞き、大学の学びを考える 　ゲストスピーカー：栗田昌裕学長	星野修平
	第6回	学ぶスキル（5） ・保健・医療・福祉の理念 ・医療専門職を目指す入学動機を検証し、学習、生活両面の自分自身の目標を見つける 　ゲストスピーカー：國元文生群馬パース病院長	星野修平
	第7回	書くスキル（1） レポートの書き方１ ・レポートとは何か、レポート作成の手順、よいレポートとは	峯村優一
	第8回	書くスキル（2） レポートの書き方２ ・論文作法	峯村優一
	第9回	書くスキル（3） レポートの書き方３ ・講義レポートの形式	峯村優一
	第10回	リサーチスキル（1） ・リサーチスキルの意味 ・インターネットの利用とデータ収集	星野修平
	第11回	リサーチスキル（2） ・データを集めて集計する ・データから基本統計量を計算する	星野修平
	第12回	生きるスキル（1） ・相手の話を聴く ・ロールプレイを通して基本的なカウンセリングの技法を体験する	竹居田幸仁
	第13回	生きるスキル（2） ・自分の気持ちや考えを伝える ・グループワークを通し，自分の感情や意思をわかり易く伝える練習をする	竹居田幸仁
	第14回	生きるスキル（3） ・協力して作業する ・これまでのワークを通して身につけたスキルを活用し，周囲と協力して課題を達成する	竹居田幸仁

	第15回　　生きるスキル（4） ・自身の人生とライフスタイルを考える ・他者の意見を聞き、自ら考える ゲストスピーカー：樋口建介理事長	星野修平
科目の目的	大学での学習形態や学問に対する姿勢、大人としての生活態度を認識、理解し、高校生までの学習・生活から大学生の学習・生活に移行することができるように、基本的なスキル、姿勢を学ぶ。 1.与えられた知識や技術を身に付けていく高校までの学習から、自ら課題を見つけ、それを解決していく大学の学習のためのスキルの習得、姿勢の理解 2. 高校までの大人に守られた生活から、責任ある大人としての生活のためのスキルと姿勢の理解。 【人間性・思考・判断力】	
到達目標	1. 大学での学習に必要な学習習慣・学習技術（アカデミック・スキル、情報処理に関するスキル、ルール、マナー）を理解し、授業やレポートで実践できる。 2. 責任ある大人としての生活に必要な、基本的な生活習慣を身につけ、大学生活で実践できる。 （スチューデント・スキル、コミュニケーションスキル）	
関連科目	全科目	
成績評価方法・基準	星野担当課題（50%、課題に対するフィードバックはAAにて掲示を行う） 峯村担当分課題（25%、課題はコメントと共に後日返却する） （新規教員）担当意見文・感想文（25%、意見文・感想文の内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	前回授業の重要事項を見直しておくこと。約45分間。	
教科書・参考書	教科書：18歳からの「大学の学び」基礎講座、向後千春　著　北大路書房 参考書：講義等で随時紹介いたします。	
オフィス・アワー	星野：授業の前後、昼休み、4号館7階研究室 峯村：授業の前後、昼休み、4号館8階研究室 （新規教員）昼休み、研究室	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	講義資料はActive Academy上で配布しますので、各自プリントアウトして授業に持ってきてください。配布期間は授業の前後1週間。	
アクティブ・ラーニングの実施	・課題提出に際し、発見学習を取り入れて実施。 ・ロールプレイ、グループワークを取り入れて実施。	

講義科目名称： 大学の学びー専門への誘いー　　授業コード： 5M038

英文科目名称： Introduction to Healthcare Profession　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	1学年	1単位	必修	
担当教員	担当者			
松下　誠	藤田清貴・松下　誠・長田　誠		古田島伸雄・亀子光明・高橋克典	岡山香里・木村鮎子・林　由里子
	荒木泰行・石垣宏尚・三浦佑介		藤本友香	高橋あゆ子・木村　朗

授業形態	演習		担当者
授業計画	第1回	イントロダクション 教養ゼミナールの進め方、グループ分け、グループ討論	藤田，長田，松下，古田島，亀子，高橋（克），岡山，林，木村，荒木，石垣，三浦，藤本，高橋（あ）
	第2回	グループ学習-1 課題テーマの選定、役割分担	藤田，長田，松下，古田島，亀子，高橋（克），岡山，林，木村，荒木，石垣，三浦，藤本，高橋（あ）
	第3回	グループ学習-2 分担内容の調査結果について報告・討論	藤田，長田，松下，古田島，亀子，高橋（克），岡山，林，木村，荒木，石垣，三浦，藤本，高橋（あ）
	第4回	グループ学習－３ 追加・確認内容について報告・討論	藤田，長田，松下，古田島，亀子，高橋（克），岡山，林，木村，荒木，石垣，三浦，藤本，高橋（あ）
	第5回	グループ学習-4 調査・研究結果まとめ	藤田，長田，松下，古田島，亀子，高橋（克），岡山，林，木村，荒木，石垣，三浦，藤本，高橋（あ）
	第6回	グループ学習-5 発表スライド作成準備（PowerPointの使い方）	藤田，長田，松下，古田島，亀子，高橋（克），岡山，林，木村，荒木，石垣，三浦，藤本，高橋（あ）

	第7回	グループ学習-6 発表スライド作成および発表練習（１）	藤田，長田，松下，古田島，亀子，高橋（克），岡山，林，木村，荒木，石垣，三浦，藤本，高橋（あ）
	第8回	グループ学習-7 発表スライド作成および発表練習（２）	藤田，長田，松下，古田島，亀子，高橋（克），岡山，林，木村，荒木，石垣，三浦，藤本，高橋（あ）
	第9回	発表と討論（１） 前半グループによる発表・討論（発表10分，討論３分）	藤田，長田，松下，古田島，亀子，高橋（克），岡山，林，木村，荒木，石垣，三浦，藤本，高橋（あ）
	第10回	発表と討論（２） 後半グループによる発表・討論（発表10分，討論３分）	藤田，長田，松下，古田島，亀子，高橋（克），岡山，林，木村，荒木，石垣，三浦，藤本，高橋（あ）
	第11回	医療機関に勤務する外部講師による講演（１）（２） 講演終了後レポート提出，各教員のチェック後，成績を評価する．	藤田，亀子，小河原，木村(博)，古田島，長田，高橋，岡山，木村(鮎)，荒木，林，石垣
	第12回	医療機関に勤務する外部講師による講演（３）（４） 講演終了後レポート提出，各教員のチェック後，成績を評価する．	藤田，亀子，小河原，木村(博)，古田島，長田，高橋，岡山，木村(鮎)，荒木，林，石垣
	第13回	医療機関に勤務する外部講師による講演（５）（６） 講演終了後レポート提出，各教員のチェック後，成績を評価する．	藤田，亀子，小河原，木村(博)，古田島，長田，高橋，岡山，木村(鮎)，荒木，林，石垣
	第14回	他職種による講演ー専門への誘い（１）（木村　朗） 保健科学の概要と成り立ちを学ぶ 1.病と人間　2.保健科学の基礎としてのヘルスリテラシーのあらまし	木村　朗

	第15回　　他職種による講演ー専門への誘い（２）（木村　朗） 保健科学を具他的な事例に即して理解する　1.ヘルスリテラシーの活用　2.文化とヘルスリテラシー	木村　朗
科目の目的	少人数のグループに分かれグループ学習を行う。担当教員を含めたグループ内討論により課題テーマを設定し，調査・研究，討論を行い資料作成などに取り組む。グループ学習の結果については発表会を行い，学習能力を高める。さらに，講義では医療・科学分野などで活躍する外部講師を招き，各領域の仕事内容や医療人としての心構えを学ぶ。【関心・意欲】	
到達目標	１．課題テーマの選択から発表までの一連のプレゼンテーションの仕方を理解できる。 ２．グループ討論に積極的に参加し相手の意見を理解しながら自分の考えを述べることができる。 ３．各職種の仕事内容を理解できる。	
関連科目	生命倫理，大学の学び入門，多職種理解と連携	
成績評価方法・基準	演習への取り組み50%，発表内容20%，レポート30%により成績を評価する。採点の基準は100点満点のうち60点以上を合格とする。また，授業回数の3分の1以上の欠席がある場合には試験成績は無効とみなす。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	グループ学習においては課題テーマの情報収集を積極的に行いその内容を理解しておくこと。準備学習に必要な学習時間の目安は１～２時間である。	
教科書・参考書	実践身体活動学（三共出版）木村朗担当部分で使用、ほか必要に応じて資料を配布する。	
オフィス・アワー	講義終了後に各グループの担当教員が質問を受け付ける。 亀子：kameko@paz.ac.jp 藤田：fujita@paz.ac.jp 松下：（??????@paz.ac.jp） 長田：osada@paz.ac.jp 古田島：kotajima@paz.ac.jp 高橋：k-takahashi@paz.ac.jp 岡山：okayama@paz.ac.jp 木村（鮎）：ay-kimura@paz.ac.jp 林：hayashi@paz.ac.jp 荒木：y-araki@paz.ac.jp 石垣：ishigaki@paz.ac.jp 三浦：miura@paz.ac.jp 藤本：fujimoto@paz.ac.jp 長澤：nagasawa@paz.ac.jp 神宮：jingu@paz.ac.jp 髙橋（あ）：ay-takahashi@paz.ac.jp 木村（朗）：a-kimura@paz.ac.jp	
国家試験出題基準	臨床検査総論 ３検査部門の組織と業務 A検査体制，B検査部門の組織と業務，C検査部門の業務	
履修条件・履修上の注意	授業中は携帯電話の電源を切ること。	
アクティブ・ラーニングの実施	1班5～6人として，医療全般に係わるテーマを各班で選び，そのテーマについてグループ・ディスカッションを行い，選んだ理由，内容の説明，そのテーマにより何を学んだか等をパワーポイントにまとめ発表会を行う.	

講義科目名称： 多職種理解と連携　　授業コード： 5M039

英文科目名称： Multidisciplinary Understanding and Cooperation　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	2学年	1単位	必修	
担当教員	担当者			
松下　誠	佐藤　満，矢島　正栄		星野　修平，大濱　和也	石井　良和，白坂　康俊，亀子　光明
	木村博一，岡山香里，荒木　泰行		林　由里子，廣田　幸子	中島　久美子

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	オリエンテーション，多職種連携の概要	松下　誠
	第2回	理学療法士の専門性と多職種連携	佐藤満
	第3回	看護師の専門性と多職種理解	矢島　正栄
	第4回	診療放射線技師の専門性と多職種理解	星野　修平
	第5回	臨床工学技士の専門性と多職種理解	大濱　和也
	第6回	作業療法士の専門性と多職種理解	石井　良和
	第7回	言語聴覚士の専門性と多職種理解	白坂　康俊
	第8回	NSTの専門性と多職種理解	亀子　光明
	第9回	ICDの専門性と多職種理解	木村博一
	第10回	細胞検査士の専門性と多職種理解	岡山　香里
	第11回	胚培養士の専門性と多職種理解	荒木　泰行
	第12回	治験の専門性と多職種理解	林　由里子
	第13回	保健師の専門性と多職種理解	廣田　幸子
	第14回	助産師の専門性と多職種理解	中島　久美子
	第15回	職種の専門性についての総説的な理解	松下　誠
科目の目的	医療は複数の職種がそれぞれの専門性を全うし、かつ相互に協力し合って行われて人間を守る行為であるというチーム医療論を理解する。【人間性・思考・判断力】		
到達目標	①各医療専門職の職務と職域が説明できる　②各医療専門職の具体的な仕事内容を知ることができる　③自らの専門職と他専門職との連携について考えることができる		
関連科目	大学の学び入門		
成績評価方法・基準	レポート100％		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習として、学科の職種におけるチームワーク医療、および各回の他の学科の職種について事前に下調べを30分程度で行うこと。復習として、理解し得た事項を箇条書きにしてノートにまとめておくこと（30分程度）。		
教科書・参考書	特に指定しないが、授業資料が提供される可能性がある。		
オフィス・アワー	全ての先生：講義終了後		
国家試験出題基準	Ⅰ(検査総合管理学・医療安全管理学)-2-B-d		
履修条件・履修上の注意	7つの学科の職種と保健師，助産師の職種についての専門性を講義する．その後，臨床検査技師の専門性としてNST，ICD,細胞検査士，胚培養士，治験について講義する．最終回の1コマでレポート課題が出されますので、全ての講義をよく聴いて受講してください。		
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし		

講義科目名称： 解剖学Ⅰ　　授業コード： 5M040

英文科目名称： Anatomy Ⅰ　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
浅見知市郎			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　序論1 解剖学とは何か　器官とその系統　上皮組織　支持組織	浅見知市郎
	第2回　序論2 筋組織　神経組織　人体の外形と方向用語	浅見知市郎
	第3回　骨格系1 骨格とは何か　骨の形　骨の構造　骨の発生と成長　骨の連結・関節	浅見知市郎
	第4回　骨格系2 頭部の骨　脳頭蓋　顔面頭蓋　鼻腔・副鼻腔	浅見知市郎
	第5回　骨格系3 脊柱　胸郭　上肢帯の骨　上腕の骨	浅見知市郎
	第6回　骨格系4 前腕の骨 手の骨　下肢隊の骨　骨盤　大腿の骨　下腿の骨　足の骨	浅見知市郎
	第7回　筋系1 筋の構造と機能　頭頸部の筋	浅見知市郎
	第8回　筋系2 胸腹部の筋　上肢帯の筋　上腕の筋　前腕の筋　手の筋	浅見知市郎
	第9回　筋系3 下支帯の筋　大腿の筋　下腿の筋　足の筋	浅見知市郎
	第10回　神経系1 神経系の構成　中枢神経系（脊髄　延髄　橋　小脳）	浅見知市郎
	第11回　神経系2 中枢神経系（中脳　間脳　大脳）	浅見知市郎
	第12回　神経系3 脳の血管　脳室　脳脊髄膜　脳脊髄液	浅見知市郎
	第13回　神経系4 末梢神経（脳神経）	浅見知市郎
	第14回　神経系5 末梢神経（脊髄神経）	浅見知市郎
	第15回　神経系６ 自律神経（交感神経　副交感神経）伝導路（反射路　求心性伝導路　遠心性伝導路）	浅見知市郎
科目の目的	臨床検査技師としての基本知識となる人体の肉眼解剖学的構造を習得する。 【知識・理解・実践能力】	
到達目標	人体の基本的な器官系の位置、構造を説明できる。	
関連科目	解剖学Ⅱ　生理学Ⅰ　生理学Ⅱ	
成績評価方法・基準	試験100％	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	Active Academyで配布する講義資料を理解しながら通読すると概ね1時間を要する。	
教科書・参考書	教科書：「入門人体解剖学」藤田恒夫（南江堂） 参考書：特に無し	
オフィス・アワー	講義終了後の休み時間に教室で質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡によって随時対応する(asami@paz.ac.jp)。	
国家試験出題基準	【臨床検査技師】 Ⅴ(人体の構造と機能、医学検査の基礎と疾病との関連)-1、3 Ⅴ(形態検査学)-5、6	
履修条件・履修上の注意	Active Academyによる講義資料の配付期間：講義の1週間前から学期末まで。 ・健康食品管理士受験資格取得のための要件科目 ・遺伝子分析科学認定士（初級）受験資格取得のための要件科目	
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし	

講義科目名称： 解剖学Ⅱ　　授業コード： 5M041

英文科目名称： Anatomy II　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
浅見知市郎			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　脈管系1 血管系総論　心臓　刺激伝導系　心臓の血管（冠状動脈）　生理学的検査に対応する。	浅見知市郎
	第2回　脈管系2 肺循環と体循環　動脈系　静脈系　採血に対応する。	浅見知市郎
	第3回　脈管系3 胎生時の循環系　リンパ系（リンパ節　リンパ本幹）　脾臓　胸腺	浅見知市郎
	第4回　脈管系4　消化器系1 血液　血球　造血組織　内臓学総論（粘膜　腺）　口腔（歯）	浅見知市郎
	第5回　消化器系2 口腔（口蓋　舌　唾液腺）　咽頭　食道　検体採取（経口、消化管内視鏡検査）に対応する。	浅見知市郎
	第6回　消化器系3 胃　小腸（十二指腸　空腸　回腸）　検体採取（経口、消化管内視鏡検査）に対応する。	浅見知市郎
	第7回　消化器系4 大腸（盲腸　結腸　直腸）肝臓　胆嚢　膵臓	浅見知市郎
	第8回　呼吸器系1 鼻腔　副鼻腔　喉頭　気管　気管支　検体採取（経鼻又は気管カニューレ内部からの喀痰吸引）に対応する。	浅見知市郎
	第9回　呼吸器系2　泌尿器系 肺　胸膜　腎臓　尿管　膀胱　尿道	浅見知市郎
	第10回　生殖器系1 男性生殖器（精巣　精巣上体精管　精嚢　前立腺　陰茎　精液　精子）	浅見知市郎
	第11回　生殖器系2 女性生殖器（卵巣　卵管　子宮　膣　外陰部　胎盤）　腹膜	浅見知市郎
	第12回　内分泌系 内分泌系（下垂体　松果体　甲状腺　上皮小体　副腎　膵島）	浅見知市郎
	第13回　感覚器系1 視覚器（眼球　眼球の付属器）	浅見知市郎
	第14回　感覚器系2 平行聴覚器（外耳　中耳　内耳）	浅見知市郎
	第15回　感覚器3　発生学 皮膚（表皮　真皮　皮下組織　角質器　皮膚の腺）人体の発生のあらまし	浅見知市郎
科目の目的	臨床検査技師としての基本知識となる脈管・内臓・発生の肉眼解剖学的構造を習得する。 採血、検体採取（経口、経鼻又は気管カニューレ内部からの喀痰吸引、消化管内視鏡検査によるものも含む）及び生理学的検査に対応する。【知識・理解・実践能力】	
到達目標	脈管・内臓の基本的な構造と発生学について説明できる。	
関連科目	解剖学Ⅰ　生理学Ⅰ　生理学Ⅱ	
成績評価方法・基準	試験100％	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	Active Academyで配布する講義資料を理解しながら通読すると概ね1時間を要する。	
教科書・参考書	教科書：「入門人体解剖学」藤田恒夫（南江堂） 参考書：特に無し	
オフィス・アワー	講義終了後の休み時間に教室で質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡によって随時対応する(asami@paz.ac.jp)。	
国家試験出題基準	【臨床検査技師】 Ⅴ(人体の構造と機能、医学検査の基礎と疾病との関連)-1、3 Ⅴ(形態検査学)-5、6	

履修条件・履修上の注意	Active Academyによる講義資料の配付期間：講義の1週間前から学期末まで。 ・健康食品管理士受験資格取得のための要件科目 ・遺伝子分析科学認定士（初級）受験資格取得のための要件科目
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし

講義科目名称： 生理学Ⅰ　　授業コード： 5M042

英文科目名称： Physiology Ⅰ　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
洞口　貴弘			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　ガイダンス　生理学の基礎の基礎 生理学講義を受講するにあたって　細胞・組織・器官	洞口　貴弘
	第2・3回　神経の基本的機能 神経細胞の形態、興奮伝導、興奮伝達	洞口　貴弘
	第4・5回　筋肉の基本的機能 筋細胞の形態と興奮、骨格筋の収縮	洞口　貴弘
	第6-8回　神経系の機能 末梢神経系(体性神経系、自律神経系)、中枢神経系、運動機能の調節	洞口　貴弘
	第9-12回　感覚の生理学 様々な感覚の受容と知覚のメカニズム	洞口　貴弘
	第13-15回　睡眠・記憶・情動 脳の高次機能	洞口　貴弘
科目の目的	人体の各部分の構造と機能を学び、医療職に必要な基礎知識を身につける(ディプロマポリシー【知識・理解・実践能力】に相当)	
到達目標	選択肢の中から、正しい人体の機能や、それを生み出すしくみを選ぶことができる	
関連科目	解剖学、生化学	
成績評価方法・基準	講義題目毎に課題を行う(解答・解説はAAにて行う) 課題の平均点×0.2＋期末テストの点数×0.8　で最終的な成績を決定する	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業内容および課題や期末テストの内容は、指定した教科書に準ずる そのため、指定した教科書を中心とした予習・復習が単位認定のカギとなる(約2時間)	
教科書・参考書	教科書：「シンプル生理学　第8版」貴邑冨久子、根木英雄（南江堂） 参考書：「標準生理学」（医学書院）　「人体の正常構造と機能」(日本医事新報社)　「トートラ人体の構造と機能」（丸善）　他	
オフィス・アワー	講義実施日の18：00～19：00	
国家試験出題基準	Ⅲ-1、2	
履修条件・履修上の注意	15コマ講義なので、5回の欠席で履修放棄となるので注意	
アクティブ・ラーニングの実施	実施しない	

講義科目名称： 生理学Ⅱ　　授業コード： 5M043

英文科目名称： Physiology II　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
洞口 貴弘			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1・2回　内分泌系の機能 ホルモンの一般的特徴、内分泌器官の機能	洞口 貴弘
	第3-5回　循環の生理学 心臓血管系の基本構造と機能、調節	洞口 貴弘
	第6・7回　呼吸の生理学 呼吸器系基本構造と機能、調節	洞口 貴弘
	第8・9回　尿の生成と排泄および体液とその調節 腎臓の構造と機能、調整、尿生成、蓄尿と排尿、体液の恒常性を維持する仕組	洞口 貴弘
	第10・11回　消化と吸収 消化管の基本構造と機能、調節	洞口 貴弘
	第12・13回　血液の生理学 血液の組成とその機能	洞口 貴弘
	第14・15回　体温とその調節 体温の意義とその調節メカニズム	洞口 貴弘
科目の目的	人体の各部分の構造と機能を学び、医療職に必要な基礎知識を身につける(ディプロマポリシー【知識・理解・実践能力】に相当)	
到達目標	選択肢の中から、正しい人体の機能や、それを生み出すしくみを選ぶことができる	
関連科目	解剖学Ⅰ・Ⅱ、生化学	
成績評価方法・基準	講義題目毎に課題を行う(解答・解説はAAにて行う) 課題の平均点×0.2＋期末テストの点数×0.8　で最終的な成績を決定する	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業内容および課題や期末テストの内容は、指定した教科書に準ずる そのため、指定した教科書を中心とした予習・復習が単位認定のカギとなる(約2時間)	
教科書・参考書	教科書：「シンプル生理学　第8版」貴邑冨久子、根木英雄（南江堂） 参考書：「標準生理学」（医学書院）　「人体の正常構造と機能」(日本医事新報社)　「トートラ人体の構造と機能」（丸善）　他	
オフィス・アワー	講義実施日の18：00～19：00	
国家試験出題基準	Ⅲ-1、2	
履修条件・履修上の注意	15コマ講義なので、5回の欠席で履修放棄となるので注意	
アクティブ・ラーニングの実施	実施しない	

講義科目名称： 生理学実習　　授業コード： 5M044

英文科目名称： Practice in Physiology　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	2学年	1単位	必修	
担当教員	担当者			
岩﨑 信一	実習補助者		実習補助者	

授業形態	実習		担当者
授業計画	第1-2回	ガイダンス 生理学実習履修にあたっての諸注意　レポートの書き方　生理学基礎知識の確認	岩﨑　信一
	第3-4回	浸透圧 卵半透膜を使用し、浸透圧を理解する	岩﨑　信一
	第5-6回	酸塩基平衡 酸性・塩基性物質を摂取し、酸塩基平衡のメカニズムについて理解する	岩﨑　信一
	第7-8回	呼吸ー運動による呼吸数の変化 運動による呼吸数の変化について理解する	岩﨑　信一
	第9-10回	循環（１）運動による心拍数の変化 心拍数の測定方法を学び、運動による心拍数の変化について理解する	岩﨑　信一
	第11-12回	循環（２）運動による血圧の変化 血圧の測定方法を学び、運動による血圧の変化について理解する	岩﨑　信一
	第13-14回	血管の機能ー毛細血管抵抗試験 血圧測定法を応用し、うっ血状態での毛細血管抵抗について理解する	岩﨑　信一
	第15-16回	内分泌機能ー血糖調節 内分泌機能による血糖値の調節について理解する	岩﨑　信一
	第17-18回	心電図 標準肢誘導により心電図を記録し心臓の活動電位について理解すると共に、電気生理学機器について習熟する	岩﨑　信一
	第19-20回	表面筋電図 荷重負荷時の筋電図を記録し筋収縮メカニズムについて理解すると共に、電気生理学機器について習熟する	岩﨑　信一
	第21-22回	神経機能（１）自律神経機能検査 体位の変化に伴う自律神経の作用機序について理解する	岩﨑　信一
	第23回	神経機能（２）対光反射 対光反射の機序について理解する	岩﨑　信一
科目の目的	生理学の講義で学習した人体の機能について実際に確認し、理解を深める。(ディプロマポリシー01「知識・理解」に相当)		
到達目標	種々の生理学機能測定器具を用い、人体の機能に関するデータの収集し、判読できるようになる。 他者に得られたデータをを分かりやすく報告することができるようになる。		
関連科目	生理学Ⅰ・Ⅱ、解剖学Ⅰ・Ⅱ		
成績評価方法・基準	試験60%、レポート40%(実習内でフィードバックする)で最終成績を算出する。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	既に履修済みである、生理学I、IIの復習。(約1時間)		
教科書・参考書	教科書：特に無し 参考書：「シンプル生理学」（南江堂）　「標準生理学」（医学書院）　「人体の正常構造と機能」(日本医事新報社)　他		
オフィス・アワー	講義時間前後（講義室にて）		
国家試験出題基準	Ⅲ-1、2		
履修条件・履修上の注意	毎週レポートが課せられ、その量は決して少なくない。 そのため、自らを律し、効率良くレポートを作成するよう心がけること。		
アクティブ・ラーニングの実施	毎回の実習で行った実験の方法・結果および考察についてグループ・ディスカッションを行う。そのグループ・ディスカッションに基づいてグループ毎にレポートを作成し提出する。		

講義科目名称： 生化学　　授業コード： 5M045

英文科目名称： Biochemistry　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
木村 鮎子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　生化学を学ぶための基礎 生化学で基礎となる生体構成成分，単位，臨床化学への応用	木村 鮎子
	第2回　糖質 糖質の基礎（構造，異性体），糖質の分類（二糖類，多糖類，複合糖質）	木村 鮎子
	第3回　脂質 脂質の基礎，脂質の分類（単純脂質，複合脂質，誘導脂質，その他の脂質）	木村 鮎子
	第4回　タンパク質とアミノ酸 アミノ酸（構造と種類，特徴），ペプチド結合，タンパク質（分類，構造，性状）	木村 鮎子
	第5回　酵素 酵素の分類と性質，酵素反応速度論，酵素活性の調節	木村 鮎子
	第6回　核酸 核酸の基礎（構造等），核酸の種類，遺伝子	木村 鮎子
	第7回　ビタミン ビタミンの分類（脂溶性ビタミン，水溶性ビタミン），ビタミン欠乏症	木村 鮎子
	第8回　ホルモン ホルモンの分類とその機能，各種ホルモンによる生体調節，ホルモンと疾患との関係	木村 鮎子
	第9回　ミネラル ミネラルの生理的意義，多量ミネラル（Na，K，Cl等），微量ミネラル（Fe，Zn等）	木村 鮎子
	第10回　糖質代謝（1） 糖代謝の概要，糖の消化と吸収，解糖系，TCA回路	木村 鮎子
	第11回　糖質代謝（2） 糖新生，グリコーゲン合成と分解，ペントースリン酸回路，糖代謝異常と疾患	木村 鮎子
	第12回　脂質代謝 脂肪酸の生合成と酸化，ケトン体，各脂肪酸の代謝，コレステロールの合成・輸送・蓄積，代謝異常	木村 鮎子
	第13回　タンパク質の分解とアミノ酸代謝 タンパク質の分解とアミノ酸プール，アミノ酸代謝（エネルギー源，尿素生成），代謝異常	木村 鮎子
	第14回　核酸代謝 核酸の生合成と分解	木村 鮎子
	第15回　生体エネルギー、中間代謝とまとめ 高エネルギーリン酸化合物，呼吸鎖と酸化的リン酸化，3大栄養素の代謝の相互関係とまとめ	木村 鮎子
科目の目的	生体物質の構造，機能とその代謝を学び，病態に対する生化学の基礎知識を習得する.【知識・理解・実践能力】	
到達目標	1.糖質とその代謝，脂質とその代謝，タンパク質とその分解，アミノ酸代謝，核酸とその代謝，生体エネルギーについて，生合成や代謝の過程が理解できること. 2.生体内でのビタミン，ホルモン，ミネラルの役割が理解できること.	
関連科目	化学A，化学B，生物学A，生物学B，生理学，薬理学	
成績評価方法・基準	筆記試験（70%），ミニテスト（30%）により評価する.	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義内容が理解できるよう，事前に教科書を30分程読んでおく.	
教科書・参考書	教科書：栄養科学イラストレイテッド生化学 改定第3版（羊土社）薗田 勝 編 参考書：自分で作る生化学ワークノート(MCメディカ出版) 中元　伊知郎　著 臨床検査学講座 生化学 第2版（医歯薬出版）阿部　喜代司・岡村　直道・吉岡　耕一・原　諭吉　著 栄養科学シリーズ NEXT 生化学（講談社）加藤　秀夫・中坊　幸弘　編	
オフィス・アワー	講義終了後に質問を受ける．個別の相談は，事前連絡(ay-kimura@paz.ac.jp)によって随時対応する.	

国家試験出題基準	Ⅳ-1、4-A,B、5-A,B、6-A,B、11～13
履修条件・履修上の注意	付加資格「健康食品管理士」及び「遺伝子分析科学認定士（初級）」の受験資格基準カリキュラム
アクティブ・ラーニングの実施	なし

講義科目名称： 組織学　　授業コード： 5M046

英文科目名称： Histology　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
浅見知市郎			

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	細胞 細胞膜　細胞小器官　核　細胞の活動	浅見知市郎
	第2回	上皮組織 上皮組織の一般的な特徴　上皮組織の分類　腺	浅見知市郎
	第3回	支持組織 結合組織　結合組織の構成要素　結合組織の種類　軟骨組織　骨組織	浅見知市郎
	第4回	筋組織 骨格筋組織　心筋組織　平滑筋組織	浅見知市郎
	第5回	神経組織1 神経細胞（ニューロン）　神経細胞体の構造　神経線維の構造　シナプス　中枢神経系　グリア細胞	浅見知市郎
	第6回	神経組織2 末梢神経系　有髄神経線維　神経節　支持細胞　終末装置　神経の変性と再生	浅見知市郎
	第7回	脈管系 血管　心臓　リンパ管系	浅見知市郎
	第8回	骨髄　リンパ性組織 骨髄　リンパ管系　胸腺　リンパ節　扁桃　脾臓	浅見知市郎
	第9回	消化器系1 消化管の一般的な構造　口腔　咽頭　食道　胃　小腸	浅見知市郎
	第10回	消化器系２ 大腸　肝臓と胆路　膵臓	浅見知市郎
	第11回	呼吸器系 鼻腔と副鼻腔　喉頭　気管と主気管支　肺	浅見知市郎
	第12回	泌尿器系 腎臓　尿管、膀胱、尿道	浅見知市郎
	第13回	内分泌系1 下垂体前葉　下垂体後葉　松果体	浅見知市郎
	第14回	内分泌系2 甲状腺　上皮小体　副腎　消化管の内分泌と胃腸膵内分泌系	浅見知市郎
	第15回	皮膚　感覚器系 表皮　真皮　皮下組織　皮膚腺　眼球とその壁	浅見知市郎

科目の目的	人体の主な器官・組織の顕微鏡所見を理解・学習する。 【知識・理解】
到達目標	人体の主な組織の顕微鏡所見を判別でき、それぞれの機能、特徴について説明できる。
関連科目	解剖学Ⅰ・Ⅱ　組織学実習　病理学
成績評価方法・基準	筆記試験100％
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	Active Academyで配布する講義資料を理解しながら通読すると概ね1時間を要する。
教科書・参考書	教科書：「入門組織学」牛木辰男（南江堂） 参考書：「diFiore 人体組織図譜」相磯貞和訳（南江堂）
オフィス・アワー	講義終了後の休み時間に教室で質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡によって随時対応する（asami@paz.ac.jp）。
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	Active Academyによる講義資料の配付期間：授業の1週間前から学期末まで。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし

講義科目名称： 組織学実習　　授業コード： 5M047

英文科目名称： Histology practice　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
岡山 香里			

授業形態	実習	担当者
授業計画	第1回　オリエンテーション 皮膚および上皮組織	岡山香里
	第2回　消化器1 食道、胃	岡山香里
	第3回　消化器2 小腸、大腸	岡山香里
	第4回　標本観察、スケッチ1 皮膚、食道、胃	岡山香里
	第5回　標本観察、スケッチ2 小腸、大腸	岡山香里
	第6回　消化器3 肝臓、膵臓	岡山香里
	第7回　泌尿器 腎臓、膀胱	岡山香里
	第8回　呼吸器 気管、肺	岡山香里
	第9回　標本観察、スケッチ3 肝臓、膵臓、腎臓	岡山香里
	第10回　標本観察、スケッチ4 膀胱、気管、肺	岡山香里
	第11回　筋組織 心筋、骨格筋	岡山香里
	第12回　神経組織 大脳、小脳	岡山香里
	第13回　内分泌系、リンパ組織 甲状腺、リンパ節、脾臓	岡山香里
	第14回　標本観察、スケッチ5 心筋、大脳、小脳	岡山香里
	第15回　標本観察、スケッチ6 甲状腺、リンパ節、脾臓	岡山香里
科目の目的	人体の主な器官・組織の顕微鏡所見を理解・学習する。 【知識・理解】	
到達目標	人体の主な組織の顕微鏡所見を判別でき、それぞれの機能、特徴について説明できる。	
関連科目	解剖学Ⅰ・Ⅱ、組織学、病理学	
成績評価方法・基準	定期試験 60%、レポート・課題 40%により成績を評価する。なお、レポートは返却する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回の授業内容について予習、復習を行うこと。準備学習に必要な学習時間は 1 時間程度とする。	
教科書・参考書	教科書：「入門組織学」牛木辰男（南江堂）、「diFiore 人体組織図譜」相磯貞和訳（南江堂） 講師が配布する資料	
オフィス・アワー	講義終了後に質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡(岡山：okayama@paz.ac.jp)によって随時対応す る。	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	なし	

講義科目名称： 基礎発生工学　　授業コード： 5M048

英文科目名称： Basic developmental engineering　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
荒木 泰行			

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	発生工学の基礎 発生工学の理解に必要な、配偶子や受精、初期発生に関する基本的事項 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木 泰行
	第2回	体外受精 哺乳類の卵子と精子を体外で受精させる技術 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木 泰行
	第3回	顕微授精 マニピュレーター等を用いて人為的に受精させる技術 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木 泰行
	第4回	核移植、クローン 卵子に細胞核を移植したり、その技術を用いたらい細胞クローンの話題 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木 泰行
	第5回	雌雄産み分け 性別を操るテクニックについて 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木 泰行
	第6回	凍結保存 配偶子(卵子、精子) や胚の凍結保存 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木 泰行
	第7回	トランスジェニック動物 遺伝子改変動物の話題 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木 泰行
	第8回	ノックアウト動物 遺伝子改変動物の話題 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木 泰行
	第9回	ES細胞 胚由来の多能性幹細胞 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木 泰行
	第10回	iPS細胞 体細胞由来の多能性幹細胞 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木 泰行
	第11回	エピジェネティクス 塩基配列の変化を伴わない後天的な遺伝現象 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木 泰行
	第12回	配偶子の体外成熟培養 卵子や精子を体外で成熟培養させる技術 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木 泰行
	第13回	発生工学に関するトピック 発生工学に関する近年の話題を紹介 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木 泰行
	第14回	発生工学の未来 発生工学がもたらす未来の予想 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木 泰行
	第15回	まとめ 第1～14回までの内容の理解度確認 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木 泰行
科目の目的	配偶子や接合子を人為的に操作する各種の技術について学ぶ。【知識・理解・実践能力】		

到達目標	発生工学に用いられている手法を理解するとともに、発生、生殖、分子生物学等の分野の関連性について説明できる。
関連科目	遺伝と病気、遺伝子検査学実習、生殖医療技術学
成績評価方法・基準	授業内試験（50%）および授業内課題（50%）により成績を評価します。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	高校生物の発生に関する項目を復習しておくこと。各回の授業内容について予習・復習を約1時間行い、理解しておくこと。また、ネット等で関連の話題を検索して調べておくこと。
教科書・参考書	参考書：「哺乳動物の発生工学」（朝倉書店）
オフィス・アワー	個別の相談は事前連絡にて随時対応する。（荒木泰行：y-araki@paz.ac.jp）
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	予定無し

講義科目名称： 病理学　　授業コード： 5M049

英文科目名称： General Pathology　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
岡山 香里			

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	病理学序論・組織細胞障害と修復機構1 病理学とは、変性	岡山香里
	第2回	組織細胞障害と修復機構2 アポトーシス、壊死	岡山香里
	第3回	組織細胞障害と修復機構3 再生、化生、瘢痕治癒	岡山香里
	第4回	物質代謝異常1 糖質代謝異常	岡山香里
	第5回	物質代謝異常2 脂質代謝異常	岡山香里
	第6回	物質代謝異常3 核酸代謝異常、生体内色素代謝異常、無機物代謝異常	岡山香里
	第7回	循環障害１ 循環血液量の異常	岡山香里
	第8回	循環障害2 閉塞性の循環障害	岡山香里
	第9回	循環障害3 傍側循環、全身性の循環障害	岡山香里
	第10回	炎症1 炎症とは、炎症の分類、炎症の経過	岡山香里
	第11回	炎症2 炎症の各型、自己免疫性疾患	岡山香里
	第12回	先天異常 遺伝子・染色体異常と発生発達異常	岡山香里
	第13回	腫瘍1 定義、分類、良性腫瘍と悪性腫瘍	岡山香里
	第14回	腫瘍2 腫瘍の発生、発育、分化度	岡山香里
	第15回	腫瘍3 腫瘍の発生要因、腫瘍の種類	岡山香里
科目の目的	病理学とは疾病の原因、発生メカニズムなど、疾病の本態を解明する学問である。病理学総論として代謝障害、循環障害、炎症、腫瘍について疾病で生じる変化、経過、疾病の予後を捉え、理解ができるようにする。【知識・理解・実践能力】		
到達目標	1.疾病の原因、経過、治療法、予後を説明できる。 2.疾病の検査事項を説明できる。 3.疾病の病理所見を説明できる。		
関連科目	解剖学		
成績評価方法・基準	定期試験100%により成績を評価する。試験形態は筆記試験とする。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回の授業内容について予習、復習を行うこと。準備学習時間に必要な時間は1時間程度とする。		
教科書・参考書	教科書：臨床検査講座　病理学/病理検査学　医歯薬出版、講師が配布する資料（授業ごとに配布する） 参考書：なるほどなっとく！病理学　病態形成の基本的な仕組み　小林正伸著　南山堂		
オフィス・アワー	講義終了後に質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡(okayama@paz.ac.jp)によって随時対応する。		
国家試験出題基準	Ⅴ(人体の構造と機能、医学検査の基礎と疾病との関連)-2、3		
履修条件・履修上の注意	臨床検査技師国家試験受験資格取得のための要件科目 遺伝子分析科学認定士（初級）受験資格のための要件科目		
アクティブ・ラーニングの実施	なし		

講義科目名称： 病態薬理学　　授業コード： 5M050

英文科目名称： Pathophysiopharmacology　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
栗田 昌裕			

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	薬理学とは 薬理学の基本知識．薬物治療に影響を与える因子．	栗田昌裕
	第2回	薬物動態 投与経路と薬の吸収．分布，代謝，排泄．	栗田昌裕
	第3回	麻酔薬と中枢興奮薬 全身麻酔薬．局所麻酔薬．中枢興奮薬．	栗田昌裕
	第4回	解熱鎮痛薬・抗炎症薬と麻薬 解熱鎮痛薬・抗炎症薬．麻薬性鎮痛薬・麻薬拮抗性鎮痛薬．	栗田昌裕
	第5回	向精神薬と抗痙攣薬 向精神薬．抗痙攣薬（抗てんかん薬）．	栗田昌裕
		筋弛緩薬と抗パーキンソン薬 筋弛緩薬の作用と応用．パーキンソン症候群の理解と抗パーキンソン薬の作用．	栗田昌裕
	第6回	自律神経薬 自律神経の基礎知識． コリン作動薬とコリン作動性効果遮断薬． アドレナリン作動薬とアドレナリン遮断薬．	栗田昌裕
	第7回	オータコイド オータコイドの種類とその作用．プロスタグランディンの臨床応用．	栗田昌裕
	第8回	強心薬 強心薬（ジギタリス）の投与法．ジギタリスの副作用とその対策．	栗田昌裕
		抗狭心症薬と抗不整脈薬 狭心症治療薬の作用と投与法．不整脈の分類と治療．抗不整脈薬の種類．	栗田昌裕
	第9回	利尿薬と降圧薬 利尿薬．利尿薬の臨床的応用．降圧薬．抗動脈硬化薬．	栗田昌裕
	第10回	消化器病薬と駆虫薬 消化性潰瘍治療薬．健胃・消化薬．消化管運動促進薬． 制吐薬．下痢と止痢薬．潰瘍性大腸炎・クローン病治療薬．駆虫薬．	栗田昌裕
	第11回	呼吸器病薬 呼吸器病薬．抗結核薬．	栗田昌裕
	第12回	内分泌薬 下垂体ホルモン・甲状腺ホルモン・糖尿病治療薬． 副腎皮質ホルモン・男性ホルモン・生殖系内分泌薬．	栗田昌裕
	第13回	血液病薬と抗癌薬 貧血の薬．止血薬．抗血栓療法薬． 抗癌薬の開発と化学療法．抗癌薬の副作用と組み合わせ．	栗田昌裕
	第14回	化学療法薬と免疫療法薬 化学療法薬．抗ウイルス剤．免疫について．免疫療法．	栗田昌裕
	第15回	消毒薬 滅菌・消毒法．消毒薬の濃度と殺菌速度．	栗田昌裕
科目の目的	ディプロマ・ポリシーとの関連では、「知識・理解」の項目の「保健医療専門職としての基本的知識」を得ることを目的とする科目である。具体的には、医療の中で投薬（服薬、注射、輸液、外用など）の役割は大きい。そこで、医療に携わる者は「薬物の種類とその作用に関する基本的な知識」を持ち、しかもそれに「的確な理解」が伴っている必要がある。薬理学概論ではそれらを見通しよく学習する。具体的にはその内容は以下の通りである。１）薬理学の役割、構成、新薬の開発、医薬品の歴史、など薬理学の基本的知識を学ぶ。２）薬物治療に影響を与える因子として、生体側、薬物側の因子を学び、副作用に関しても学ぶ。３）薬の生体内運命と薬効との関係を学ぶ。ここでは、投与経路と吸収、分布・代謝・排泄に関して学ぶ。４）薬物の種類と作用メカニズムの概略を系統的に学ぶ。		
到達目標	薬物動態に関する基本的知識を得ること、薬物の作用機序による分類を知ること、主要な薬剤の適用に関する基礎的知識を持つこと、禁忌に関して学ぶこと。以上に関して、臨床検査技師に必要とされるレベルに到達することを目標とする。		
関連科目	生理学Ⅰ・Ⅱ、生化学		
成績評価方法・基準	試験（100%）。		

準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	短期間の間に広範な内容を学ぶことになるので、毎回の講義で学んだことをよく復習することが望ましい。その際に、これまでに学んだ疾患に関する知識をよく思い出し、関連付けを明確にしておこう。それが次回の内容を受け入れやすくなり、準備学習を兼ねることになる。復習時間は約１時間。
教科書・参考書	教科書：使用しない。 参考書：「系統看護学講座 専門基礎分野　薬理学　疾病の成り立ちと回復の促進３」（医学書院）。
オフィス・アワー	火曜日の昼休み。
国家試験出題基準	Ⅶ(医学検査の基礎と疾病との関連)-7-A～G
履修条件・履修上の注意	Active Academyにより資料を事前配布します。配布期間は「授業前日から授業日まで」。持参方法は「各自印刷して授業に持参すること」。
アクティブ・ラーニングの実施	施行せず

講義科目名称： 臨床医学特殊講義　　授業コード： 5M051

英文科目名称： Special Lecture of Clinical Medicine　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
正田 純史			

授業形態	講義を中心とする。	担当者
授業計画	第1回　臨床検査技師としての各種病態の概論 各種病態における臨床検査技師の役割について考察する。	正田 純史
	第2回　生体の反応と臓器障害 生体・臓器に損傷が及ぼす反応を理解する。	正田 純史
	第3回　外科的診断法 代表的な外科疾患の診断法及び処置について学ぶ。	正田 純史
	第4回　滅菌法・消毒法 無菌法の意義と実践について理解する。	正田 純史
	第5回　救急疾患 ショックを含む救急疾患の概要を習得する。	正田 純史
	第6回　損傷（創傷・熱傷等） 生体にとって損傷の意義と対処法について学習する。	正田 純史
	第7回　感染症学 感染症の病態と対策を概略する。	正田 純史
	第8回　腫瘍学 腫瘍の概要を把握し、臨床現場を理解する。	正田 純史
	第9回　整形外科領域 整形外科領域における疾患を理解する。	正田 純史
	第10回　耳鼻咽喉科領域 耳鼻咽喉科領域における疾患を理解する。	正田 純史
	第11回　泌尿器科領域 泌尿器科領域における疾患を理解する。	正田 純史
	第12回　産婦人科領域 産婦人科領域における疾患を理解する。	正田 純史
	第13回　分子生物学 最新の動向について学習する。	正田 純史
	第14回　臓器移植 最新の動向について学習する。	正田 純史
	第15回　まとめ 講義内容の基礎的実践的知識を整理する。	正田 純史
科目の目的	臨床検査技師として必要な病態（特に外科領域）各領域に関する基礎的な知識を習得することを目的とする。 【知識・理解】	
到達目標	臨床検査技師として各種疾患についての病態を把握する。	
関連科目	解剖学Ⅰ・Ⅱ、生理学Ⅰ・Ⅱを含む各臨床科目	
成績評価方法・基準	定期試験（筆記）40%に受講時の発言等を加味して評価する60%.	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	前の回の講義時に指示をする。 予習は必要ない。復習は各講義約1時間程度を要する。	
教科書・参考書	教科書 ;使用しない（プリントを使用する） 参考書 ;標準外科学（医学書院）	
オフィス・アワー	講義終了後。質問の内容により、別に時間を設定する。	
国家試験出題基準	Ⅱ-2～5、8～11、13、17、18	
履修条件・履修上の注意	前回講義の復習に利用する場合があるため、前回の配布資料を持参すること。	
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし	

講義科目名称： 内科学　　授業コード： 5M052

英文科目名称： Internal Medicine　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
湯本 真人			

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	オリエンテーション・内科総論 オリエンテーション、代表的な身体所見と基本的な病態	湯本 真人
	第2回	内分泌・代謝・糖尿病 視床下部-下垂体、副甲状腺、副腎髄質ホルモンの異常、1型糖尿病・2型糖尿病、代表的な代謝性疾患について	湯本 真人
	第3回	呼吸器疾患１ 呼吸不全、呼吸機能障害、呼吸器感染症、COPD・気管支喘息、間質性肺炎・塵肺	湯本 真人
	第4回	呼吸器疾患２ 肺腫瘍、縦隔腫瘍、中皮腫、サルコイドーシス、気胸などの疾患	湯本 真人
	第5回	循環器疾患1 狭心症、急性冠症候群、心不全、不整脈、弁膜症	湯本 真人
	第6回	循環器疾患2 先天性心疾患、高血圧症、血管障害、動静脈疾患、肺高血圧症	湯本 真人
	第7回	腎疾患1 急性腎障害、慢性腎臓病	湯本 真人
	第8回	腎疾患2・泌尿器・婦人科疾患 尿路結石、前立腺肥大症、腎癌、膀胱癌、前立腺癌や生殖器の腫瘍	湯本 真人
	第9回	消化器疾患1 食道炎、胃十二指腸潰瘍、食道癌、胃癌、炎症性腸疾患、大腸癌、腸閉塞	湯本 真人
	第10回	消化器疾患2 急性肝炎、慢性肝炎、肝癌、膵炎、胆管炎、膵癌	湯本 真人
	第11回	神経疾患1 脳梗塞、脳出血、脳腫瘍、髄膜炎	湯本 真人
	第12回	神経疾患2 変性疾患、筋原性疾患	湯本 真人
	第13回	アレルギー・自己免疫疾患、感染症 膠原病、血管炎、自己免疫性疾患、感染症	湯本 真人
	第14回	血液疾患 貧血、血小板の異常、白血病	湯本 真人
	第15回	内科学の復習・演習問題 内科学で学習した内容のまとめと演習問題	湯本 真人
科目の目的	臨床医学の中で内科学はすべての疾患を知る上で重要な学問である。特に、疾患の病理生理、診断、治療を学ぶことは臨床の現場で患者の状況を理解し、的確な判断に基づいて検査、治療を施す上で重要である。【知識・理解】		
到達目標	疾病の病態生理、診断、治療を一連の流れの中で理解する力を養う。国家試験に役立つ疾患について理解を深め、実際の問題に対応できるようにする。		
関連科目	解剖学Ⅰ・Ⅱ、病理学、生理学Ⅰ・Ⅱ		
成績評価方法・基準	試験100％(国家試験形式)		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習・復習：1時間		
教科書・参考書	教科書：使用しない 参考書：「病気がみえる vol.2 循環器」MEDIC MEDIA、「病気がみえる vol.3 糖尿病・代謝・内分泌」MEDIC MEDIA、「病気がみえる vol.4 呼吸器」MEDIC MEDIA、「病気がみえる vol.6 免疫・膠原病・感染症」MEDIC MEDIA、「病気がみえる vol.7 脳・神経」MEDIC MEDIA、「病気がみえる vol.8 腎・泌尿器」MEDIC MEDIA、「病気がみえる vol.9 婦人科・乳腺外科」MEDIC MEDIA		
オフィス・アワー	講義の前後に講義室で対応		
国家試験出題基準	Ⅱ-2、3、4、7～13、19		
履修条件・履修上の注意			
アクティブ・ラーニングの実施	なし		

講義科目名称： 老年医学　　授業コード： 5M053

英文科目名称： Gerontology　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
田村 遵一			

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	老化と老年病の考え方、生理機構の加齢変化 老化とは、加齢による生理機能の低下と疾病、老年症候群と機能評価、医療現場における注意事項、感覚機能、自律機能、高次神経機能の加齢変化	田村 遵一
	第2回	運動機能と精神心理面の加齢変化、高齢者に特徴的な症候と疾患、老年症候群 高齢者の運動機能、運動機能の加齢変化、知能の障害発達、記憶の加齢変化、人格、老年期の創造性の特徴 老年症候群の概念、代表的な老年症候群	田村 遵一
	第3回	高齢者に特徴的な症候と疾患、 循環器疾患：うっ血性心不全、虚血性心疾患、脳血管障害、血圧異常、不整脈、弁膜症、心筋・心膜疾患、血管疾患、呼吸器感染症、誤嚥と誤嚥性肺炎、肺癌、閉塞性肺疾患、間質性肺炎 高齢者の消化器癌、上部消化管疾患、腸疾患、肝疾患、胆道・膵疾患	田村 遵一
	第4回	骨運動器疾患、精神神経疾患 骨粗鬆症、変形性関節症、後縦靱帯骨化症、関節リウマチ 精神神経機能の老化、老年痴呆、うつ病、パーキンソン病、多系統萎縮症と自律神経障害、末梢神経障害	田村 遵一
	第5回	内分泌・代謝疾患、血液・免疫疾患、腎・泌尿器疾患、皮膚・口腔疾患、感染症、高齢者との接し方 糖尿病、高脂血症、甲状腺疾患、痛風、貧血、白血病と骨髄低形成症候群、多発性骨髄腫、膠原病 腎不全、尿路感染症、前立腺疾患、皮膚疾患、口腔疾患 高齢者の感染症の原因と特徴、診断の進め方、治療の留意点、臓器別感染症の特徴、院内感染対策とMRSA、高齢者との接し方：医療従事者の心得、患者・家族とのかかわり	田村 遵一
	第6回	高齢者の機能評価、高齢者の退院支援、高齢者の定義および人口動態 高齢者の機能評価の意義、日常生活活動度の評価、知的機能の評価、QOLの評価 高齢者における退院支援の必要性、介護保険下の退院支援、高齢者の定義、世界と日本における人口動態	田村 遵一
	第7回	社会学・経済学から見た高齢社会、高齢者の医療・看護・介護・福祉・保険 高齢社会の問題とは、生産人口、生産能力、健康度分布、世代間問題、高齢者の医療、看護、介護・福祉、介護保険制度、老人保健	田村 遵一
	第8回	高齢者医療の総まとめ 高齢者の 高齢者医療における専門職として必要な姿勢、注意事項等について学んだ内容を、小論文作成を通してそれぞれの知識として整理する。	田村 遵一

科目の目的	臨床検査技師として高齢者とどのように接してゆくか，何ができ、何が困難かを考える一助とする。 高齢者に見られる代表的な疾患（疾病、病気）について、自覚症状、身体所見、臨床検査所見、診断、病態、成因、治療方法などの概要を学び、すでに履修した関連科目（後記）の知識をもとに、疾患、病気に関わる臨床的基礎を修得する。到達度は試験により判定する。【知識・理解】
到達目標	臨床検査技師として必要な老年医学の主要な概念と知識を一定レベルの水準を満たすように獲得すること。 正答率が６０％に到ること。
関連科目	生化学　解剖学I II　生理学I II　運動学I
成績評価方法・基準	授業時間内にテーマを与えて小論文形式で自分の考え方を解答する試験（80%）を主に、日頃の講義で提出を求めるコメントシート（20%）を加味して、総合判断する。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	毎回の講義内容をよく復習し理解を深めておく、0.5時間以上。
教科書・参考書	教科書：使用しない 参考書：適宜紹介する。
オフィス・アワー	講義の前後　場所：講義室

国家試験出題基準	≪専門基礎≫-Ⅱ-13-A～E-abcdefgh
履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	特に実施していないが、学生の意見や質問は口頭でも、またリアクションペーパーや電子メールを通しても随時受け付け、それに対しての教員の考え方や知識を次の授業で紹介し、できるだけ一方通行の知識の伝授とならないように心掛けている。

講義科目名称： 遺伝と病気　　授業コード： 5M054

英文科目名称： Heredity and Diseases　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	１単位	選択
担当教員	担当者		
荒木 泰行	長田 誠		

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　遺伝学と細胞構造 遺伝学，生物，細胞構造	荒木 泰行
	第2回　遺伝子とDNA，RNA ゲノム，DNA，RNA	荒木 泰行
	第3回　生殖医療と体外受精 生殖補助医療，体外受精，顕微授精	荒木 泰行
	第4回　生殖細胞の発生と減数分裂 配偶子発生，細胞分裂，減数分裂	荒木 泰行
	第5回　遺伝子の担体としての染色体① 染色体分離機構とその異常，染色体異常による疾患	荒木 泰行
	第6回　遺伝子の担体としての染色体② 染色体分離機構とその異常，染色体異常による疾患	荒木 泰行
	第7回　ヒトのメンデル遺伝 単一遺伝子疾患，常染色体優性遺伝，常染色体劣勢遺伝，X連鎖	荒木 泰行
	第8回　メンデル法則に従わない遺伝 多因子遺伝性疾患	荒木 泰行
	第9回　遺伝医学におけるライフサイエンスの知識と技術① PCR，FISH，CGH法などの原理	長田　誠
	第10回　遺伝医学におけるライフサイエンスの知識と技術② 遺伝工学に用いられる技術	長田　誠
	第11回　集団の遺伝学 アレル頻度，ハーディ・ワインベルグの法則，変異と多型	長田　誠
	第12回　遺伝性疾患の基礎 先天性疾患と多因子遺伝	長田　誠
	第13回　癌の遺伝学の基礎 がん原遺伝子，がん抑制遺伝子	長田　誠
	第14回　個別化医療 薬理遺伝学，出生前診断	長田　誠
	第15回　遺伝学と生命倫理、ゲノム科学の発展と未来 予防医学，倫理	長田　誠
科目の目的	遺伝学の基礎として，細胞の機能と構造，遺伝子・染色体の構造と働きを理解する．遺伝の法則，遺伝形式を概説し，染色体異常や遺伝病疾患とその遺伝子診断について学ぶ．【知識・理解・実践能力】	
到達目標	・遺伝子・染色体の構造と働きについて理解し説明できる． ・遺伝と遺伝病について理解し説明できる． ・細胞遺伝の基礎について理解し説明できる．	
関連科目	臨床検査学総論、病理細胞検査学、血液検査学、生殖医療技術学	
成績評価方法・基準	定期試験70％，小テスト30％により成績を評価する．	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	高校生物の遺伝子・染色体を復習しておくこと．各回の授業内容について予習・復習を約1時間行い，理解しておくこと．	
教科書・参考書	教科書：「遺伝医学への招待」　（南江堂） 参考書１：「基礎から疾患までわかる遺伝学」　（メディカル・サイエンス・インターナショナル） 参考書２：「トンプソン＆トンプソン遺伝医学」　（メディカル・サイエンス・インターナショナル） 参考書３：「一目でわかる臨床遺伝学　第2版」　（メディカル・サイエンス・インターナショナル）	
オフィス・アワー	個別の相談は事前連絡にて随時対応する．長田：osada@paz.ac.jp、荒木：y-araki@paz.ac.jp	
国家試験出題基準	Ⅰ(病因・生体防御検査学)-1、2-F Ⅱ-16 Ⅸ-1-E-ｊ	
履修条件・履修上の注意	遺伝子分析科学認定士（初級）受験資格のための要件科目	

アクティブ・ラーニングの実施	無し

講義科目名称： 感染と免疫　　授業コード： 5M055

英文科目名称： Infection and Immunity　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
藤田 清貴			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　イントロダクション、免疫学序論：自己と非自己の識別，免疫に関与する細胞，組織，器官	藤田清貴
	第2回　免疫システム概論：自然免疫，獲得免疫	藤田清貴
	第3回　能動免疫と受動免疫、免疫寛容	藤田清貴
	第4回　抗原：定義，分類，抗原性を発揮するための条件	藤田清貴
	第5回　抗体：免疫グロブリンの構造，分類，特徴（１）	藤田清貴
	第6回　抗体：免疫グロブリンの構造，分類，特徴（２）	藤田清貴
	第7回　抗体：免疫グロブリンの多様性と抗原マーカー，一次免疫応答，二次免疫応答	藤田清貴
	第8回　補体：定義，成分，活性化経路，臨床的意義	藤田清貴
	第9回　感染症総論	藤田清貴
	第10回　性感染症	藤田清貴
	第11回　HIV感染症／AIDS：感染経路，診断，臨床的経過	藤田清貴
	第12回　肝炎ウイルス：A型，B型、C型，D型，E型肝炎ウイルスの特徴，診断，臨床的経過	藤田清貴
	第13回　アレルギー：Ⅰ型，Ⅱ型，Ⅲ型，Ⅳ型アレルギーの発生機序，特徴	藤田清貴
	第14回　自己免疫疾患：定義，分類，自己抗体と臨床的意義	藤田清貴
	第15回　免疫不全症：B細胞不全症，T細胞不全症，複合型不全症の分類と特徴,二次免疫不全症の分類と特徴	藤田清貴
科目の目的	生体内防御反応機構などの免疫のシステムの基礎知識，および免疫異常による疾患の特徴などを学ぶ。さらに，感染症の基礎知識，特徴，感染経路，臨床的経過などについても学ぶ。【知識・理解・実践能力】	
到達目標	1. 自然免疫，獲得免疫について説明できる。 2. 免疫グロブリンの種類と特徴，および免疫応答について説明できる。 3. 補体の成分と活性化経路，および機能について説明できる。 4. 感染症，性感染症，HIV感染症の特徴，および感染経路について説明できる。 5. 肝炎ウイルスの種類と特徴について説明できる。 6. アレルギーの種類と特徴について説明できる。 7. 自己免疫疾患と自己抗体との関連性について説明できる。 8. 免疫不全症の種類，および特徴について説明できる。	
関連科目	内科学，遺伝と病気，免疫検査学，微生物検査学，血液検査学	
成績評価方法・基準	定期試験80%，小テスト20%により成績を評価する。採点の基準は100点満点のうち60点以上を合格とする。また，授業回数の3分の1以上の欠席がある場合には試験成績は無効とみなす。試験形態は筆記試験とする。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回の授業内容について１～２時間の予習・復習を行い理解しておくこと。	
教科書・参考書	教科書：窪田哲郎，他：　臨床検査学講座　「免疫検査学」　（医歯薬出版） 教科書：藤田清貴：臨床検査で遭遇する異常蛋白質―基礎から発見・解析法まで（医歯薬出版） その他，必要に応じて資料を配布する。	
オフィス・アワー	講義終了後に質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡によって随時対応する（fujita@paz.ac.jp）。	
国家試験出題基準	Ⅶ(医学検査の基礎と疾病との関連)-8-A～I Ⅷ-1、3-C,E～H	

履修条件・履修上の注意	遺伝子分析科学認定士（初級）（受験資格） 授業中は携帯電話の電源を切ること。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし。

講義科目名称： 健康食品学　　授業コード： 5M056

英文科目名称： Healthy Food Management　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
亀子 光明			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 生殖医療技術学　　授業コード： 5M057

英文科目名称： Assisted Reproductive Technology　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
荒木 泰行			

授業形態	講義演習（14回）、実習（9回）	担当者
授業計画	第1～3回　不妊症と体外受精 不妊症、一般不妊治療、体外受精 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木泰行
	第4～6回　顕微授精と凍結保存 顕微授精、胚凍結、卵子凍結、精子凍結保存 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木泰行
	第7～9回　遺伝病、着床前診断の話 遺伝病、染色体分配機構、着床前診断 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木泰行
	第10～12回　体外受精に関する実際の技術① 実習（木村 鮎子） 精子処理、精子染色 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木泰行
	第13～15回　体外受精に関する実際の技術② 実習（木村 鮎子） 卵の移動、胚凍結 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木泰行
	第16～18回　体外受精に関する実際の技術③ 実習（木村 鮎子） 体外受精、顕微授精 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木泰行
	第19～21回　エンブリオロジストと生殖補助医療関連の最先端研究 胚培養士、エンブリオロジスト、生殖補助医療関連の最先端研究と将来 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木泰行
	第22～23回　理解度の確認、まとめ 生殖医療技術に関する理解度の確認とまとめを実施 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木泰行
科目の目的	生殖医療現場で行われている不妊治療に対する理解度を深めるため、基礎知識を学び臨床応用の現況を知ることで生殖補助医療技術の概要を理解することを目的とします。【知識・理解】	
到達目標	下記の概要を理解し、説明ができることを目標とします。 （配偶子の発生、受精のメカニズム、生殖補助医療の現場で活用されている技術、生殖補助医療にかかわる疾患等）	
関連科目	解剖学、生理学、解剖学I,II、生理学I,II	
成績評価方法・基準	講義内試験（50%）、授業内課題および授業内試験（50%）により成績を評価します。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	教科書・講義資料をもとに授業該当箇所の予習と復習を行って下さい。 準備学習に必要な学習時間の目安は 1 コマあたり 1 時間とします。	
教科書・参考書	参考書①： 「生殖補助医療技術学」　荒木康久（医歯薬出版、￥2,400） 参考書②： 「体外受精ガイダンス」 荒木重雄，福田貴美子（医学書院）（本校の図書館にある。各自で購入する必要は無し。）	
オフィス・アワー	月～金の午前午後の時間帯で教員室に滞在している時間なら何時でも対応可能ですが、事前に連絡下さい（荒木泰行：y-araki@paz.ac.jp）。	
国家試験出題基準	Ⅱ-10 Ⅴ(人体の構造と機能、医学検査の基礎と疾病との関連)-1-A	
履修条件・履修上の注意	実習時には最大の注意を払って怪我の無いよう望んで下さい。また、所定の着衣類、器具類、レポート用紙などは持参して下さい。	
アクティブ・ラーニングの実施	各自で発表資料の作成および実際の発表等を実施する予定。	

実務経験のある教員による授業	
実務経験	荒木 泰行（胚培養士）
授業の概要	生殖医療はヒト両配偶子(精子、卵子)に始まり、受精、受精卵(胚)の発生、着床、妊娠、分娩、老化という全生涯過程に関わるものであるが、特に、生殖医療技術の根幹は、両配偶子の発生、受精および受精卵(胚)発生のメカニズムを基礎学問として学び、ヒト生殖医療に貢献するためには、その学問を臨床に応用すべき実践技術を学ばなければならない。具体的には、両配偶子(精子、卵子)の取り扱い、精液検査（量、運動率、形態評価）、卵子の形態評価と培養法、体外培養技術の実際、顕微授精技術の実際、受精卵（胚）移植の介助等である。

講義科目名称： 医学概論　　授業コード： 5M058

英文科目名称： Survey of Medical Science　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
古田島 伸雄	小松　和典		

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　医学概説（1） 基礎医学，社会医学，臨床医学	古田島 伸雄
	第2回　医学概説（2） 健康と病気，医学と医療	古田島 伸雄
	第3回　医学の歴史（1） 医学の起源，原始医術，古代の医学	古田島 伸雄
	第4回　医学の歴史（2） 中世の医学，近世の医学，日本の医学	古田島 伸雄
	第5回　病院の部門別役割 病院における各部門の役割	古田島 伸雄
	第6回　わが国の医療制度 医療体系，老人の医療と福祉	古田島 伸雄
	第7回　医療提供体制 医療施設の種類，医療従事者の身分	古田島 伸雄
	第8回　医療法 医療法の改正，我が国の医療制度の特徴	古田島 伸雄
	第9回　医療保険制度 医療保険の種類，診療報酬支払制度	古田島 伸雄
	第10回　社会保障費と医療財政 国民医療費と医療費の現状と問題	古田島 伸雄
	第11回　病院医療の質 医療の質の維持と向上，安全な医療	古田島 伸雄
	第12回　患者心理 患者の心理的特徴，病気の経過による心理状態	古田島 伸雄
	第13回　医の倫理,医療従事者の倫理,医療事故をめぐる諸問題 患者の権利の尊重，死をめぐる諸問題，医療従事者の倫理，医療過誤，医療事故をめぐる諸問題	古田島 伸雄
	第14回　まとめ 第1回～第13回のまとめ	古田島 伸雄
	第15回　臨床検査技師の業務と役割 病院における臨床検査技師の業務と役割	小松　和典
科目の目的	医療人として幅広い知識と教養をもって医療に貢献できるように，医学の概要および歴史を知り，わが国の保健・医療・福祉に関する制度をよく理解する。さらに，病気による患者の心理的特徴や医の倫理，医療従事者の倫理について考え，医療従事者の心構えを学ぶ。【倫理】	
到達目標	１．健康と病気について説明できる。 ２．医学の歴史について説明できる。 ３．病院の役割と我が国の医療制度について説明できる。 ４．医療施設についてその種類と違いを説明できる。 ５．医療法の特徴について説明できる。 ６．医の倫理および医療従事者の倫理について説明できる。	
関連科目	生命倫理，公衆衛生学，社会福祉・地域サービス論，関係法規	
成績評価方法・基準	定期試験（80%），レポート（20%）により成績を評価する。レポートは採点後、各学生に返還する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回の授業内容について予習・復習を約1時間程度行い、理解しておくこと。	
教科書・参考書	教科書：高木　康：最新臨床検査学講座　「保健医療福祉概論」　（医歯薬出版） 参考書：なし 必要に応じて講義内で資料を配布する。	
オフィス・アワー	古田島：講義終了後に質問を受け付ける。個別相談は事前の連絡によって随時対応する（kotajima@paz.ac.jp）。 小松：講義終了後に質問を受け付ける。	
国家試験出題基準	Ⅰ(検査総合管理学・医療安全管理学)-1、2-A～F Ⅱ-1 Ⅸ-1-A～E	

履修条件・履修上の注意	状況に応じて内容が変更される場合があります。
アクティブ・ラーニングの実施	テーマについて書かれた数種類の資料をパートごとに話し合いながら知識を深める。

講義科目名称： 公衆衛生学　　授業コード： 5M059

英文科目名称： Public Health　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
木村 博一（6コマ）	木村　朗（9コマ）		

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	公衆衛生学総論・新型コロナウイルス感染症の概要 公衆衛生学・新型コロナウイルス感染症の概要について講義する。	木村博一
	第2回	感染症疫学総論 感染症疫学について概説する。	木村博一
	第3回	感染症各論 結核、エイズならびに新興再興感染症について概説する。	木村博一
	第4回	疫学総論（集団の健康と疾病の概念） 疫学概要、記述疫学、分析疫学ならびにコホート研究について概説する。	木村　朗
	第5回	疫学各論（疫学の方法） 系統誤差・偶発誤差、因果関係論ならびに保健統計について概説する。	木村　朗
	第6回	生活習慣病総論（ライフスタイルと健康） NCDの概要、動脈硬化性疾患、予防ならびに健康教育について概説する。	木村　朗
	第7回	親子保健（発達・成長と健康） 親子保健（発達・成長と健康）の概要と課題について概説する。	木村　朗
	第8回	労働衛生・産業保健の概要 社会・環境と健康の概要と課題について概説する。	木村　朗
	第9回	健康危機管理（1） 食品衛生・食の安全について概説する。	木村博一
	第10回	健康危機管理（2） 感染症発生時や災害時の対応について概説する。	木村博一
	第11回	院内感染対策概説 院内感染の現状と対策について概説する。	木村博一
	第12回	成人保健概説 精神保健や自殺対策について概説する。	木村　朗
	第13回	生活環境・環境と健康・地球温暖化 生活環境・環境と健康・地球温暖化などの諸問題について概説する。	木村　朗
	第14回	保健医療行政概説 地域包括ケアシステムを含む保健医療行政について概説する。	木村　朗
	第15回	がんの統計と疫学 がん対策・がん登録について概説する。	木村　朗
科目の目的	健康及び公衆衛生の基本的概念を学習する。各種疾患対策、環境対策と統計、疫学、健康教育、試験検査が織りなす総合科学であり、活動であることを理解する。【知識・理解・実践能力】		
到達目標	1.生活者の健康の保持・増進を目的とする公衆衛生活動を理解する。 2.公衆衛生活動は、政治、経済､社会の動向と密接に関連していることを理解し、広い視野を養う。 3.公衆衛生活動の基礎的技法として、集団からアプローチする疫学、保健統計、地域組織活動等を理解する。		
関連科目	生命倫理、環境学、社会学、情報処理、感染と免疫、微生物検査学		
成績評価方法・基準	定期試験（期末試験）100％		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習に必要な学習時間の目安　1コマあたり2時間		
教科書・参考書	【教科書】 「社会・環境と健康　公衆衛生学　2022年版」柳川 洋、尾島 俊之 編集（医歯薬出版） 【教科書】 「身体活動学入門」木村　朗(三共出版)		
オフィス・アワー	講義の前後に質問を受け付ける（木村博一・木村朗） e-mail（木村博一）：h-kimura@paz.ac.jp；a-kimura@paz.ac.jp e-mail（木村朗）：a-kimura@paz.ac.jp		
国家試験出題基準	Ⅸ-2～7		
履修条件・履修上の注意			
アクティブ・ラーニングの実施	課題を提示するので、それまでに学習した内容を駆使して各自回答を仕上げるセッションを設ける。		

講義科目名称： カウンセリング　　授業コード： 5M060

英文科目名称： Counseling　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
伊藤　栞			

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	ガイダンスと患者・家族の手記の選定 講義全体の説明を行うとともに、患者・家族の手記の選定を行う	伊藤　栞
	第2回	患者という体験の理解、患者を襲う不安と恐怖 「患者」とはどういう存在なのかを理解する。また、患者を襲う不安と恐怖を理解する	伊藤　栞
	第3回	病期別にみた患者の心理の特徴 病期別（１：診断未確定期、２：告知直後期、３：進行期または再燃期、４：安定期、５：終末期）にみた患者の心理の特徴	伊藤　栞
	第4回	患者の「自己決定」を尊重する 患者の自己決定の重要性と、その患者の自己決定を支援する医療従事者の想いと実際について理解する。またその理解を基に、自分の専門性と関連させて、自分なりのかかわりについて考える。	伊藤　栞
	第5回	各種療法を受ける患者、長期入院患者、在宅療養患者の心理 ライフサイクルの視点から患者の心理を理解するとともに、各種療法を受ける患者、長期入院患者、在宅療養患者の心理を理解する。	伊藤　栞
	第6回	心理臨床での実際 身体疾患を有している患者の、その療養生活には、虐待が隠れている可能性がある。医療現場で出会った患者の隠された虐待について早期発見早期対応できるような知識を身につけ、対応できるような深い理解を目指す。	伊藤　栞
	第7回	第2回から第6回までの患者の心理を通して、総合的に人間という存在を理解する 第2回から第6回までのポイントを確認し、カウンセリングマインドを総合的に理解し、実施できるような知識を確認する	伊藤　栞
	第8回	患者・家族の手記を読む① 各自が選んだ患者・家族の手記を読み、学んだことを発表する	伊藤　栞
	第9回	患者・家族の手記を読む② 各自が選んだ患者・家族の手記を読み、学んだことを発表する	伊藤　栞
	第10回	患者・家族の手記を読む③ 各自が選んだ患者・家族の手記を読み、学んだことを発表する	伊藤　栞
	第11回	患者・家族の手記を読む④ 各自が選んだ患者・家族の手記を読み、学んだことを発表する	伊藤　栞
	第12回	第8回から第11回までのまとめ（既習事項の確認） 患者・家族の手記の発表を聞いて、学んだことをグループディスカンションする	伊藤　栞
	第13回	治験とカウンセリング 治験における心理的援助の実際を知る	伊藤　栞
	第14回	遺伝・生殖医療とカウンセリング 遺伝・生殖医療における心理的援助の実際を知る	伊藤　栞
	第15回	医療従事者としてカウンセリングマインドを用いて患者やその家族へのかかわり方を考える 第2回から第14回までの講義内容を振り返り、患者とその家族への医療従事者としての関わり方を考える	伊藤　栞
科目の目的	患者とその家族に関わるにあたっての心理社会的問題について理解するとともに、その心理社会的問題を解決するために医療スタッフが行うべきことについて理解を深める。ディプロマポリシーの【技能・表現】に関連する。		
到達目標	患者とその家族との良好な関係の構築、患者とその家族の抱える問題の評価、患者とその家族の抱える問題のマネジメントに関する知識・技術を習得する。		
関連科目	臨床心理学、心理学、教育心理学、生命倫理、人間と宗教、生活文化と医療、遺伝と病気		
成績評価方法・基準	授業での発表内容（50%）、期末レポート（50%）を総合的に評価する予定である。期末レポートの詳細は授業内で説明し、希望者には課題レポートの評価を伝達する。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	第８回～第１１回（予定）でプレゼンテーションを行うため、事前に発表用資料を準備しておくこと（配付資料およびパワーポイント）（１５時間）		

教科書・参考書	【教科書】 鎌田依里・峯村優一（2023）「難病療養者のこころ　心理臨床と生命倫理の視点から」創元社 【参考書】 河合隼雄（2009）「河合隼雄のカウンセリング教室」創元社
オフィス・アワー	講義の前後
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	１）授業計画は受講学生数と受講学生の希望で一部変更することがあります。変更の場合は事前に周知します。 ２）原則として初回授業に出席していない学生の履修は認めません。履修希望者は必ず初回授業に出席してください。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし

講義科目名称： 臨床心理学　　授業コード： 5M061

英文科目名称： Clinical Psychology　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
竹居田 幸仁			

授業形態	講義（13コマ），演習（2コマ）。講義中，随時10分程度の小演習（個別・グループ）も取り入れる。		担当者
授業計画	第1回	臨床心理学とは何か 臨床心理学とは，心の不健康な人々を健康へと導くために，心理学の理論や知識そして心理学的技法を用いて専門的援助を行う心理学の応用的な一分野である。本講義では，臨床心理学の歴史や構造について学ぶ。	竹居田 幸仁
	第2回	無意識の心理学（１）精神分析 精神分析とは，オーストリアの神経学者フロイトによって創始された人間の心を研究する方法であり，理論であり，精神疾患や不適応の治療法である。本講義では，心理療法としての精神分析を中心に，その基本概念について学習する。 key words：意識，前意識，無意識，エス（イド），自我，超自我，エディプス・コンプレックス	竹居田 幸仁
	第3回	無意識の心理学（２）分析心理学 分析心理学はスイスの精神医学者カール・グスタフ・ユングによって創始された心理学・心理療法であり，一般にユング心理学として知られている。ユングは当初フロイトから強い影響を受けたが，その理論の違いからフロイトと決別することになる。本講義では，フロイトの理論との比較を通してユングの理論について理解を深める。 key words：個人的無意識，普遍的無意識，元型，症状の持つ意味，夢分析	竹居田 幸仁
	第4回	クライエント中心療法 カール・ロジャースは20世紀アメリカを代表する心理学者の1人である。ロジャースは人間の本質を善ととらえる人間観に基づき，人間の成長力，主体性を重視し，心理療法を「クライエント中心」に進めていくという大きな変革をもたらした。本講義ではロジャースの生涯をたどり，その理論の変遷について理解する。 key words：クライエント中心療法，パーソン・センタード，静かなる革命，受容，共感，自己一致，建設的なパーソナリティ変化が生じるための必要かつ十分な条件	竹居田 幸仁
	第5回	臨床心理アセスメント（１） 臨床心理アセスメントは，対象となる事例の心理的側面に関する情報（データ）を収集し，その情報を統合し，事例の心理的問題についての総合的な査定を行う作業である。臨床心理アセスメントが精神医学的診断と同一のものとして混同されることがあるが，本質的には臨床心理アセスメントは精神医学的診断とは異なる特徴を持っている。本講義では，臨床心理アセスメントの技法について学び，精神医学的診断との違いについて理解を深める。 key words：面接法，観察法，検査法	竹居田 幸仁
	第6回	神経発達症／神経発達障害（１） 平成19年に全国で特別支援教育が開始され，ここ数年で神経発達症に対する理解が急速に広まりつつある。本講義では3つの代表的な神経発達症の中からAD/HD・SLDの2つと，知的発達症の特徴と支援について学び，理解を深める。 key words：神経発達症，AD/HD，SLD，知的能力障害（知的発達症／知的発達障害），特別支援教育	竹居田 幸仁
	第7回	神経発達症／神経発達障害（２） 前回に続き，神経発達症について学習する。本講義では3つの代表的な神経発達症の最後の1つである自閉スペクトラム症の歴史と特徴について学び，支援について理解を深める。 key words：自閉スペクトラム症，特別支援教育	竹居田 幸仁
	第8回	こころの問題を理解する（１）「不安症／不安障害（神経症）」 不安症／不安障害（神経症）は主に心理的原因によって生じる心身の機能障害の総称であり，精神病とは異なる。本講義では不安症の種類や支援の方法について学び，理解を深める。 key words：分離不安症，選択制緘黙，限局性恐怖症，社交不安症，パニック症，広場恐怖症，全般不安症	竹居田 幸仁

	第9回	こころの問題を理解する（２）「身体症状症と解離性同一症／解離性同一性障害」 神経症（ノイローゼ）の一類型として扱われていた「ヒステリー」は，DSM-Ⅲ以降，ヒステリー概念が排除されたために，「転換ヒステリー」が「身体表現性障害」に，「解離性ヒステリー」は「解離性障害」として改められた。更に，DSM-5では「身体表現性障害」は「身体症状症」に，「解離性障害」は「解離症」に改められた。本講義では両者の下位分類や支援の方法について学び，理解を深める。 key words：身体症状症，転換性障害，病気不安症，解離性健忘，解離性同一症，離人感・現実感消失症	竹居田 幸仁
	第10回	こころの問題を理解する（３）「パーソナリティ障害」 パーソナリティ障害とは，思考・感情・行動などのパターンが平均から著しく逸脱し，社会生活や職業生活に支障をきたしている状態を指し，正常な状態とは言えないが病気であるとも言えない状態である。本講義ではパーソナリティ障害の分類と支援の方法について学び，理解を深める。 key words：猜疑性／妄想性パーソナリティ障害，シゾイド／スキゾイドパーソナリティ障害，統合失調型パーソナリティ障害，境界性パーソナリティ障害，演技性パーソナリティ障害，自己愛性パーソナリティ障害，反社会性パーソナリティ障害，回避性パーソナリティ障害，依存性パーソナリティ障害，強迫性パーソナリティ障害	竹居田 幸仁
	第11回	こころの問題を理解する（４）「気分障害」 DSM-Ⅴでは，気分障害とは感情が正常に機能しなくなった状態を指す。人は誰でも気分の浮き沈みを経験するが，気分障害においては，その浮き沈みの程度や期間が著しく，睡眠障害などの身体症状も現れる。本講義では気分障害の種類とその支援方法について学び，理解を深める。 key words：双極Ⅰ型障害，双極Ⅱ型障害，うつ病／大うつ病性障害	竹居田 幸仁
	第12回	こころの問題を理解する（５）「統合失調症」 統合失調症は，幻覚や妄想という症状が特徴的な精神疾患である。それに伴って，人々と交流しながら家庭や社会で生活を営む機能が障害を受け（生活の障害），「感覚・思考・行動が病気のために歪んでいる」ことを自分で振り返って考えることが難しくなりやすい（病識の障害）という特徴を併せもっている。本講義では統合失調症の類型と支援の方法について学び，理解を深める。 key words：緊張型，解体（破瓜）型，妄想型	竹居田 幸仁
	第13回	臨床心理アセスメント（２）質問紙法 質問紙法は，印刷された質問文，またはウェブサイト上の質問文に対して，いくつかの選択肢からあてはまるものを回答する臨床心理アセスメントのための道具である。本講義では，POMS2日本語版を体験し，自分のおかれた条件の下で変化する一時的な気分・感情を測定する。 key words：質問紙法，POMS2	竹居田 幸仁
	第14回	臨床心理アセスメント（３）描画法 様々な対象を指定して画用紙に絵を描かせる心理検査を「描画法」と総称している。画用紙という環境にいかに自己表現するかによって，被検査者のパーソナリティの構造や動き具合を測定しようとする検査である。本講義では風景構成法を体験し，その理論や臨床への適応について学ぶ。 key words：描画法，風景構成法	竹居田 幸仁
	第15回	総括 これまでの講義を通して学んだ知識や身に着けた技法について振り返り，自らの専門にどのように活かしていくかを検討する。	竹居田 幸仁
科目の目的	臨床心理学とは，心の不健康な人々を健康へと導くために，心理学の理論や知識そして心理学的技法を用いて専門的援助を行う心理学の応用的な一分野である。本講義では，臨床心理学の基礎について理解し，保健医療領域におけるサービスに必要な知識と基礎的な技術を習得する。 ディプロマポリシー：【多様性理解・尊重】【コミュニケーション・協調】		
到達目標	１．臨床心理学が扱う心の問題と心の正常な機能および問題を軽減して正常化を図る方法としての心理療法の正しい知識を身につけることを通して，人間への深い理解を形成することができる。 ２．人間への深みのある理解を通して，自己理解，他者理解，人間社会の理解を自分の言葉で表現できるようになる。 ３．保健医療領域におけるサービスに必要な知識と基礎的な技術を習得し，対人支援に活用することができる。 ４．治療場面における患者の心理と患者とのコミュニケーションの方法について理解を深め，患者と良好な関係を築けるようになる。		
関連科目	【教養・共通基盤科目群】心理学，教育学，教育心理学，生命倫理，哲学，人間と宗教，社会学，生活文化と医療，大学の学び入門，大学の学び－専門への誘い－，多職種理解と連携 【専門基礎科目群】生理学Ⅰ・Ⅱ，公衆衛生学，医学概論，看護学概論		
成績評価方法・基準	定期試験（レポート形式・55%）に，毎回の受講後に作成する小レポートの評価（45%）を加味して評価する。小レポートの内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習の内容については前回の講義時に指示をする。各単元について，１時間程度の復習を行うことを目安とする。		
教科書・参考書	【教科書】 鎌田依里・峯村優一（2023）「難病療養者のこころ　心理臨床と生命倫理の視点から」創元社		

	【その他、参考書】 必要な資料はPPTにて配布します。
オフィス・アワー	授業の前後
国家試験出題基準	なし
履修条件・履修上の注意	講義中の私語，スマートフォン・携帯電話の使用，講義と関係のない作業（他の科目の学習等）は禁止します。注意しても止めない場合や，それらの行為が頻回に見られる場合は退室を命じ，その回の講義の出席を認めない場合もあります。
アクティブ・ラーニングの実施	アクティブラーニングをおこなっている

講義科目名称： 国際医療協力論　　授業コード： 5M062

英文科目名称： International Medical and Health Collaboration　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
辻村 弘美	雨宮 こずえ		

授業形態	講義（11回）、グループワーク（4回）		担当者
授業計画	第1回	授業ガイダンス及び国際医療協力総論1 １．国際協力の歴史とその変遷 被援助国時代から援助供与国になるまで ２．日本の国際協力の流れ 二国間援助（無償資金協力,技術協力,有償資金協力）と多国間援助 ３． 国際協力に関わる機関、GO、NGOなどの援助機関（JICA、厚生労働省、外務省、WHO、UNICEF、NGOなど）の役割について	辻村 弘美
	第2回	国際保健医療協力の実際1 １．JICA海外協力隊の活動	辻村 弘美
	第3回	国際医療協力総論2 １．なぜ国際協力が必要なのか ・世界のさまざまな格差 ・わが国が受けた支援 ・開発協力大綱（ODA大綱）の基本理念と原則 ２．プライマリ・ヘルスケア(PHC)について ・PHCの基本原則と意義 ・PHCの展開と現状	辻村 弘美
	第4回	国際保健医療協力の実際2 １．NGOにおける国際保健医療活動 ２．国際緊急援助活動	辻村 弘美
	第5回	国際医療協力総論3 １．ミレニアム開発目標（MDGs）と持続可能な開発目標（SDGs） ・保健医療分野における意義と重要性 ・MDGsの評価と課題 ・SDGsについて	辻村 弘美
	第6回	国際保健医療協力の現状及び課題1（国際協力について考える） １．感染症対策や難民支援等の活動	辻村 弘美
	第7回	グローバル社会と医療1（講義） １．在日外国人の増加による問題、外国人看護師や介護士の受け入れ問題、医療ツーリズムなど	辻村 弘美
	第8回	グローバル社会と医療1（GW） １．在日外国人の増加による問題、外国人看護師や介護士の受け入れ問題、医療ツーリズム、その他のテーマを共有し、今後の課題などについてディスカッションと発表会を行う。	辻村 弘美
	第9回	国際保健医療協力の現状及び課題2 １．先進国と開発途上国について ２．貧困とは ３．保健指標について	辻村 弘美
	第10回	グローバル社会と医療2（GW） １．在日外国人の増加による問題、外国人看護師や介護士の受け入れ問題、医療ツーリズム、その他のテーマを共有し、今後の課題などについてディスカッションと発表会を行う。	辻村 弘美
	第11回	国際保健医療協力の実際3	雨宮 こずえ
	第12回	国際保健医療協力の現状及び課題3 １.感染症（マラリア、HIV/AIDS、結核、下痢症等）	辻村 弘美
	第13回	グローバル社会と医療3（GW） １．在日外国人の増加による問題、外国人看護師や介護士の受け入れ問題、医療ツーリズム、その他のテーマを共有し、今後の課題などについてディスカッションと発表会を行う。	辻村 弘美

	第14回　グローバル社会と医療4（発表会） １．在日外国人の増加による問題、外国人看護師や介護士の受け入れ問題、医療ツーリズム、その他のテーマを共有し、今後の課題などについてディスカッションと発表会を行う。 第15回　国際医療協力に必要な資質、国際医療協力への道、まとめ １．国際医療協力に必要な資質とは ２．国際保健医療関係の仕事や教育機関 ・GO,NGOなどの紹介 ・国際保健医療関係の大学院	辻村 弘美 辻村 弘美
科目の目的	国際協力の目的や意義を理解し、保健医療の視点から国際協力などのあり方を考えることを目的とする。 カリキュラムマップの【人間性・思考・判断力】に該当する。	
到達目標	1. 国際協力の歴史的な経緯と最近の動向が理解できる 2. 国際保健医療協力の必要性とその対策が理解できる 3. 国際保健医療の現状及び課題が理解できる 4. 保健医療協力の現場で自分ができる国際協力活動とは何かを考えることができる	
関連科目	関連する教養科目―地域ボランティア活動論 関連する専門基礎科目―多職種理解と連携、公衆衛生学、医療統計学	
成績評価方法・基準	レポート（50%）、グループワークとその発表（50%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業内容に関する事前・事後学習やグループワークの課題について、授業外の学習が必要。 事前学習や課題については、授業の中で説明や振り返りを行う。 授業外の学習時間として１コマあたり1時間程度を要する。	
教科書・参考書	教科書：なし 参考書：「国際保健医療学」日本国際保健医療学会（杏林書院） 「Where There Is No Doctor」David Werner　with Carol Thuman and Jane Maxwell 「世界子供白書」（ユニセフ）等	
オフィス・アワー	講義の前後（場所：非常勤講師室）	
国家試験出題基準	Ⅸ-8	
履修条件・履修上の注意	日常生活の中でも国際保健や国際医療、国際協力に関する報道について興味をもって欲しい。 積極的にグループワークに参加できる学生を望む。	
アクティブ・ラーニングの実施	グループディスカッションやグループワーク、調べ学習	

講義科目名称： 社会福祉･地域サービス論　　授業コード： 5M063

英文科目名称： Social Welfare and Community Services　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	2学年	1単位	必修	
担当教員	担当者			
金谷 春代	魚屋 真佐江		坂井 勉	

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 初回授業のため、自己紹介、授業目的、今後の授業の進め方、テキスト説明などのオリエンテーション	金谷 春代
	第2回 社会福祉とは テキストP2からP11まで	金谷 春代
	第3回 日本の社会福祉の歴史 テキストP12からP25まで	金谷 春代
	第4回 社会保障制度と社会福祉を展開する組織 テキストP26からP39まで	金谷 春代
	第5回 子ども福祉 テキストP41からP55まで	坂井 勉
	第6回 障害者福祉 テキストP57からP71まで	魚屋 真佐江
	第7回 高齢者福祉 テキストP73からP84まで	魚屋 真佐江
	第8回 介護保険制度と専門職の役割：チームアプローチの必要性 テキストP86からP102まで	魚屋 真佐江
	第9回 低所得者福祉 テキストP103からP116まで	坂井 勉
	第10回 地域福祉とその推進方法 テキストP117からP129まで	坂井 勉
	第11回 医療福祉・精神保健福祉 テキストP133からP158まで	魚屋 真佐江
	第12回 社会福祉の役割・社会福祉を担う人々 テキストP160からP180まで	坂井 勉
	第13回 相談援助の目的と方法 テキストP181からP188まで	坂井 勉
	第14回 医療ソーシャルワーカーと多職種連携 テキストP194からP201まで	魚屋 真佐江
	第15回 社会福祉を巡る課題とコメディカルに期待される役割・まとめ テキストP202からP207まで	金谷 春代
科目の目的	社会福祉的考え方の重要性、人を相手とする職業で必要な人権や権利擁護意識、在宅生活を支える地域包括ケアシステム制度や社会保障制度の理解、地域連携・多職種連携など「連携」の意義について学ぶ。【関心・意欲】	
到達目標	1.社会福祉全般について理解すること。 2.人を支援するプロフェッショナルになる自覚を促す。	
関連科目	なし	
成績評価方法・基準	全講義終了後の筆記試験のみ（100%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	事前に次回講義部分を熟読しておくこと。 1コマ約1時間	
教科書・参考書	教科書：「コメディカルのための社会福祉概論第４版（講談社出版）」ISBN978-4-06-514046-8 参考書：随時配付	
オフィス・アワー	講義終了後	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし	

講義科目名称： 医用電子工学　　授業コード： 5M064

英文科目名称： Medical Electronics　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
木村 博一			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 医用電子工学実習　　授業コード： 5M065

英文科目名称： Practice in Medical Electronics　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
石垣 宏尚			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 医療システムとマネージメント　　授業コード： 5M066

英文科目名称： Medical Systems and Management　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
三浦 佑介	古田島 伸雄		

授業形態	講義(10) ・演習 (5)	担当者
授業計画	第1回　臨床検査の役割と検査体制 臨床検査の歴史、役割、検査体制の変遷	三浦 佑介
	第2回　臨床検査の意義と検査管理の概念 医療機関と検査部門の役割、検査管理の定義	古田島 伸雄
	第3回　検査部門の組織と業務 病院組織と検査組織、診療支援	古田島 伸雄
	第4回　検査部門の管理と運営 理念・倫理網領、品質保証、検査成績の管理、検査マニュアル	古田島 伸雄
	第5回　人事管理 、検査機器管理、物品管理、収支と支出 人員配置、機器メンテナンスと標準作業書	古田島 伸雄
	第6回　検査の安全管理と倫理 個人情報保護、匿名性、検体・ドキュメント管理	古田島 伸雄
	第7回　医療情報システム（１） 医療情報の特性、医療情報倫理、医療情報システムの機能	古田島 伸雄
	第8回　医療情報システム（２） 医療情報システムで利用されるハードウェアとネットワーク、安全管理	古田島 伸雄
	第9回　基準範囲（演習） 基準範囲の設定方法	三浦 佑介
	第10回　精度管理（１）（演習） 精度管理に必要な統計学、検量線の作成	三浦 佑介
	第11回　精度管理（２）（演習） 正確さと精密さ、誤差	三浦 佑介
	第12回　精度管理（３）（演習） 内部精度管理、外部精度管理	三浦 佑介
	第13回　精度管理（４）（演習） 共用基準範囲とパニック値、検査結果の評価	三浦 佑介
	第14回　検査情報活用 電子カルテ、データマネジメント	三浦 佑介
	第15回　生涯教育と資格・まとめ 卒後教育、学会発表、修士・博士号取得、第1回～第14回のまとめ	三浦 佑介
科目の目的	質の高い医療を提供するために必要な医療システムと安全対策の基本的知識を理解する。【表現・技能・判断能力】	
到達目標	１．医療事故や医療におけるリスクマネジメントを事象を交えて学び、それらの対策や安全管理の手段について理解する。 ２．信頼性の高い検査情報を得るための管理方法について理解する。 ３．検査部門の組織と業務、管理と運営、情報活用について説明することができる。	
関連科目	臨床検査学総論、臨床化学検査学、医療安全管理学演習、情報科学概論	
成績評価方法・基準	定期試験（100%）により成績を評価する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	前回の講義時に指示を行う。準備学習時間の目安は30分程度とする。	
教科書・参考書	教科書：「最新臨床検査学講座　検査総合管理学」　高木康・三村邦裕　編著　　医歯薬出版（株） 参考書：なし	
オフィス・アワー	講義終了後に質問を受け付ける。個別相談は事前の連絡によって随時対応する。 三浦（miura@paz.ac.jp） 古田島（kotajima@paz.ac.jp）	
国家試験出題基準	Ⅰ(検査総合管理学・医療安全管理学)-2,4,5,6 Ⅹ(医療工学及び情報科学)-11	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし	

講義科目名称： 情報科学概論　　授業コード： 5M067

英文科目名称： Introduction to Information Science　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
長田　誠			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 生体計測工学　　授業コード： 5M068

英文科目名称： Biomeasurement Engineering　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
目黒　力			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 医療統計学　　授業コード： 5M069

英文科目名称： Medical Statistics　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
木村　朗	富田　浩		

授業形態	講義1-15コマと演習1-15コマ　すべて講義と演習の併用	担当者
授業計画	第1回　計学のあらまし　データと集め方　医療との関連性 統計学を学ぶ意味、データと集め方を理解する。	木村　朗
	第2回　１変数 １つの事柄を分析するための方法を理解する。平均・中央値・最頻値を理解する。	富田　浩
	第3回　分布の散布度 分布の散布度、不偏分散を理解する。	富田　浩
	第4回　母集団での平均値の推定　割合 母集団での平均値の推定、正規分布、割合2グループの母割合、母平均の差の検定	富田　浩
	第5回　2グループの母割合、母平均の差の検定 2グループの母割合、母平均の差の検定を理解する。	富田　浩
	第6回　母分散が等分散しないときの母平均の差の検定 母分散が等分散しないときの母平均差の検定を理解する。	富田　浩
	第7回　2変数についての解析　相関図　回帰直線と相関係数　順位データの相関係数 2変数についての解析　相関図　回帰直線と相関係数　順位データの相関係数を理解する。	富田　浩
	第8回　クロス表 クロス表とカイ二乗値を理解する。	富田　浩
	第9回　分散分析 分散分析　いくつかの要素の効果を判定するための方法を理解する。	富田　浩
	第10回　その他の分析方法 ノンパラメトリックによる検定　多変量解析 その他の分析方法 ノンパラメトリックによる検定、多変量解析を理解する。	富田　浩
	第11回　医療・疫学統計データの理解 分割表による検査と疾患データを用いた感度、特異度、尤度のあらましを理解する。	木村　朗
	第12回　コンピュータによる平均値および頻度に関する検定 RとRG、PCを活用し、t検定およびχ二乗検定を経験する。	木村　朗
	第13回　コンピュータによる回帰分析 RとRG、PCを活用し単回帰および重回帰分析を経験する。	木村　朗
	第14回　コンピュータによる分割表を用いた医療統計分析 実データを用いた医療統計に使われる分割表による代表値の信頼区間の利用方法を理解する。	木村　朗
	第15回　コンピュータによる医療統計分析の実際 研究論文を例にどのように医療統計を行っているのかを経験する。	木村　朗
科目の目的	医療に携わる者として、大学教養レベルの統計学の基本的な知識を身につけ、医療に関連する課題に対する正しい統計手法の適応について理解し、生涯にわたり医療における不確実な課題に統計学を応用できる態度を滋養すること。 DPに則した知識・理解に関して医療統計学の基本を学び「多様な情報を適切に分析し、問題解決する方法を理解している」ようになるための知識と能力を身につけること。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】を滋養する。	
到達目標	１．学生はデータの概念を説明できるようになること。 ２．学生は主な統計手法について説明できるようになること。 ３．学生は医療の課題で用いられる代表値と記述統計について統計検定3級程度の問題が解けるようになること。 ４．学生は分散分析、点推定、区間推定、検定について医療研究において頻出する適応例を挙げることができるようになること。 ５．学生は統計ソフトウェアRの基本的な操作をアシスタントツールの操作経験をすること。	
関連科目	情報処理、基礎統計、公衆衛生学、卒業研究	
成績評価方法・基準	期末時筆記テスト100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	・シラバスに示された、初めて聞く単語について、書き出し、ネット等で可能な範囲で内容を理解できるようにしておくこと。予習にかかる目安の時間は微積・統計を高校で履修した者は予習30分、履修していない者は90分程度、授業中にPC操作が完了した者の復習目安時間は30分、それ以上かかった者は本人の能力に応じて60分から120分。 ・授業の課題として早稲田大学向後研究室の統計学e-learningコンテンツからt検定及び単回帰式の例題を解くこと。	

教科書・参考書	教科書：ナースのための統計学.医歯薬出版 参考サイト：kimuakilabo、早稲田大学向後研究室統計学集サイト
オフィス・アワー	講義日の12:10~12:50(木村朗研究室・富田研究室)
国家試験出題基準	検査総合管理学Ⅰ-B-a、検査の精度保証(精度管理)A-bならびにB-a,b,c,d,e、保健医療福祉と医学検査、B　疫学指標、疫学調査法-a,b,c,d,e,f
履修条件・履修上の注意	特になし
アクティブ・ラーニングの実施	後半１/３において、課題を提示するので、学生自らがそこまで学習した内容を再構築して解決方法を提案するものを実施する。

講義科目名称： 臨床検査解析学（Reversed CPC） Ⅰ　　授業コード： 5M070

英文科目名称： Reversed-Clinicopathological Conference I　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
長田　誠			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 臨床検査解析学（Reversed CPC）Ⅱ　　授業コード：5M071

英文科目名称： Reversed-Cliniclpathological Conference II　　対象カリキュラム：2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
高橋 克典			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 臨床検査医学　　授業コード： 5M072

英文科目名称： Lecture in Clinical Laboratory Medicine　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	2学年	2単位	必修	
担当教員	担当者			
長田　誠	山田　俊幸		小谷　和彦	松本　剛
	矢冨　裕			

授業形態	講義	担当者
授業計画	1　イントロダクション，医学概論，感覚器疾患，中毒，遺伝子染色体異常症，皮膚及び乳腺の疾患の病因・病態，症状，診断，治療経過・予後	長田　誠
	2，3　1．消化器疾患，肝・胆・膵疾患の病因・病態，症状，診断，治療経過・予後	山田　俊幸
	4，5　アレルギー性疾患，膠原病，免疫不全の病因・病態，症状，診断，治療経過・予後	山田　俊幸
	6，7　内分泌疾患，腎・尿路・男性性器疾患の病因・病態，症状，診断，治療経過・予後	小谷　和彦
	8，9　代謝・栄養障害の病因・病態，症状，診断，治療経過・予後	小谷　和彦
	10，11　循環器疾患の病因・病態，症状，診断，治療経過・予後	松本　剛
	12，13　呼吸器疾患．感染症の病因・病態，症状，診断，治療経過・予後	松本　剛
	14，15　血液・造血器疾患．神経・運動器疾患（脳血管障害，感染症）の病因・病態，症状，診断，治療経過・予後	矢冨　裕
科目の目的	疾病の原因や病態，症状，診断，治療，経過・予後を理解した上で，臨床検査を実施することにより，医療支援ができる臨床検査技師を育成することを目的とする．また，検査値から病態を理解する「ReversedCPC」を理解するために，各疾患の病因，症状，診断を学ぶ．【思考・判断】	
到達目標	1．消化器疾患，肝・胆・膵疾患やアレルギー性疾患，膠原病，免疫不全に関して，病因・病態，症状，診断，治療経過・予後を理解し説明できる． 2．内分泌疾患，腎・尿路・男性性器疾患や代謝・栄養障害に関して，病因・病態，症状，診断，治療経過・予後を理解し説明できる． 3．循環器疾患．呼吸器疾患．感染症に関して，病因・病態，症状，診断，治療経過・予後を理解し説明できる． 4．血液・造血器疾患．神経・運動器疾患（脳血管障害，感染症）に関して，病因・病態，症状，診断，治療経過・予後を理解し説明できる． 5．感覚器疾患，中毒，遺伝子染色体異常症，皮膚及び乳腺の疾患に関して，病因・病態，症状，診断，治療経過・予後を理解し説明できる．	
関連科目	臨床検査解析学Ⅰ（Reversed CPCⅠ），臨床検査解析学Ⅱ（Reversed CPCⅡ），内科学，生理機能画像検査学，免疫検査学，臨床化学検査学，遺伝子検査学，血液検査学，病理細胞検査学．	
成績評価方法・基準	定期試験100％により成績を評価する．	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回の授業内容に関して1～2時間の予習・復習を行い，理解しておくこと．	
教科書・参考書	教科書：「病態学/臨床検査医学総論 第3版」奈良信雄　他（医歯薬出版） 参考書：なし	
オフィス・アワー	長田　誠：講義終了後に質問を受け付ける．時間外に関しては，長田にメールする．：osada@paz.ac.jp 山田　俊幸，小谷　和彦，松本　剛，矢冨　裕：講義終了後に質問を受け付ける． 山田　俊幸：講義終了後に質問を受け付ける． 松本　剛：講義終了後に質問を受け付ける． 矢冨　裕：講義終了後に質問を受け付ける．	
国家試験出題基準	Ⅱ-1～5、7～13、19	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし	

講義科目名称： 電気泳動分析病態解析学　　授業コード： 5M073

英文科目名称： Pathological Analysis in Electrophoresis　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
木村 鮎子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： ピットフォール解析学　　授業コード： 5M074

英文科目名称： Pitfall Analysis　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
藤田 清貴			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 血液検査学　　授業コード： 5M075

英文科目名称： Laboratory Hematology　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
林 由里子			

授業形態	オムニバス形式で講義する。林16回　小河原14回		担当者
授業計画	第1回	血液の基礎 血球の成分、性状、機能、血球の産生と崩壊について解説する。	林 由里子
	第2回	赤血球について 赤血球の産生と崩壊、形態と機能、赤血球の生化学について解説する。	林 由里子
	第3回	白血球（好中球）について 白血球の産生と崩壊、形態と機能について、特に好中球を中心に解説する。	林 由里子
	第4回	白血球（単球・リンパ球）と血小板について 単球およびリンパ球の分化・成熟について、血小板の分化・成熟、形態と機能について解説する。	林 由里子
	第5回	止血機構と凝固機序について 血管と止血、一次止血、二次止血、および血小板の機能、血液凝固について解説する。	長田　誠
	第6回	繊維素溶解と分子マーカーについて 線維素溶解（線溶）機序、凝固・線溶制御機構および凝固・線溶分子マーカーについて解説する。	長田　誠
	第7回	出血性素因と血栓症について 出血性素因の検査法、病歴、身体所見、スクリーニング検査および血栓症と検査、抗血栓療法について解説する。	長田　誠
	第8回	検体の採取と保存 採血法、抗凝固剤の使い方、検体処理および保存法について解説する。	林 由里子
	第9回	血球に関する検査（１） 血球計算板による血球計数、赤血球数、白血球数、好酸球数、血小板数算定法について解説する。	林 由里子
	第10回	血球に関する検査（２） 自動血球計数装置の原理、測定法、誤差要因、精度管理について解説する。	林 由里子
	第11回	赤血球に関するその他の検査（３） 網赤血球数、ヘモグロビン濃度、ヘマトクリット値および赤血球指数（MCV,MCH,MCHC）について解説する。	林 由里子
	第12回	赤血球沈降速度、溶血の検査 溶血の検査（赤血球浸透圧抵抗、発作性夜間血色素尿症のための砂糖水試験、HAM試験）について解説する。	林 由里子
	第13回	形態に関する検査（１） 末梢血塗沫標本作製法、骨髄標本の作製法、普通染色法および特殊染色法（細胞化学的染色法）について解説する。	林 由里子
	第14回	形態に関する検査（２）） 末梢血液像の観察法、赤血球、白血球、血小板形態についてについて解説する。	林 由里子
	第15回	形態に関する検査（３） 骨髄像の観察および血液細胞抗原検査（CD分類とフローサイトメトリ）について解説する。	林 由里子
	第16回	血小板・凝固・線溶検査（１） 血小板機能検査（出血時間、血小板粘着能、血小板凝集能）について解説する。	林 由里子
	第17回	血小板・凝固・線溶検査（２） 血小板放出能、収縮能および凝固検査（プロトロンビン時間）測定法について解説する。	林 由里子
	第18回	血小板・凝固・線溶検査（３） 内因系凝固検査（PTT,APTT）、フィブリノゲン量測定法、凝固因子定量法について解説する。	林 由里子
	第19回	血小板・凝固・線溶検査（４）（小河原） VWFの測定法、線溶因子、凝固阻止因子の測定法について解説する。	林 由里子

	第20回	血小板・凝固・線溶検査（５） 線溶阻止因子（PAI-1、プラスミンインヒビターなど）、クロスミキシング試験、凝固・線溶分子マーカーについて解説する。	林 由里子
	第21回	血液検査結果の評価（１） 赤血球系基準範囲および形態異常、小球性低色素性貧血について解説する。	林 由里子
	第22回	血液検査結果の評価（２） 慢性炎症性疾患、鉄芽球性貧血、および正球性正色素性貧血（再生不良性貧血・赤芽球癆等）について解説する。	林 由里子
	第23回	血液検査結果の評価（３） 溶血性貧血の検査および赤血球の崩壊亢進による貧血（溶血性貧血）について解説する。	林 由里子
	第24回	血液検査結果の評価（４） 正球性正色素性貧血（赤血球の喪失、二次性貧血）、大球性貧血および赤血球増加症について解説する。	林 由里子
	第25回	血液検査結果の評価（５） 白血球の基準範囲および形態異常と異常血球、白血球機能異常症、白血球増加症、白血球減少症、リンパ球の異常について解説する。	林 由里子
	第26回	血液検査結果の評価（６） 造血器腫瘍の分類の概念、急性白血病について解説する。	林 由里子
	第27回	血液検査結果の評価（７） 慢性白血病、骨髄増殖性疾患、骨髄異形成症候群について解説する。	林　由里子
	第28回	血液検査結果の評価（８） 多発性骨髄腫などのMタンパク血症について解説する。	林 由里子
	第29回	血液検査結果の評価（９） 血小板の異常による出血性素因、血管の異常について解説する。	林 由里子
	第30回	血液検査結果の評価およびまとめ（１０） 血友病やvon Willebrand病など凝固・線溶因子の異常、血栓性素因について解説する。	林 由里子

科目の目的	血液の成分について、その性状・機能を理解し、それらの異常によって起こる疾患の病態およびその検査法を理解する。また、検査結果から病態を把握できるようにすること。 ディプロマーポリシーにおける【知識・理解】を修得する。
到達目標	１）造血のしくみを理解し、説明できる。 ２）血液細胞の種類およびその働きを説明できる。 ３）血液検査法の測定原理、方法、臨床的意義を説明できる。 ４）止血・凝固機序とその検査法について説明できる。 ５）血液検査結果を評価することができる。
関連科目	生理学Ⅰ,Ⅱ、解剖学Ⅰ、Ⅱ、生化学、感染と免疫、病理学、臨床検査学総論、遺伝と病気、遺伝子検査学、免疫検査学、輸血検査学、臨床化学、病理検査学
成績評価方法・基準	前期中間試験と定期試験の成績（80%）および毎回実施される小テストの成績（20%）を総合して評価する。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	毎回小テストを行うので、最低30分の復習が必要である。 1回の小テスト（50点満点）で30点未満の場合、課題を課すものとする。課題は小テスト返却後、次の授業までに提出すれば、内容をチェックし、5点以内で加点し返却するので、知識の確認に役立てること。
教科書・参考書	教科書：最新臨床検査学講座　血液検査学　奈良信雄、他6名著、医歯薬出版株式会社 参考書１：JAMT技術教本シリーズ　血液検査技術教本　一般社団法人日本臨床衛生検査技師会監修、丸善出版 参考書２：臨床に直結する血栓止血学　朝倉英策著　中外医学社　2013 参考書３：血液形態アトラス　検査と技術増刊号 vol.43 No.10 医学書院、2015
オフィス・アワー	授業の前後あるいは事前に林（hayashi@paz.ac.jp)または長田（osada@paz.ac.jp）へ連絡すれば随時相談に応ずる。
国家試験出題基準	Ⅰ(検査総合管理学・医療安全管理学)-3-C Ⅱ-7 Ⅵ-1～5、6-A～C,D-abc,E、7～11 Ⅷ-3-I、9-B-bc
履修条件・履修上の注意	健康食品管理士（受験資格）及び遺伝子分析科学認定士（初級）（受験資格）の取得要件科目の一つである。　毎回小テストを行うので復習をしっかり行うこと。
アクティブ・ラーニングの実施	なし

講義科目名称： 血液検査学実習　　授業コード： 5M076

英文科目名称： Pratice in Laboratory Hematology　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
林 由里子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 病理検査学　　授業コード： 5M077

英文科目名称： Laboratory Pathology　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
岡山 香里			

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	病理検査学序論 病理検査学とは何か　病理組織検査における臨床検査技師の役割	岡山 香里
	第2回	パラフィン包埋標本作製1 パラフィン包埋標本作製の意義	岡山 香里
	第3回	パラフィン包埋標本作製2 ホルマリン固定、各種固定液、脱灰	岡山 香里
	第4回	パラフィン包埋標本作製3 切り出し、脱水、脱アルコール、薄切	岡山 香里
	第5回	凍結包埋標本作製 凍結包埋標本作製	岡山 香里
	第6回	HE染色1 染色のメカニズム	岡山 香里
	第7回	HE染色2 染色手順	岡山 香里
	第8回	膠原線維染色法・細網線維染色法 Azan染色、Masson's trichrome染色、渡辺の鍍銀染色	岡山 香里
	第9回	弾性線維染色法 Elastica Van Gieson染色、Orcein染色、Victoria blue染色	岡山 香里
	第10回	糸球体基底膜染色法 PAM染色、PAS反応	岡山 香里
	第11回	組織内病原体染色法 Ziehl-Neelsen染色、Grocott's染色、Mucicarmine染色、Orcein染色、Victoria blue染色、Warthin-Starry染色、Giemsa染色、PAS反応	岡山 香里
	第12回	多糖類染色法 PAS反応、Alcian blue染色、Toluidine blue染色、Mucicarmine染色、Congo red染色	岡山 香里
	第13回	生体内組織・内分泌染色法 Berlin blue染色、Fontana-Masson's染色、Grimelius's染色	岡山 香里
	第14回	神経組織染色法 Kluver-Barrera染色、Bodian染色	岡山 香里
	第15回	免疫組織化学染色法 染色意義、染色手順	岡山 香里
科目の目的	病理診断には、根拠となる肉眼所見の把握と病変を正しく反映した病理標本の作製が求められる。病理細胞検査学では、病理学および細胞診断学で学んだ各疾患の診断に必要な病理標本作製法、細胞診検査法を学ぶ。特に、パラフィン包埋ブロック作製法やヘマトキシリン・エオジン（HE）染色、特殊染色を学習することで、検査を通して病理診断学を理解する。また、細胞診標本の観察法、主な細胞像について理解する。【知識・理解】		
到達目標	1.病理組織検査学とは何かを説明できる。 2.細胞診検査とは何かを説明できる。 3.パラフィン包埋を行う意義を説明できる。 4.HE染色標本作製法を説明できる。 5.特殊染色における染色意義と目的物を説明できる。 6.免疫組織化学染色を説明できる。 7.HE染色像から、確定診断する上での特殊染色法の選択を自分で判断できる。 8.細胞診検体処理法、固定法、染色法が理解できる。 9.パパニコロウ染色とメイ・ギムザ染色による細胞像の違いが理解できる。 10.成熟婦人の性周期に伴う細胞像の変化が理解できる。 11.扁平上皮癌、腺癌、小細胞癌などの特徴所見が理解できる。		
関連科目	解剖学、病理学		
成績評価方法・基準	定期試験100％		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回の授業内容について予習、復習を行うこと。準備学習に必要な時間は2時間程度とする。		
教科書・参考書	教科書：病理学/病理検査学　医歯薬出版、講師が配布するテキスト（授業ごとに配布する） 参考書：臨床検査学実習シリーズ　病理検査学実習書　医歯薬出版		

オフィス・アワー	講義終了後に質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡(okayama@paz.ac.jp)によって随時対応する。
国家試験出題基準	Ⅰ(検査総合管理学・医療安全管理学)-3-C Ⅴ(形態検査学)-1～4、6
履修条件・履修上の注意	特になし
アクティブ・ラーニングの実施	特になし

講義科目名称： 病理検査学実習　　授業コード： 5M078

英文科目名称： Practice in Laboratory Pathology　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
岡山 香里			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 細胞診断学　　授業コード： 5M079

英文科目名称： Cytopathology　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
岡山 香里			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　細胞診断学序論 細胞診検査とは何か	岡山香里
	第2回　細胞診標本作製法 1 塗抹、固定	岡山香里
	第3回　細胞診標本作製法 2 各種染色法、液状検体細胞診	岡山香里
	第4回　婦人科細胞診 1 子宮頸部の解剖組織と正常細胞所見	岡山香里
	第5回　婦人科細胞診 2 ベセスダシステム、感染症および炎症所見	岡山香里
	第6回　婦人科細胞診 3 ヒトパピローマウイルス感染、上皮内病変	岡山香里
	第7回　婦人科細胞診 4 腫瘍性病変	岡山香里
	第8回　呼吸器細胞診 1 呼吸器の解剖組織と正常細胞所見	岡山香里
	第9回　呼吸器細胞診 2 検体採取法および種類	岡山香里
	第10回　呼吸器細胞診 3 非腫瘍性病変	岡山香里
	第11回　呼吸器細胞診 4 腫瘍性病変	岡山香里
	第12回　体腔液細胞診 1 体腔液の解剖、検体の種類	岡山香里
	第13回　体腔液細胞診 2 非腫瘍性病変および腫瘍性病変	岡山香里
	第14回　泌尿器・消化器・乳腺細胞診 各種病変	岡山香里
	第15回　細胞診スクリーニングの実際	岡山香里
科目の目的	細胞診検査では適切な固定や標本作製法だけではなく、塗抹された多数の細胞において正常細胞を理解し、少数の異型細胞を検出する力が求められる。細胞診断学では、標本作製法および染色法と婦人科や呼吸器などの各種検体の正常細胞と異型細胞の特徴的な所見について理解する。【知識・理解】	
到達目標	1.細胞診検査とは何かを説明できる。 2.細胞診検体処理法、固定法、染色法が理解できる。 3.婦人科細胞診の非腫瘍性病変および腫瘍性病変の細胞所見を説明することができる。 4.呼吸器細胞診の非腫瘍性病変および腫瘍性病変の細胞所見を説明することができる。 5.体腔液細胞診に出現する細胞の特徴を説明することができる。	
関連科目	解剖学、組織学、病理学、病理検査学	
成績評価方法・基準	定期試験 100%により成績を評価する。試験形態は筆記試験とする。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回の授業内容について予習、復習を行うこと。準備学習に必要な時間は 1 時間程度とする。	
教科書・参考書	教科書：病理学/病理検査学 医歯薬出版、講師が配布するテキスト	
オフィス・アワー	講義終了後に質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡(okayama@paz.ac.jp)によって随時対応する。	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	特になし	
アクティブ・ラーニングの実施	特になし	

講義科目名称： 臨床検査学総論　　授業コード： 5M080

英文科目名称： General Remarks for Clinical Testing　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
高橋 克典			

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	医療における臨床検査技師の役割と使命 臨床検査の歴史、病院組織とそれぞれの部門の機能について概説したうえで、臨床検査技師の役割および業務内容について解説する。	高橋克典
	第2回	採血法 臨床検査技師が法的に許されている採血の範囲および採血の種類について解説する。また、採血の手順、注意点などについても解説する。	高橋克典
	第3回	検体の取り扱い法 臨床検査の対象となる検体の種類とその取扱い方法について学ぶ。	高橋克典
	第4回	尿検査概論～ 尿検査入門 ～ 尿検査の種類と臨床的意義を概説する	高橋克典
	第5回	尿検査各論～ 尿の定性検査 ～ 尿の一般的性状、採取方法、保存方法を理解したうえで、尿定性試験について学習する。	高橋克典
	第6回	尿検査各論～ 尿の化学的検査 ～ 尿中化学成分の種類について理解し、それぞれの化学成分の測定原理について学習する。	高橋克典
	第7回	顕微鏡の取り扱い方、尿中有形成分の観察法 顕微鏡の正しい使い方、管理の仕方について講義する。また、顕微鏡による尿中有形成分の観察法を概説する。	高橋克典
	第8回	尿検査各論～ 尿沈渣入門 ～ 尿沈渣標本の作製法、染色法、観察法、記載法などの基本事項を理解したうえで、健常人の尿中有形成分を中心に学習する。	高橋克典
	第9回	尿検査各論～ 尿中有形成分の種類と病態との関係 ～ 尿中有形成分にどのようなものがあるのか、またそれらの成分が病態とどのように関連するのかを学習する。	高橋克典
	第10回	尿検査各論～ 尿中有形成分の同定トレーニング ～ 尿中有形成分の画像使って、同定トレーニングを実施する。	高橋克典
	第11回	尿検査各論～ 尿中成分の自動分析装置 ～ 自動分析装置で測定可能な尿中有形成分の種類および装置の測定原理について学習する。	高橋克典
	第12回	便検査 便検査の中でも大腸がんの検診や消化管出血の有無を検索するために重要な便潜血反応の化学的方法や免疫学的方法について学習する。	高橋克典
	第13回	髄液検査 脳脊髄液の理学的検査，細胞学的検査および臨床的意義について解説する。	高橋克典
	第14回	穿刺液検査 胸水，腹水，関節液など体腔に貯留した液に関する検査および浸出液であるか濾出液であるかの鑑別方法について解説する。	高橋克典
	第15回	胃液・その他の体液検査 胃液の酸度測定、十二指腸液の胆汁検査、その他について解説する。	高橋克典
科目の目的	医療における臨床検査の役割と使命を自覚し、臨床検査技師の心構えや基礎的検査技術を学ぶ。 【知識・理解】		
到達目標	臨床検査技師としての専門的技術や知識への導入として基本的検査技術を習得する。		
関連科目	生化学、生理学Ⅰ・Ⅱ、病理学、血液検査学、臨床化学検査学、免疫検査学、微生物検査学		
成績評価方法・基準	定期試験（90%）章末テスト（10%）		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	事前に教科書、配布資料等に目を通しておく。準備学習に必要な学習時間の目安は概ね1時間程度。		

教科書・参考書	教科書：標準臨床検査学「臨床検査総論」（医学書院） 参考書：カラーアトラス尿検査　月刊Medical Technology別冊(医歯薬出版)
オフィス・アワー	講義終了後（30分間）に教室または研究室で質問を受けつける。個別の質問等は、E-mail（k-takahashi@paz.ac.jp）等でも随時受け付ける。
国家試験出題基準	Ⅰ(検査総合管理学・医療安全管理学)-1、2-A～F、3、4 Ⅰ(生物化学分析検査学)-1-A～F、2、3、4、5 Ⅱ-19
履修条件・履修上の注意	健康食品管理士　必修科目
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし

講義科目名称： 臨床検査学総論実習　　授業コード： 5M081

英文科目名称： Practice in General Remarks for Clinical Testing　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
藤本 友香	高橋克典	高橋あゆ子	神宮大輝

授業形態	実習（24回）		担当者
授業計画	第1-2回	実習オリエンテーション　尿検査　～尿試験紙の特徴と扱い方を学ぶ～ 実習で使用する主な器具、装置の説明及び、実習の諸注意 試験紙法による尿定性検査の意義、原理、注意点などを解説したうえで尿定性検査実習の流れ、実施方法などを確認する（高橋克、高橋あ、神宮、藤本）	藤本　友香
	第3-4回	自己尿の定性検査　尿定性・尿定量検査　～尿蛋白の検出法～ 自己尿を対象に、尿定性試験を実施し、判定方法を習得する。尿蛋白の検出において、試験紙法では判定が難しい事例や偽反応などに遭遇した場合の対処法を学習する（高橋克、高橋あ、神宮、藤本）	藤本　友香
	第5-6回	尿定性、定量検査　～尿糖とケトン体の検出方法～ 糖尿病の診断に有用な、尿糖とケトン体の検出方法をテーマに試験紙法の有用性とその限界を学ぶ。そのうえで試験管法による確認試験の手法を習得する。（高橋克、高橋あ、神宮、藤本）	藤本　友香
	第7-8回	尿定性検査　～ウロビリノゲンとビリルビンの検出法～ 肝胆道系疾患など診断に有用な尿中ウロビリノゲンとビリルビンをテーマに試験紙法の有用性とその限界を学ぶ。そのうえで、試験管法による確認試験の手法を習得する。（高橋克、高橋あ、神宮、藤本）	藤本　友香
	第9-10回	尿沈渣検査総論　～顕微鏡の扱い方と標本の観察法～ 顕微鏡の正しい使用法、尿沈渣標本の作製法及び、観察方法について学習する。また、習得した技術を用いて自己尿の尿沈渣検査を実施する。（高橋克、高橋あ、神宮、藤本）	藤本　友香
	第11-12回	尿沈渣検査各論　～血球・結晶類・微生物～ 赤血球、白血球、細菌などを含む尿検体を用いて尿沈渣検査を実施し、尿定性試験との関係について学ぶ。また、代表的な結晶類の標本を観察し、その形態学的特徴を学ぶ。（高橋克、高橋あ、神宮、藤本）	藤本　友香
	第13-14回	尿沈渣検査各論　～上皮細胞～ 尿中に出現する上皮細胞のうち、扁平上皮細胞、尿路上皮細胞並びに円柱上皮細胞の標本を観察し、その形態学的特徴と鑑別方法について学習する。（高橋克、高橋あ、神宮、藤本）	藤本　友香
	第15-16回	尿沈渣検査総論　～円柱類の鑑別方法～ 尿中に出現する有形成分のうち、円柱類の標本を観察し、その形態学的特徴と鑑別法について学習する。（高橋克、高橋あ、神宮、藤本）	藤本　友香
	第17-18回	尿沈渣検査総論　～異型細胞の鑑別方法～ 尿中に出現する有形成分のうち、異型細胞の標本を観察し、その形態学的特徴と鑑別法について学習する。（高橋克、高橋あ、神宮、藤本）	藤本　友香
	第19-20回	糞便検査実習　～疑似便による糞便検査～ 糞便検査の意義や原理及び、実習の流れを解説する。赤血球を添加した疑似便を用いて、便潜血反応の手技や解釈方法を学習する。（高橋克、高橋あ、神宮、藤本）	藤本　友香
	第21-22回	骨髄検査実習　～計算盤を用いた細胞カウント法の習得～ 髄液検査の意義や原理及び、実習の流れなどを解説する。白血球を添加した疑似髄液を用いて髄液検査の流れ、染色法、カウント法などを学習する。（高橋克、高橋あ、神宮、藤本）	藤本　友香
	第23-24回	採血実習　～採血模型を用いた採血のトレーニング・採血管の違い～ 正しい採血法の知識や採血実習の流れについて解説する。採血用の模型を用いて採血のトレーニングを実施する。また、教員の血液を採取し、採血管による血液凝固の違いや血漿と血清の違いなどについて学習する。（高橋克、高橋あ、神宮、藤本）	藤本　友香
科目の目的	臨床検査技師としての自覚を持ち、基本的な検査技術を習得する。		
到達目標	臨床検査の基本技術の習得を実技試験で確認する。		
関連科目	生化学、生理学Ⅰ・Ⅱ、病理学、血液検査学、臨床化学検査学、免疫検査学、微生物検査学		

成績評価方法・基準	定期試験（50%）、実習レポート（50%：レポートは採点後に学生に返却し、解説も行う。）
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	教科書の実習範囲と「実習のてびき」に目を通しておく。準備学習に必要な学習時間の目安は概ね1時間程度である。
教科書・参考書	教科書：標準臨床検査学「臨床検査総論」（医学書院） 参考書：カラーアトラス尿沈渣　月刊Medical Technology別冊（医歯薬出版）
オフィス・アワー	講義の前後の時間に研究室もしくは実習室で質問を受け付ける。個別の質問はE-mail(fujimoto@paz.ac.jp)にて受け付ける。
国家試験出題基準	Ⅰ（生物化学分析検査学）-1-C,D,F、2, 3, 4, 5
履修条件・履修上の注意	臨床検査総論を履修している者が対象
アクティブ・ラーニングの実施	実施しない。
実務経験のある教員による授業	
実務経験	藤本　友香（臨床検査技師）
授業の概要	臨床検査技師に認められている静脈採血に関して、その手技の習熟と患者への対応について学ぶ。また各種一般検査法の正確な技術の修得とともに、検査成績のもつ臨床的意義を正しく判断できる能力をさらに深める。尿検査に関しては、尿中各種成分の定性・定量試験の正確な技術や、尿沈渣の形態学的特徴のみならず、患者の病態を含む背景から各種尿沈渣成分を正確に鑑別できる能力を修得する。さらに、臨床病態と検査成績との関連性や検査法に影響を及ぼす要因についてもさらに理解を深める。

講義科目名称： 医動物学実習　　授業コード： 5M082

英文科目名称： Medical zoology　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	1学年	1単位	必修	
担当教員	担当者			
藤本 友香	三浦佑介		高橋あゆ子	

授業形態	講義（13回）　実習（10回）	担当者
授業計画	第1回　医動物学総論（講義） 医動物学の基礎知識を学ぶ　～医動物学 Medical Zoologyとは～	藤本
	第2-3回　線虫（講義） 線虫類総論　回虫、アニサキス、蟯虫等	藤本
	第4-5回　吸虫（講義） 吸虫類総論　ウエステルマン肺吸虫、宮崎肺吸虫等	藤本
	第6回　線虫、吸虫の確認（講義） 線虫と吸虫の復習と確認	藤本
	第7-8回　条虫（講義） 条虫類総論　日本海裂頭条虫、単包条虫等	藤本
	第9-10回　原虫（講義） 赤痢アメーバ、マラリア等	藤本
	第11-12回　衛生動物（講義） ダニ、ブユ、アブ、ハエ等	藤本
	第13回　寄生虫　検査法（講義） 線虫、吸虫、条虫、原虫、衛生動物の検査法について	藤本
	第14-15回　試薬作成（実習） 実習で使用する試薬の作成（三浦、高橋あ、藤本）	藤本
	第16-17回　直接塗抹法（実習） 直接塗抹法の習得　線虫卵、吸虫欄、条虫卵等の検出（三浦、高橋あ、藤本）	藤本
	第18-19回　浮遊法（実習） 浮遊法の習得（三浦、高橋あ、藤本）	藤本
	第20-21回　遠心沈殿法（実習） AMSⅢ法の習得（三浦、高橋あ、藤本）	藤本
	第22-23回　寄生虫標本の観察（実習） 線虫、吸虫、条虫、原虫、衛生動物の標本の観察（三浦、高橋あ、藤本）	藤本
科目の目的	医動物学（Medical zoology）は、人体の健康に病害を与える動物を対象とした学問分野である。 本科目では臨床検査技師としての専門基礎知識を学ぶことを目的とし、前述の動物の分類、形態、生活史、病害、診断法、感染予防法などを学習する。 ディプロマーポリシーの【知識・理解・実践能力】を修得する。	
到達目標	１．寄生虫の分類、生活史、病害、診断法について説明できる。 ２．寄生虫の虫卵の鑑別ができる。 ３．人畜共通感染症について理解する。 ４．各寄生虫に適した検査法を理解する。	
関連科目	解剖学、微生物検査学、感染と免疫、遺伝子検査学	
成績評価方法・基準	試験（小試験・試験）７０％、実習レポート（３０％）で評価を行う。レポートは採点後、学生に返却する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	医動物学の準備学習に必要な時間は２時間程度とする。 前回授業で行った内容の中から小試験を行うので、前回の講義内容を復習しておくこと。	
教科書・参考書	教科書：吉田幸雄、有薗直樹　「医動物学　第6版」（南山堂） 参考書：吉田幸雄、有薗直樹　「図説人体寄生虫学　改訂8版」（南山堂）	
オフィス・アワー	講義終了後に質問を受け付ける。個別相談は事前の連絡によって随時対応する。 （fujimoto@paz.ac.jp）	
国家試験出題基準	Ⅰ(形態検査学)-1、2-A,B,C Ⅱ-6-G,H	
履修条件・履修上の注意	授業には必ず教科書を持ってくること。	
アクティブ・ラーニングの実施	寄生虫検出法を実施する際、学生同士ディスカッションする時間を与える。	
実務経験のある教員による授業		
実務経験	藤本 友香（臨床検査技師）	
授業の概要	本邦においては寄生虫・原虫・衛生動物による感染は稀となったが、未だ蟯虫感染症は本邦を含む先進国でも根絶できない寄生虫である。また、東南アジア、アフリカ、中南米の途上国では今日に	

	おいても熱帯熱マラリアは多数の患者・死者を出す原因原虫となっており、医動物学は輸入感染症としても重要である。したがつて、蟯虫をはじめとする線虫類、吸虫類、条虫類、マラリア原虫をはじめとする原虫および衛生動物の分布と疫学を知り、その生活史と感染経路を学ぶ。

講義科目名称： 免疫検査学　　授業コード： 5M083

英文科目名称： Laboratory Immunology　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
藤田 清貴			

授業形態	講義（25）・演習（５）		担当者
授業計画	第1回	イントロダクション，試験管内抗原抗体反応の特徴，交差反応，最適比，地帯現象，モノクローナル抗体とポリクローナル抗体の反応性	藤田清貴
	第2回	血清の分離法，保存法，蛋白質（特に抗体）の精製法	藤田清貴
	第3回	沈降反応（１）：沈降反応の機序，種類，ゲル内免疫拡散法の特徴	藤田清貴
	第4回	沈降反応（２）：ゲル内免疫拡散法（オクタロニー法）による沈降線の判読	藤田清貴
	第5回	グループ討論会：各種抗原と抗体との組合わせによる沈降線の出方および判読について（１）演習	藤田清貴
	第6回	グループ討論会：各種抗原と抗体との組合わせによる沈降線の出方および判読について（２）演習	藤田清貴
	第7回	凝集反応（１）：凝集反応の機序，種類，特徴	藤田清貴
	第8回	凝集反応（２）：凝集反応における異常反応の種類と対策	藤田清貴
	第9回	溶解反応，補体結合反応，中和反応：反応の機序および特徴	藤田清貴
	第10回	非標識抗原抗体反応：免疫比濁法，免疫比ろう法，ラテックス凝集比濁法の原理および特徴	藤田清貴
	第11回	標識抗原抗体反応：酵素免疫測定法、発光免疫測定法，蛍光免疫測定法，免疫クロマトグラフィ法の原理および特徴	藤田清貴
	第12回	肝炎ウイルス感染症検査：検査法の種類と特徴（A型・B型・C型・E型）	藤田清貴
	第13回	梅毒血清反応：検査法の種類，原理，判定基準	藤田清貴
	第14回	クラミジア・マイコプラズマ・ツツガムシ感染症検査：検査法の種類，原理，特徴	藤田清貴
	第15回	関節リウマチ関連抗体検査：測定法，原理，特徴，問題点　（中間試験）	藤田清貴
	第16回	抗核抗体関連検査（１）：間接蛍光抗体法による抗核抗体検査の原理，特徴，判定基準（後期授業ガイダンス）	藤田清貴
	第17回	抗核抗体関連検査（２）：抗DNA抗体，抗ENA抗体検査の測定法，原理，判定基準	藤田清貴
	第18回	免疫不全関連検査：体液（液）性免疫系・細胞性免疫系・補体系における各検査法と特徴	藤田清貴
	第19回	鋭敏度と特異度：計算の仕方，検査法の評価	藤田清貴
	第20回	腫瘍マーカー：種類，特徴，有用性	藤田清貴
	第21回	Western blotting法：Western blotting法の原理および特徴，HIVの確認試験と判読の仕方	藤田清貴
	第22回	血清蛋白異常症（１）：血清蛋白総論，　血清蛋白分画検査，血清蛋白異常症の分類	藤田清貴
	第23回	血清蛋白異常症（２）：血清蛋白異常症のスクリーニング検査，M蛋白血症の特徴	藤田清貴
	第24回	急性期蛋白質：種類および性状，臨床的意義	藤田清貴
	第25回	温度依存性蛋白：Bence Jones蛋白，クリオグロブリン，パイログロブリンの特徴，臨床的意義	藤田清貴
	第26回	電気泳動法（１）：免疫固定電気泳動法と免疫電気泳動法の原理，特徴，判読の仕方	藤田清貴
	第27回	電気泳動法（２）：免疫電気泳動法による沈降線の判読，各種病態型分類，M蛋白血症の悪性判断基準	藤田清貴
	第28回	グループ討論：症例検討（１）：電気泳動パターンからの病態推測（１）演習	藤田清貴
	第29回	グループ討論：症例検討（２）：電気泳動パターンからの病態推測（２）演習	藤田清貴

	第30回　　グループ討論：症例検討（３）：電気泳動パターンからの病態推測（判読試験）演習	藤田清貴
科目の目的	生体内防御反応機構や抗原抗体反応などの免疫検査学の基礎理論，および免疫学的分析法の原理やその測定意義を理解する。さらに，具体的な検査項目についてその原理や特徴，および判定基準などを学び，分析結果から病態を推測し，解析の進め方や異常値に対応できるよう免疫検査学の知識を身につける。【知識・理解】	
到達目標	1. 抗原抗体反応の原理と地帯現象について説明できる。 2. 血清の分離法と保存法，および抗体の精製法について説明できる。 3. 沈降反応の機序と種類について説明し沈降線を判読できる。 ４. 凝集反応の機序と種類について説明できる。 5. 非標識抗原抗体反応と標識抗原抗体反応の原理と種類について説明できる。 6. 梅毒血清反応の種類と原理について説明し判定ができる。 ７. 肝炎ウイルス検査法の種類と原理について説明できる。 ８. 抗核抗体検査の原理と特徴について説明し染色型の判定ができる。 9. 鋭敏度と特異度の計算法を理解し判定ができる。 10. 腫瘍マーカーの種類と特徴について説明できる。 11. Western blotting分析法の原理と特徴について説明できる。 12. 急性期蛋白質の種類と特徴について説明できる。 13. 血清蛋白異常症およびM蛋白血症について理解し説明できる。 14. 温度依存性蛋白質の種類と特徴について説明できる。 15. 免疫電気泳動法および免疫固定電気泳動法の原理と特徴を理解し沈降線の判読と病態型を推測できる。	
関連科目	感染と免疫，免疫検査技術学実習，臨床化学検査学，電気泳動分析病態解析学、ピットフォール解析学	
成績評価方法・基準	中間テスト30%，定期試験30%，　IEP判読試験20%，小テスト20%により成績を評価する。採点の基準は100点満点のうち60点以上を合格とする。また，授業回数の3分の1以上の欠席がある場合には試験成績は無効とみなす。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回の授業内容について１～２時間の予習・復習を行い理解しておくこと。	
教科書・参考書	教科書：窪田哲郎，他：　臨床検査学講座　「免疫検査学」　（医歯薬出版） 教科書：藤田清貴：臨床検査で遭遇する異常蛋白質―基礎から発見・解析法まで（医歯薬出版） 参考書：なし その他，必要に応じて資料を配布する。	
オフィス・アワー	講義終了後に質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡によって随時対応する（fujita@paz.ac.jp）。	
国家試験出題基準	Ⅰ(形態検査学)-2 Ⅳ-2-G Ⅶ-4、5 Ⅷ-1、2、3-A,B,D～I、4、5	
履修条件・履修上の注意	健康食品管理士　必修科目 授業中は携帯電話の電源を切ること。	
アクティブ・ラーニングの実施	オクタロニー法による沈降線の判読および電気泳動パターンの判読についてグループ・ディスカッションを行いながら問題解決を目指す。	

講義科目名称： 免疫検査技術学実習　　授業コード： 5M084

英文科目名称： Practice in Laboratory Immunology　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
高橋 克典			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 臨床化学検査学　　授業コード： 5M085

英文科目名称： Clinical Biochemistry　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
通年	2学年	2単位	必修	
担当教員	担当者			
松下　誠	亀子 光明		石垣 宏尚	

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	総論１ 臨床化学分析の目的と歴史，分析化学の原理と特徴.	松下　誠
	第2回	総論　２ 臨床化学の分析の標準化，精度管理，基準範囲.	松下　誠
	第3回	総論　３ 測定結果の判断，分析項目の生理的変動，分析誤差	松下　誠
	第4回	分析法の基礎　１ 分光光度分析法，クロマトグラフィー，質量分析	松下　誠
	第5回	分析法の基礎　２ 酵素的分析法，免疫化学的定量分析法，電気化学分析	松下　誠
	第6回	化学分析法各論　１ 電解質（Na，K，Cl，Ca，p，Mg　等）	松下　誠
	第7回	化学分析法各論　２ 微量元素　（Fe，Cu，Zn,等），有害微量元素（Cd，等）	松下　誠
	第8回	化学分析法各論　３ 糖質，糖負荷試験，持続皮下グルコース測定（CGM），糖尿病	松下　誠
	第9回	化学分析法各論　４ 脂質（TC，TG，HDL-C，LDL-C）	松下　誠
	第10回	化学分析法各論　５ リポタンパク，遊離脂肪酸，胆汁酸	松下　誠
	第11回	化学分析法各論　６ タンパク質（総タンパク，アルブミン）	亀子 光明
	第12回	化学分析法各論　７ タンパク質（免疫グロブリン，RTP，急性相反応蛋白）	亀子 光明
	第13回	化学分析法各論　８ 非タンパク性窒素化合物（アンモニア，Cre，UN）	松下　誠
	第14回	化学分析法各論　９ 非タンパク性窒素化合物（アUA，T.Bil. D.Bil，I,Bil）	松下　誠
	第15回	化学分析法各論　10 酵素（酵素活性測定法原理，血中酵素の特徴）	松下　誠
	第16回	化学分析法各論　11 酵素（AST，ALT，LD，CK）	松下　誠
	第17回	化学分析法各論　12 酵素（ALP，γ-GT，ChE，AMY，リパーゼ，等）	松下　誠
	第18回	化学分析法各論　13 骨形成マーカー，骨吸収マーカー	松下　誠
	第19回	化学分析法各論　14 ホルモン１（視床下部・下垂体，甲状腺，等）	石垣 宏尚
	第20回	化学分析法各論　15 ホルモン2（副腎皮質，副腎髄質，性腺，等）	石垣 宏尚
	第21回	化学分析法各論　16 ビタミンの種類と性質	石垣 宏尚
	第22回	化学分析法各論　17 ビタミンの作用と欠乏症・過剰症	石垣 宏尚
	第23回	栄養と代謝 栄養アセスメント，肥満，糖尿病	亀子 光明
	第24回	骨代謝と疾患 骨粗鬆症，悪性腫瘍の骨転移	亀子 光明
	第25回	炎症 急性相反応蛋白，感染症マーカー（エンドトキシン，等）	亀子 光明
	第26回	腫瘍 各種腫瘍マーカー	亀子 光明
	第27回	血中薬物モニタリング（TDM） 生体内の薬物動態，血中薬物測定法	亀子 光明
	第28回	各種機能検査 肝・胆道機能検査，腎機能検査，内分泌機能検査，等	松下　誠
	第29回	臨床化学検査データの読み方１ データの読み方，基準範囲，パニック値	松下　誠

	第30回　　臨床化学検査データの読み方２ 各種疾患データを利用したRCPC	松下　誠
科目の目的	病態解析を行う上で基本となる分析化学を学び，病態に関与する数多くの生体成分の測定方法を理解する．加えて臨床的意義，生理的変動，測定誤差要因についても学ぶ．（知識・理解）	
到達目標	1. 各種分析方法（吸光度分析・酵素反応を利用する方法・免疫反応を利用する方法・自動分析法）が理解出来る． 2. 各測定項目の測定原理を理解し応用力を高める． 3. 試料の取り扱いについて，採取時間や保存方法がどのように分析に影響を与えるか説明出来る． 4. 分析で得られる様々な測定結果が，各疾患でどの様に変化するかを正しく説明できる． 5. 分析においてどのような因子が測定誤差となるか説明できる．	
関連科目	生化学、薬理学，生物学A・B，精度管理学	
成績評価方法・基準	定期試験（60%），前期中間試験（30%），ミニテスト（10%）により評価する．	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義内容が理解出来るよう，講義事前に教科書をよく読み，講義終了後は再度教科書，配布資料で復習する．概ね1時間程度．	
教科書・参考書	教科書：「最新 臨床検査学講座　臨床化学検査学　第2版」　浦山 修，他　編（医歯薬出版株式会社） 「最新臨床検査学講座　検査総合管理学」　高木康・三村邦裕　編著　　医歯薬出版（株） 参考書：「臨床検査法提要 改訂35版」金井正光 監修（金原出版）	
オフィス・アワー	松下：講義終了後に質問を受け付ける．個別の相談は事前連絡によって随時対応する（??????@paz.ac.jp）	
国家試験出題基準	Ⅰ(検査総合管理学・医療安全管理学)-3-C Ⅳ-2-A～E,H～K、3～14	
履修条件・履修上の注意	健康食品管理士受験資格取得には，必須科目となる． 教科書を持参すること．	
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし	

講義科目名称： 臨床化学検査学実習　　授業コード： 5M086

英文科目名称： Practice in Clinical Biochemistry　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
石垣 宏尚			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： RI検査学　　授業コード： 5M087

英文科目名称： Radioisotopic Technology　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
亀子 光明			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 食品衛生学　　授業コード： 5M088

英文科目名称： Food Hygiene　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
亀子 光明			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 遺伝子検査学　　授業コード： 5M089

英文科目名称： Gene Technology　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
長田　誠			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回　遺伝子の基礎　細胞の構造と機能 生物の基本単位としての細胞，細胞の構造の機能，細胞の接着，細胞分裂，細胞周期	長田　誠
	第2回　遺伝子の基礎　遺伝子① 核酸，核酸代謝，遺伝子の構造と機能，クロマチンの構造，遺伝情報の伝達と発現	長田　誠
	第3回　遺伝子の基礎　遺伝子② 遺伝子変異と多型，遺伝子の異常	長田　誠
	第4回　遺伝子異常と疾患 遺伝子の異常が関連する疾患，遺伝子診断，遺伝子治療，移植・再生医療，ファーマコゲノミクス	長田　誠
	第5回　遺伝子の検査法① 遺伝子検査の概説，遺伝子検査用機器とその保守管理，核酸抽出	長田　誠
	第6回　遺伝子の検査法② サザンブロット法，PCR法	長田　誠
	第7回　遺伝子の検査法③ 定性RT-PCR法，Real-time PCR法，その他の遺伝子検査法	長田　誠
	第8回　染色体の基礎① ヒト染色体解析の進展，染色体の構造と機能	長田　誠
	第9回　染色体の基礎② 染色体異常の種類と生成機構，ヒトの遺伝子マッピングと染色体地図	長田　誠
	第10回　染色体異常と疾患① 染色体異常症候群，ヒト集団における染色体異常の発生頻度	長田　誠
	第11回　染色体異常と疾患② 腫瘍と染色体異常	長田　誠
	第12回　染色体の検査法① 細胞の培養，染色体標本の作製法	長田　誠
	第13回　染色体の検査法② 染色体分染法，核型分析	長田　誠
	第14回　染色体の検査法③ 蛍光 in situハイブリゼーション（FISH）法，新しい分子遺伝学的手法	長田　誠
	第15回　遺伝子・染色体検査における倫理 インフォームドコンセント，遺伝倫理，遺伝情報管理	長田　誠
科目の目的	遺伝情報解析技術の進歩により，遺伝子の変異や染色体の構造変化が病気の原因なること明らかになりつつある．ここでは，遺伝子・染色体の基礎と遺伝子関連検査・染色体検査の原理と有用性を概説し，検査診断への応用について学ぶ．また，遺伝情報の倫理的な取り扱いについて理解する． 【知識・理解】	
到達目標	・遺伝と遺伝子・染色体について理解し説明できる． ・細胞遺伝の基礎を理解し説明できる ・遺伝子変異とその変異に伴う疾患，それらを診断する検査法について説明できる． ・染色体の数的異常，構造変化に伴う疾患と検査法について説明できる． ・遺伝子・染色体の倫理的取り扱いについて，その重要性を理解し説明できる．	
関連科目	遺伝と病気，遺伝子検査学実習	
成績評価方法・基準	定期試験70％，小テスト30％により成績を評価する．	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1年次に履修した「遺伝と病気」について復習しておくこと．各回の授業内容について約1時間予習・復習を行い理解しておくこと．	
教科書・参考書	教科書：「最新臨床検査学講座　遺伝子・染色体検査学　第2版」　（医歯薬出版） 参考書１：「染色体遺伝子検査の基礎と臨床応用」　（日本臨床検査技師会） 参考書２：「遺伝子検査技術ー遺伝子分析科学認定士テキストー」　（宇宙堂八木書店） 参考書３：「トンプソン＆トンプソン遺伝医学」　（メディカル・サイエンス・インターナショナル）	
オフィス・アワー	講義終了後に質問を受け付ける．個別の相談は事前連絡にて随時対応する（osada@paz.ac.jp）．	
国家試験出題基準	Ⅰ(病因・生体防御検査学)-1～4	

	Ⅱ-16 Ⅶ(医学検査の基礎と疾病との関連)-5 Ⅶ(病因・生体防御検査学)-3～5
履修条件・履修上の注意	特になし
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし

講義科目名称： 遺伝子検査学実習　　授業コード： 5M090

英文科目名称： Practice in Gene Technology　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
荒木 泰行			

授業形態	実習		担当者
授業計画	第1・2回	実習オリエンテーション（ チューブ，ピペットの取り扱い，アルコールパッチテスト）(長田 誠，木村鮎子) チューブ，ピペットの取り扱い，アルコールパッチテスト。 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木 泰行
	第3・4回	口腔粘膜からのDNA抽出（長田 誠，木村鮎子） 口腔粘膜細胞からスピンカラム法を用いてDNAを抽出。 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木 泰行
	第5・6回	PCR法によるDNA増幅とアガロースゲル作製（長田 誠，木村鮎子） AS-PCRによるALDH2の検出，電気泳動用アガロースゲル作製 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木 泰行
	第7・8回	電気泳動，結果判定（長田 誠，木村鮎子） PCR産物の電気泳動を行い、結果を判定する。 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木 泰行
	第9・10回	ALDH2遺伝子のリアルタイムPCR（長田 誠，木村鮎子） PCR産物のリアルタイムPCRを行い、結果を判定する。 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木 泰行
	第11・12回	塩基配列によるALDH2遺伝子多型解析（長田 誠，木村鮎子） ALDH2遺伝子の配列をインターネットから入手して、シーケンスデータを検討する。 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木 泰行
	第13・14回	BCR-ABLのRT(Reverse Transcription)-PCR（長田 誠，木村鮎子） K562培養細胞からRNA抽出して、RT-PCR方にてcDNAを作製する。 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木 泰行
	第15・16回	BCR-ABLのリアルタイムPCR（長田 誠，木村鮎子） K562培養細胞のcDNAからBCR-ABLのリアルタイムPCRを実施する。 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木 泰行
	第17・18回	染色体標本作製 K562培養細胞を用いて中期染色体標本の作製を実施する。 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	荒木 泰行
	第19・20回	染色体解析の実際（長田　誠，木村鮎子，荒木泰行） 染色体の核板を番号順に並べ替える体験を実施する。 課題に対するフィードバックは授業内に行う。	松田 和之
	第21・22回	実習実技試験（長田　誠，木村鮎子） 遺伝子検査にまつわる器具の操作等についての実技試験を行う。	荒木 泰行
	第23	実習実技試験の結果と講評（長田　誠，木村鮎子） 実技試験で気づいたことを述べ、遺伝子検査法の基本的知識・技術の習得を目指す。	荒木 泰行
科目の目的	遺伝子関連検査に必要な3つのステップ，1核酸抽出，２増幅，3検出について，それぞれの過程での基本的な操作を実習する．【知識・理解】		
到達目標	・遺伝子関連検査で使用する機器・器具類の基本的な取り扱いを理解し説明できる. ・核酸抽出の原理及び手技について理解し説明できる. ・PCR法の原理と手技を理解し説明できる. ・リアルタイムPCRの原理と手技を理解し説明できる. ・電気泳動，塩基配列決定法の原理と手技を理解し説明できる.		
関連科目	遺伝と病気，遺伝子検査学，遺伝子工学		
成績評価方法・基準	実技試験50%、レポート50%により成績を評価する。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回の実習内容について，約1時間予習し理解しておくこと.		

教科書・参考書	教科書：「遺伝子検査学実習書」　（医歯薬出版） 参考書１：「染色体遺伝子検査の基礎と臨床応用」　（日本臨床検査技師会） 参考書２：「遺伝子検査技術ー遺伝子分析科学認定士テキストー」　（宇宙堂八木書店） 参考書３：「バイオリソース＆データベース活用術」　（秀潤社）
オフィス・アワー	個別の相談は事前連絡にて随時対応する．長田：osada@paz.ac.jp、荒木：y-araki@paz.ac.jp、松田先生は講義終了後のみ可能。
国家試験出題基準	Ⅰ(病因・生体防御検査学)-2-A～E,G、4 Ⅶ(病因・生体防御検査学)-4、5
履修条件・履修上の注意	特になし
アクティブ・ラーニングの実施	なし
実務経験のある教員による授業	
実務経験	荒木 泰行（胚培養士）
授業の概要	講義で学んだ知識をもとに、基礎的な遺伝子検査技術を習得する。遺伝子検査法を実習する前に、遺伝子を取り扱う際の基本的な手技及び注意事項(ピペッティング・クーリング・コンタミネーションの防止など)をマスターし、続いてDNA・RNAの抽出及び定量、PCR法とその応用(nested-PCR法、RT-PCR法)、LAMP法、遺伝子多型解析及び塩基配列決定法(シーケンス解析)などの検査技術を習得し、正確で精度の高い結果を医療の現場に提供することを目指す。

講義科目名称： 遺伝子分析学　　授業コード： 5M091

英文科目名称： Genetic Analysis　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
長田　誠			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第１回　オリエンテーション，医学的基礎知識１ 生化学，生理学，解剖学，免疫学，血液学，微生物学，薬理学，病理学，臨床病態学 第２回　医学的基礎知識２ 分子生物学，遺伝子工学，人類遺伝学 第３回　遺伝子関連検査に必要な知識１ ラボラトリーセーフティ，機器の取扱い，試薬の調製，検体の取扱い，特殊検体 第４回　遺伝子関連検査に必要な知識２ 遺伝子・染色体検査業務，コンサルテーション，教育とトレーニング，マネージメント，精度管理，臨床治験，検査診断薬の開発，遺伝子・染色体に関する法律 第５回　臨床遺伝学的検査 疾患関連遺伝子の同定，検査結果の解釈，データ解析と評価、統計的処理 第６回　遺伝子検査の技術１ 遺伝子関連検査の分類，核酸抽出，核酸増幅， 第７回　遺伝子検査の技術２ 検出技術，検査トラブルとその対策，バイオインフォマティックス，動物の遺伝子解析，植物の遺伝子解析 第８回　遺伝学的検査の実践 遺伝医療，ウェブ上で得られる遺伝子に関連した情報，倫理 第９回　遺伝子検査結果の評価１ 感染症，血液疾患，固形腫瘍 第１０回　遺伝子検査結果の評価２ 主な単一遺伝子疾患，生活習慣病，個人識別，，再生医療，ファーマコゲノミクス 第１１回　染色体検査の技術 構造と機能，分類と核型記載法，ヒトの染色体地図，動物の染色体解析，植物の染色体解析 第１２回　染色体検査の実践 細胞培養法，標本作製，分染法，核型分析，蛍光in situハイブリダイゼーション（FISH）法，マイクロアレイ染色体検査法 第１３回　染色体検査結果の評価 染色体異常の種類，腫瘍と染色体異常，環境変異原と染色体異常 第１４回　資格認定試験問題 第１５回　動画試験問題，実技試験	
科目の目的	遺伝子関連検査に関わる医学および医療の基礎知識を学び，遺伝子の変異と疾患の関連性を理解する。また、機器・検体の取り扱いや精度管理などの基礎知識と遺伝子関連検査の技術や実践について理解する。さらに、染色体検査の技術や実践方法についても理解し、遺伝子分析の専門性を学ぶ。	
到達目標	・遺伝子，染色体について理解し説明できる． ・遺伝子の変異と疾患の関連性を説明できる． ・遺伝子関連検査の技術や実践について理解し説明できる． ・染色体検査の実践方法について理解し，説明できる．	
関連科目	遺伝と病気，遺伝子検査学	
成績評価方法・基準	定期試験　100％	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	前期で学んだ「遺伝子検査学」について復習しておくこと．各回の授業内容について，約30分予習・復習を行い理解しておくこと．	
教科書・参考書	教科書：書籍名未定　「遺伝子検査技術：2024年1月に発行予定」　発行先：日本臨床検査同学院 参考書：「遺伝子・染色体検査学　第2版」医歯薬出版	
オフィス・アワー	講義終了後に質問を受け付ける．個別相談はosada@paz.ac.jpに連絡する．	

国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	特になし
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし

講義科目名称： 輸血検査学　　授業コード： 5M092

英文科目名称： Blood Transfusion Testing　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
林 由里子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 輸血検査学実習　　授業コード： 5M093

英文科目名称： Blood transfusion practice　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
林 由里子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 微生物検査学　　授業コード： 5M094

英文科目名称： Laboratory Microbiology　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修

担当教員	担当者		
三浦 佑介	森田 耕司		

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	微生物学総論、通性嫌気性グラム陰性桿菌（１）	森田 耕司
	第2回	通性嫌気性グラム陰性桿菌（２）腸内細菌科	森田 耕司
	第3回	通性嫌気性グラム陰性桿菌（３）腸内細菌科	森田 耕司
	第4回	通性嫌気性グラム陰性桿菌（４）	森田 耕司
	第5回	微好気性グラム陰性らせん菌	森田 耕司
	第6回	好気性グラム陰性桿菌	三浦 佑介
	第7回	好気性グラム陽性桿菌、好気性グラム陽性有芽胞桿菌、好気性・通性嫌気性グラム陽性無芽胞桿菌	三浦 佑介
	第8回	グラム陽性抗酸性桿菌（１）	三浦 佑介
	第9回	グラム陽性抗酸性桿菌（２）	三浦 佑介
	第10回	嫌気性グラム陽性球菌・陰性球菌、嫌気性グラム陽性無芽胞桿菌	三浦 佑介
	第11回	嫌気性グラム陰性桿菌、嫌気性グラム陽性有芽胞桿菌、マイコプラズマならびにクラミジア	三浦 佑介
	第12回	スピロヘータならびにレプトスピラ	三浦 佑介
	第13回	病原真菌学総論・各論	三浦 佑介
	第14回	好気性・通性嫌気性グラム陽性球菌（１）	森田 耕司
	第15回	好気性・通性嫌気性グラム陽性球菌（２）	森田 耕司

科目の目的	感染症の原因となる病原微生物（細菌・真菌など）について学び、その原因微生物を検出するために必要な形態学的特徴、培養方法、検出方法ならびに生化学的性状などの知識を習得する。また、病原微生物に対して有効な薬剤の種類や作用機序を学ぶとともに薬剤耐性菌の種類と薬剤耐性機構についても理解する。【知識・理解・実践能力】
到達目標	1. 微生物（細菌）のGram染色性・形態学的特徴を理解し説明できる。 2. 微生物の病原性を理解し、感染症の起因菌と推定される微生物の生物学的性状、培養法、検出法ならびに生化学的性状について理解し説明できる。 3. 抗菌薬の分類、作用機序ならびに耐性機序について理解し説明できる。 4. 病原微生物の拡散を防ぐため、消毒法や感染経路を正しく理解し説明できる。
関連科目	微生物検査学実習
成績評価方法・基準	定期試験（100%）により成績を評価する。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義前、指示された課題を準備（予習）すること。 各回の講義後は復習を必ず行い、知識を整理しておくこと。復習に必要な学習時間の目安は概ね1時間程度。
教科書・参考書	教科書1：最新臨床検査学講座 臨床微生物学 松本哲哉 編著（医歯薬出版） 教科書2：微生物検査ナビ 第２版（栄研化学） 必要に応じて資料を配布する。
オフィス・アワー	三浦：講義終了後に質問を受け付ける。個別の相談は事前連絡によって随時対応する（miura@paz.ac.jp）。 森田：講義終了後に質問を受け付ける。
国家試験出題基準	Ⅱ-6-A, C～F Ⅶ(医学検査の基礎と疾病との関連)-1～8 Ⅶ(病因・生体防御検査学)-1,2 Ⅷ-3-A,B

履修条件・履修上の注意	健康食品管理士ならびに遺伝子分析科学認定士　必修科目（基礎）
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし

講義科目名称： 微生物検査学実習　　授業コード： 5M095

英文科目名称： Practice in Laboratory Microbiology　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
三浦 佑介			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： ウイルス検査学　　授業コード： 5M096

英文科目名称： Virology　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	2学年	2単位	必修	
担当教員	担当者			
木村 博一	梁明秀		神谷亘	

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	微生物学総論 細菌・ウイルス・真菌・原虫に関する総論（細菌，真菌，ウイルスの形態、構造及び性状）	木村博一
	第2回	バイオセーフティ学総論 バイオセーフティに関する論理・技術に関する総論	木村博一
	第3回	ウイルス学総論（1） ウイルスの構造、種類、ウイルス感染症の疫学、検査診断法ならびに予防法・治療法に関する総論	木村博一
	第4回	ウイルス学総論（2） 人獣共通感染症総論	神谷亘
	第5回	ポックスウイルス・アデノウイルス アデノウイルス・ポックスウイルス感染症の疫学、検査法ならびに予防法・治療法	木村博一
	第6回	ヘルペスウイルス ヘルペスウイルス感染症の疫学、検査法ならびに予防法・治療法	梁明秀
	第7回	ピコルナウイルス ピコルナウイルス感染症の疫学、検査法ならびに予防法・治療法	木村博一
	第8回	オルソミクソウイルス パラミクソウイルス・ニューモウイルス	木村博一
	第9-10回	パラミクソウイルス・ニューモウイルス パラミクソウイルス・ニューモウイルスの疫学、検査法ならびに予防法・治療法	木村博一
	第11回	肝炎ウイルス(1) A型・E型肝炎ウイルス感染症の疫学、検査法ならびに予防法・治療法	木村博一
	第12回	肝炎ウイルス(2) B型・C型ウイルス感染症の疫学、検査法ならびに予防法・治療法	木村博一
	第13回	下痢症ウイルス・発疹症ウイルス 下痢症ウイルス・発疹症ウイルスなどの感染症の疫学、検査法ならびに予防法・治療法	木村博一
	第14回	レトロウイルス・パピローマウイルス レトロウイルス・パピローマウイルス感染症の疫学、検査法ならびに予防法・治療法	梁明秀
	第15回	新興ウイルス感染症 エボラウイルス感染症の疫学、検査法ならびに予防法・治療法	木村博一

科目の目的	【知識・理解】感染症の原因となるウイルスについて学び、疫学、原因微生物を検出するために必要な形態学的特徴、培養方法ならびに検出方法などの知識を習得する。また、ウイルス感染症に対して有効な薬剤の種類や作用機序を学ぶ。
到達目標	1. ウイルスの形態学的特徴を理解し説明できる。 2. ウイルスの病原性を理解し、疫学、予防法ならびに検出法を理解し説明できる。 3. 抗ウイルス薬の分類、作用機序について理解し説明できる。 4. ウイルス感染拡大を防ぐため、消毒法や感染経路を正しく理解し説明できる。
関連科目	微生物検査学実習
成績評価方法・基準	期末試験100％
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義前、指示された課題を準備（予習）すること。 各回の講義後は復習を必ず行い、知識を整理しておくこと。復習に必要な学習時間の目安は概ね1時間程度。
教科書・参考書	教科書：最新臨床検査学講座　臨床微生物学　松本哲哉 編著（医歯薬出版） 必要に応じて資料を配布する。 参考書：Fields Virology第7版
オフィス・アワー	各担当教官（木村・梁・神谷）とも、講義終了直後に質問を受け付ける。木村:h-kimura@paz.ac.jp;梁:aryo@yokohama-cu.ac.jp；神谷：wakamita@gunma-u.ac.jp
国家試験出題基準	Ⅱ-6-A～F,H Ⅶ(医学検査の基礎と疾病との関連)-1～8 Ⅶ(病因・生体防御検査学)-1～5

	Ⅷ-3-A,B
履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	課題を提示するので、それまでに学習した内容を駆使して各自回答を仕上げるセッションを設ける。

講義科目名称： 生理機能検査学　　授業コード： 5M097

英文科目名称： Physiological function examination　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
長田　誠	大村　一之		

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	生理機能検査総論 生理機能検査学の概念と歴史、生理検査と資格制限、生理機能検査の検査機器と注意事項、患者への接し方や患者急変時の対応	長田　誠
	第2回	循環器系検査・心電図 心電図の基礎Ⅰ：循環生理、心臓の構造と機能、心電図の原理、心電計の構成と取り扱い方	長田　誠
	第3回	心電図(2) 心電図の基礎Ⅱ：心電図の誘導法、心電図の測定法、電気軸、正常心電図、アーチファクト	長田　誠
	第4回	心電図(3) 異常心電図（不整脈、左右心房負荷、心肥大、狭心症、心筋梗塞、電解質異常）	大村　一之
	第5回	心電図(4) その他心電図（負荷心電図、ホルター心電図、加算平均心電図、ベクトル心電図など）	大村　一之
	第6回	循環器系検査・心音図 心音図：心音図の基礎、正常心音および心雑音の発生機序、異常心音図	大村　一之
	第7回	循環器系検査・脈波 脈波：脈波の基礎と種類、足関節上腕血圧比（ABI）、脈波伝搬速度（PWV）、血流依存性血管拡張反応(FMD)	大村　一之
	第8回	循環器系検査まとめ 循環器系の検査まとめ	大村　一之
	第9回	呼吸器系検査・呼吸生理の基礎 呼吸器官の構造と機能・ガス代謝、呼吸機能検査の臨床的意義、検査機器の仕組みと原理、記号および単位	大村　一之
	第10回	呼吸器系検査・換気機能検査 換気力学の概念、スパイロメトリとフローボリューム 残気量、静肺コンプライアンス、気道抵抗と呼吸抵抗 呼吸機能検査の検査法と評価法	大村　一之
	第11回	呼吸器系検査・肺胞換気機能検査 クロージングボリューム曲線、拡散能、シャント	大村　一之
	第12回	呼吸器系検査・動脈ガス分析 血液ガス分析の目的と測定原理、検体の取り扱い方 血液ガス分析の評価、パルスオキシメータ	大村　一之
	第13回	呼吸器系検査・酸塩基平衡・基礎代謝検査 酸塩基平衡、基礎代謝の定義と検査法、呼気ガス分析、運動負荷試験	大村　一之
	第14回	呼吸器系検査まとめ 換気能・肺胞機能・基礎代謝まとめ	大村　一之
	第15回	神経・筋系検査・脳波 脳の構造と機能、脳波の発生機序、脳波の臨床的意義、脳波計の原理と導出法、脳波検査法、脳波賦活法	大村　一之
	第16回	脳波(2) 正常脳波（年齢による変化、睡眠脳波）、異常脳波、終夜睡眠ポリグラフィ	大村　一之
	第17回	神経・筋系検査・誘発電位 視覚誘発電位（VEP)、聴覚誘発電位（AEP）、聴性脳幹反応（ABR）、体性感覚誘発電位（SEP）	大村　一之
	第18回	脳波・誘発電位まとめ 神経・筋系検査・脳波・誘発能電位まとめ	大村　一之
	第19回	神経・筋系検査・筋電図 筋電図の基礎（運動神経系と感覚神経系）筋電図検査の臨床的意義、筋電図検査法（針筋電図と表面筋電図）	大村　一之

	第20回	誘発筋電図 末梢神経伝導速度（運動神経伝導検査、F波伝導検査）、誘発筋電図、筋電図検査の注意点	大村　一之
	第21回	筋電図まとめ 神経・筋系検査・筋電図まとめ	大村　一之
	第22回	感覚機能検査・その他生理機能検査 熱画像検査、眼底検査、平衡機能検査、聴覚機能検査、味覚検査	大村　一之
	第23回	画像診断検査・超音波検査 超音波検査の概要、原理と測定法、超音波の性質、深触子と走査方法、アーチファクト	大村　一之
	第24回	腹部超音波検査法 腹部超音波検査法(正常像)	大村　一之
	第25回目	心臓超音波検査法 心臓超音波検査法(正常像)	大村　一之
	第26回目	その他の超音波検査法 その他の超音波検査法、各超音波検査の正常像と異常像	大村　一之
	第27回目	各疾患の超音波検査画像 各疾患の超音波検査画像	大村　一之
	第28回	超音波検査まとめ 画像診断検査・超音波検査まとめ	大村　一之
	第29回	画像診断検査・磁気共鳴画像検査（MRI） MRIの原理と臨床的意義、検査機器と検査の注意点、MRI造影剤、MRI正常像と異常像	大村　一之
	第30回	生理学的検査まとめ 生理学的検査まとめと生理学的検査の展望	大村　一之

科目の目的	【知識・理解】 　生理機能検査は生体の様々なシグナルを循環器系、呼吸器系、神経・筋系および画像診断検査を用いて捉えることにより、疾患における病態を把握する検査である。これらの検査を理解するための基礎理論、測定方法、検査結果の判定ならびに評価方法について学習し、疾病との関連を理解する。また、検査に必要な検査機器の仕様とメンテナンスおよび検査を行う上での患者への接し方や患者急変時の対応などを習得する。
到達目標	1.循環器系検査（心電図・心音図・脈波）の原理と波形が表す臨床的意義を理解し、正常波形と循環器疾患における異常波形について説明できる。 2.呼吸器系検査（スパイロメトリ・ガス代謝・血液ガス等）の原理と臨床的意義を理解し、呼吸器疾患との関連について説明できる。 3.筋・神経系検査（脳波・筋電図）の原理と臨床的意義を理解し、疾患に特有な波形について説明できる。 4.画像診断検査（心臓および腹部超音波検査）の原理と臨床的意義を理解し、疾患における異常像の特徴について説明できる。
関連科目	臨床心理学、医用電子工学、生物学A・B、生理学Ⅰ・Ⅱ、解剖学Ⅰ・Ⅱ、関係法規、画像解析検査学
成績評価方法・基準	定期試験 80%（前期40%、後期40%）, 単元テスト 20%
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	教科書の各回講義内容に該当するところをよく読んでから、授業に臨んでください。 学習時間の目安は30分
教科書・参考書	教科書：「最新臨床検査学講座 生理機能検査学 第２版」　編著者　東条尚子、川良徳弘　（医歯薬出版株式会社） 参考書：なし ・必要に応じて資料を配布する。
オフィス・アワー	講義終了後または個別相談は事前連絡(osada@paz.ac.jp)により随時対応する。 大竹一之は講義終了後
国家試験出題基準	Ⅱ-14、Ⅲ-1～18
履修条件・履修上の注意	・予習すると理解しやすい。 ・状況に応じて内容が変更される場合があります。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし

講義科目名称： 生理機能検査学実習　　授業コード： 5M098

英文科目名称： Physiological function examination practice　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
長田　誠			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 画像解析検査学　　授業コード： 5M099

英文科目名称： Analysis in Imaging Technology　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
長田　誠			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 生理検査判読学演習　　授業コード： 5M100

英文科目名称： Practice on physiological function diagnosis　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
長田　誠			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 医療現場と臨床検査　　授業コード： 5M101

英文科目名称： Medical practice and clinical laboratories　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	2学年	2単位	必修	
担当教員	担当者			
亀子 光明	岡山　香里，三浦　佑介		小池　菜穂子，萩原　英子	長嶺　めぐみ，廣瀬　文乃
	安田　弘子		浅田　春美	加藤　英樹

授業形態	講義と実技	担当者
授業計画	第１回　外来における患者対応１ 患者接遇，患者確認，検査説明　等	亀子　光明
	第２回　外来における患者対応２ 採血・心電図検査時の注意点，急変対応	亀子　光明
	第３回　病棟における患者対応 心電図作業時の感染対策，ICTおよびNST活動	亀子　光明
	第４回　検体採取の実技 採血，各部位からの検体採取法	三浦　祐介
	第５回　外来患者の急変時対応 採血，検査に伴う患者急変時対応	長嶺　めぐみ
	第６回　病棟における業務 患者接遇と対応法	廣瀬　文乃
	第７回　手術室における業務１ 術中迅速診断用検体採取	岡山　香里
	第８回　手術室における業務２ 感染対策，入室時の手洗い　等	小池　菜穂子
	第９回　救急救命総論 救急医療の考え方について	萩原　英子
	第１０回　救急救命処置１ 応急手当について	小池　菜穂子
	第１１回　救急救命処置２ AED操作法　等	安田　弘子
	第１２回　患者の移動方法１ 講義：ベットから車椅子へ　等	浅田　春美
	第13回　患者の移動方法２ 実技	浅田　春美
	第１４回　放射線業務について１ 手術室における業務について	加藤　英樹
	第１５回　放射線業務について２ 心臓カテーテル時の注意について	加藤　英樹
科目の目的	従来の臨床検査技師の業務に加え，患者接遇では不安なく正しく検査が行われるよう患者とのコミュニケーションを密にとり，患者に負担をかけず危険が無いよう検査を実施し，また，採取が適正に行われるようにする．患者急変時に正しく対応が出来るように救急救命法を学び，それらが実践できるようにする．【知識・理解】【思考・判断】【技能・表現】	
到達目標	1.外来および病棟において，的確な患者接遇が出来る． 2.正しく，医療事故の無いように採血，検体採取が出来る． 3.手術室での業務（迅速診断用標本採取，心カテ，感染や被爆対策）が正しく行える． 4.AEDを含む一次救命処置（BLS）について理解し，実践することができる． 5.患者の移動・移乗動作の指導・介助ができる．	
関連科目	解剖学，生理学，微生物学，生化学，リハビリテーション学，生命倫理，関係法規	
成績評価方法・基準	筆記試験 80%，実技試験 20%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習，復習に必要な学習時間は1時間程度である．実技のある授業では，実際におこなったことを学生同士で，授業終了後に再度実施して．手技を確認すること．	
教科書・参考書	教科書：最新臨床検査学講座 チーム医療概論　編著者　諏訪部　章，奈良伸雄，三村邦裕，偏（医歯薬出版株式会社） 参考書：最新臨床検査学講座 医療安全管理学　編著者　諏訪部　章，高木　康，松本哲哉，偏（医歯薬出版株式会社） 必要に応じて資料を配布する．	
オフィス・アワー	講義終了後に各グループの担当教員が質問を受け付ける。 亀子：kameko@paz.ac.jp 岡山：okayama@paz.ac.jp 三浦：miura@paz.ac.jp 長嶺：nagamine@paz.ac.jp 廣瀬：hirose@paz.ac.jp	

	小池：koike@paz.ac.jp 萩原：hagiwara@paz.ac.jp 安田：yasuda@paz.ac.jp 浅田：asada@paz.ac.jp 加藤：h-katou@paz.ac.jp 藤本：fujimoto@paz.ac.jp 長澤：nagasawa@paz.ac.jp 神宮：jingu@paz.ac.jp 髙橋（あ）：ay-takahashi@paz.ac.jp 木村（朗）：a-kimura@paz.ac.jp
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	座学で学んだことが実技に的確に実践できるように，予習復習を行う. 実技演習の場合には、動きやすい服装で出席すること.
アクティブ・ラーニングの実施	実施せず

講義科目名称： 関係法規　　授業コード： 5M102

英文科目名称： Regulations regarding Medical Situations　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
石垣 宏尚			

授業形態	講義		担当者
授業計画	第1回	法の概念・医事法規概説 法律の概念を理解したうえで、医事法の概要について学習する。	石垣
	第2回	臨床検査技師等に関する法律 医事法のうち、臨床検査技師に関する法律を中心に学習する。	石垣
	第3回	保健医療施設関係法規 医療法および地域保健法について学習する。	石垣
	第4・5回	保健医療関係者法規 医師法や薬剤師法といった臨床検査技師以外の医療従事者に関する法律について学習する。	石垣
	第6・7回	予防・保健の関係法規 感染症の予防および感染症患者に対する医療に関する法律、予防接種法、検疫法、学校保健安全法などについて学習する。	石垣
	第8・9回	食品・薬事・環境衛生関係法規 食品衛生法、薬事法、大麻取締法、環境基本法などについて学習する。	石垣
	第10・11回	福祉関係法規 障害者基本法、生活保護法、障害者自立支援法、母子保健法などについて学習する。	石垣
	第12回	労働関係法規 労働基準法、労働安全衛生法などについて学習する。	石垣
	第13回	医療・労働保険関係法規 各種の健康保険法、介護保険法、労働者災害保償保険法などについて学習する。	石垣
	第14回	臨床検査と医療過誤 医療事故、医療過誤、医事紛争等について実際の民事訴訟事例も交えて学習する。	石垣
	第15回	まとめ 医療の現場で発生しやすいインシデント・アクシデントの事例をとりあげ、法律の観点から総合的に学習する。	石垣

科目の目的	医療従事者が医療行為を行う上で、知っておかなければならない法律について学習する。【人間性・思考・判断力】
到達目標	臨床検査技師に関係する法律を中心に医療全般の基本的な法律の知識を習得する。
関連科目	公衆衛生学
成績評価方法・基準	定期試験（100%）
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	事前に教科書に目を通しておく。準備学習に必要な学習時間の目安は概ね30分程度。
教科書・参考書	教科書：『最新臨床検査学講座　関係法規　2023年版』（医歯薬出版） 参考書：なし
オフィス・アワー	講義終了後（17時50分～18時30分）に質問を受けつける。 質問は、E-mail（ishigaki@paz.ac.jp）でも受けつける。
国家試験出題基準	Ⅸ-9
履修条件・履修上の注意	講義資料はActive Academyにて配布 配布期間：前回授業翌日から当該日まで 持参方法：各自印刷もしくはPCにダウンロードして授業に持参すること 健康食品管理士　必修科目
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし

講義科目名称： 臨床検査学総合演習Ⅰ　　授業コード： 5M103

英文科目名称： Comprehensive Practice in Clinical Testing I　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
岡山 香里			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 臨床検査学総合演習Ⅱ　　授業コード： 5M104

英文科目名称： Comprehensive Practice in Clinical Testing II　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
岡山 香里			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 医療安全管理学演習　　授業コード： 5M105

英文科目名称： Practice in Medical Safety Management　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
三浦 佑介	天野 博雄	近藤 健二	

授業形態	講義9回、実習5回、演習1回	担当者
授業計画	第1回　臨床検査技師等に関する法律と医療倫理 臨床検査技師の責任及び業務範囲に関する法律と医療倫理	三浦 佑介
	第2回　医療安全管理（1） 医療施設における個人情報保護と安全管理体制	三浦 佑介
	第3回　医療安全管理（2） 医療施設における感染防止対策	三浦 佑介
	第4回　採血法と安全管理（1） 採血行為の範囲と種類、採血の部位と手段、安全管理	三浦 佑介
	第5回　採血法と安全管理（2） 採血に伴う静脈路確保、電解質輸液の注入、成分採血装置、持続皮下グルコース測定、静脈路からの造影剤注入	三浦 佑介
	第6回　採血実習（実習、岡山、荒木） 採血の手技に伴う注意事項、安全管理、採血シミュレータを用いた実技	三浦 佑介
	第7回　皮膚表在組織病変部からの検体採取法（1） 皮膚の構造や表在性皮膚感染症とその感染対策	天野 博雄
	第8回　皮膚表在組織病変部からの検体採取法（2）（実習、岡山、荒木、三浦） 皮膚表在組織病変部からの検体採取法についての実習	天野 博雄
	第9回　皮膚表在組織病変部からの検体採取法（3）（実習、岡山、荒木、三浦） 皮膚表在組織病変部からの検体採取法についての実習	天野 博雄
	第10回　耳鼻咽喉科領域の検体の採取方法（1） 耳鼻咽喉科領域の解剖や感染症とその対策	近藤 健二
	第11回　耳鼻咽喉科領域の検体の採取方法（2）（実習、岡山、荒木、三浦） 鼻腔拭い液、咽頭拭い液、鼻腔吸引液、喀痰吸引による検体採取方法	近藤 健二
	第12回　耳鼻咽喉科領域の検体の採取方法（3）（実習、岡山、荒木、三浦） 鼻腔拭い液、咽頭拭い液、鼻腔吸引液、喀痰吸引についての検体採取実習	近藤 健二
	第13回　医療安全管理（3）（演習） 合併症と医療事故、患者急変時の対応、ケーススタディ	三浦　佑介
	第14回　糞便検査における検体採取に必要な知識・技能・態度 肛門とその周囲及び下部消化管の解剖及び肛門からの検体採取法	三浦　佑介
	第15回　直腸肛門機能検査および消化管内視鏡検査による組織検体の採取，針電極の脱着 直腸肛門機能検査、消化管内視鏡検査による組織検体の採取、運動誘発電位検査・体性感覚誘発電位検査に係る電極装着（針電極含む）・脱着	三浦　佑介
科目の目的	臨床検査技師の責任及び業務の範囲を理解し、感染管理及び安全管理に配慮して、適切に検体採取ができる能力を身につける。検体採取に伴う危険因子を認識し、合併症の発生時に適切に対処できる能力を身につける。【知識・理解・実践能力】	
到達目標	1.　医療倫理や臨床検査技師法に関する法的知識及びその責任範囲について説明できる。 2.　医療事故、医療過誤の実態について概説できる。 3.　耳鼻咽喉科領域の解剖や関連する感染症を説明でき、安全かつ適正な検体採取法を習得する。 4.　皮膚の構造や関連する感染症を説明でき、安全かつ適正な検体採取法を習得する。 5.　肛門とその周囲及び下部消化管に関する解剖や感染性下痢症について説明できる。 6.　検体採取時における検査を受ける患者の心理や患者接遇について説明できる。 7.　検体採取に係る器具の使用による合併症及び禁忌について説明できる。 8.　医療安全管理対策及び院内感染対策について例を挙げて説明できる。	
関連科目	生命倫理、関係法規、微生物検査学、微生物検査学実習	
成績評価方法・基準	定期試験（100%）により成績を評価する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回の講義・実習内容について１時間程度の復習を行い、到達目標に達するよう理解を深めること。	
教科書・参考書	教科書：最新臨床検査学講座　医療安全管理学第２版（諏訪部章・高木康・松本哲哉編、医歯薬出版） 参考書：JAMT技術教本シリーズ　検体採取のためのハンドブック（監修：一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会） 、JAMT技術教本シリーズ　臨床検査技師のための医療安全管理教本（監修：一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会）	

オフィス・アワー	三浦：講義終了後または事前連絡（miura@paz.ac.jp)によって随時対応する。 天野：講義終了後に質問を受け付ける。 近藤：講義終了後に質問を受け付ける。
国家試験出題基準	Ⅰ(検査総合管理学・医療安全管理学)-3,6 Ⅳ-4-C-a
履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし
実務経験のある教員による授業	
実務経験	三浦 佑介（臨床検査技師）
授業の概要	臨床検査技師の責任及び業務の範囲を理解し、感染管理及び安全管理に配慮して、適切に検体採取ができる能力を身につける。検体採取に伴う危険因子を認識し、合併症の発生時に適切に対処できる能力を身につける。採血（静脈路確保、電解質輸液の注入を含む）、静脈路への成分採血装置の接続並びに操作、運動誘発電位検査・体性感覚誘発電位検査に係る電極装着（針電極含む）・脱着、超音波検査における静脈路からの造影剤注入、直腸肛門機能検査、持続皮下グルコース測定、検体採取（経口、経鼻又は気管カニューレ内部からの喀痰吸引、消化管内視鏡検査による組織検体の採取を含む）が現場で実施できる実践的知識・技術を身につける。

講義科目名称： 医療機器管理学　　授業コード： 5M106

英文科目名称： Medical device management　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
石垣 宏尚			

授業形態	講義（12回）・実習（3回）	担当者
授業計画	第1回　序論 病態を客観的に評価する手段としての機器分析の在り方について	石垣
	第2回　共通器具の原理・構造1 化学容量器・秤量装置の特徴、利用法について	石垣
	第3回　共通器具の原理・構造2 撹拌装置・恒温装置の特徴、利用法について	石垣
	第4回　共通器具の原理・構造3 保冷装置・滅菌装置の特徴、利用法について	石垣
	第5回　測光装置 分光光度計、炎光光度計、蛍光光度計の原理、特徴について	石垣
	第6回　顕微鏡 各種顕微鏡の原理、操作法について	石垣
	第7回　電気化学装置 pHメータの原理、特徴について	石垣
	第8回　分離分析1 遠心分離装置、電気泳動装置の原理、特徴について	石垣
	第9回　分離分析2 各種クロマト装置の原理、特徴について	石垣
	第10回　実習1 顕微鏡の講習	石垣
	第11回　実習2 マイクロピペットの講習	石垣
	第12回　実習3 マイクロピペットを用いた希釈	石垣
	第13回　自動分析装置1 生化学、輸血・免疫、生理学、遺伝子	石垣
	第14回　自動分析装置2 血液学、病理学、微生物学	石垣
	第15回　まとめ 各回のポイントについて	石垣
科目の目的	臨床現場で使用されている分析機器の原理・構造を学び、検査に必要な基本的な知識の習得を目的とする。【知識・理解・実践能力】	
到達目標	1. 共通器具の原理、操作法、使用上の注意点を説明できる。 2. 分析機器の原理、操作法、使用上の注意点を説明できる。 3. 分離分析機器の臨床検査への応用を学ぶ。	
関連科目	医用電子工学	
成績評価方法・基準	定期試験（80%）、レポート（20%）レポートは，判読後、返却	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回の授業内容について30分程度教科書を読んでおく。	
教科書・参考書	教科書：臨床検査学講座　検査機器総論（医歯薬出版） 参考書：なし	
オフィス・アワー	講義終了後（17時50分～18時30分）に質問を受け付ける。	
国家試験出題基準	Ⅳ-2-A～D,H～K Ⅵ-5 Ⅹ(検査総合管理学)-1、2	
履修条件・履修上の注意	講義資料はActive Academyにて配布 配布期間：前回授業翌日から当該日まで 持参方法：各自印刷もしくはPCにダウンロードして授業に持参すること 健康食品管理士　必修科目	
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし	

講義科目名称： 総合実習（臨地実習前技能評価）　　授業コード： 5M107

英文科目名称： Objective structured clinical Examination　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
藤田 清貴			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 臨地実習　　授業コード： 5M108

英文科目名称： Practicums　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	11単位	必修
担当教員	担当者		
長田　誠			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		

講義科目名称： 卒業研究　　授業コード： 5M109

英文科目名称： Graduation Studies　　対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	4学年	8単位	必修
担当教員	担当者		
藤田 清貴			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施		